

令和 5 年度

教 育 要 覧



木津川市教育委員会



市章

「人」を組み合わせることで『木』を表し、木津川の清流をイメージしたブルーを基調に動きのあるラインで、「清潔感」と「躍動感」を示しています。

豊かな自然に育まれ、文化を創造し、市民すべての力で大きく飛躍発展する『木津川市』を表現しています。



市の木 桜

市内の各所でその美しい姿を見ることができる「桜」は、一般公募において、最も多くの応募をいただいた木です。

また、初春に誕生しました木津川市にとって、その時を待ちわびたように咲き誇る姿は、まさに木津川市の誕生を祝福すると共に、木津川市の華やかな未来を象徴するにふさわしい木であることから、「桜」を本市の木に制定しました。



市の花 コスモス

木津川市の各所で色々に咲く「コスモス」は、一般公募において、最も多くの応募をいただいた花です。

また、それぞれに特色・魅力のある3町がひとつになり誕生した木津川市にとって、様々な色のコスモスが寄り添い、ひとつの壮大な景観を造る姿は、木津川市の多様性と調和に満ちた発展を象徴するにふさわしい花であることから、「コスモス」を本市の花に制定しました。

I 木津川市の概要

1 位置・面積等、歴史、展望、沿革

(1) 位置・面積等

位置 東経135度49分・北緯34度44分（市役所位置）
京都府の最南端に位置し、東は和束町、笠置町、西は精華町、北は井手町に接している。

面積 85.13平方キロメートル

人口 総数 79,976人 男 38,594人 女 41,382人（令和5年4月末日現在）

世帯数 33,140世帯（令和5年4月末日現在）

(2) 歴史

この地域では、古代から木津川が交通路として利用され、淀川を通り大和と瀬戸内を結ぶ航路の起点にあった。奈良時代になると、木津が平城京などの都城建設の木材の引揚げ港として栄え、「木津」という地名の由来となっている。天平12（西暦740）年12月には、聖武天皇が平城京から加茂町瓶原を中心とした恭仁京へ遷し、短命ではあったが、日本の首都となった。

また、古くから都と関連の深い地域として発展したこの地域は、近郊農業の地として発展する素地を築いた。

その後、奈良や京都、伊勢、伊賀を結ぶ街道の宿場町として発展するとともに、宇治茶やタケノコなどの主産地として名声を高め、優良な農業地域として栄えた。また、江戸時代には木津川の治水事業や農地の拡大などが進められ、集落が発展し、現在のまちの姿に近いものとなった。

明治時代になると木津川の水運としての役割は小さくなり、鉄道や道路の交通網の整備が進められた。また、茶の栽培や大都市近郊の立地条件を生かした近郊農業が盛んに行われた。

昭和26年に木津町と相楽村が合併し木津町に、加茂町、当尾村、瓶原村の3町村が合併し加茂町に、昭和31年に上狛町、棚倉村、高麗村の3町村が合併し山城町になった。

そして、平成19年3月12日、木津町・加茂町・山城町が合併し「木津川市」が誕生した。

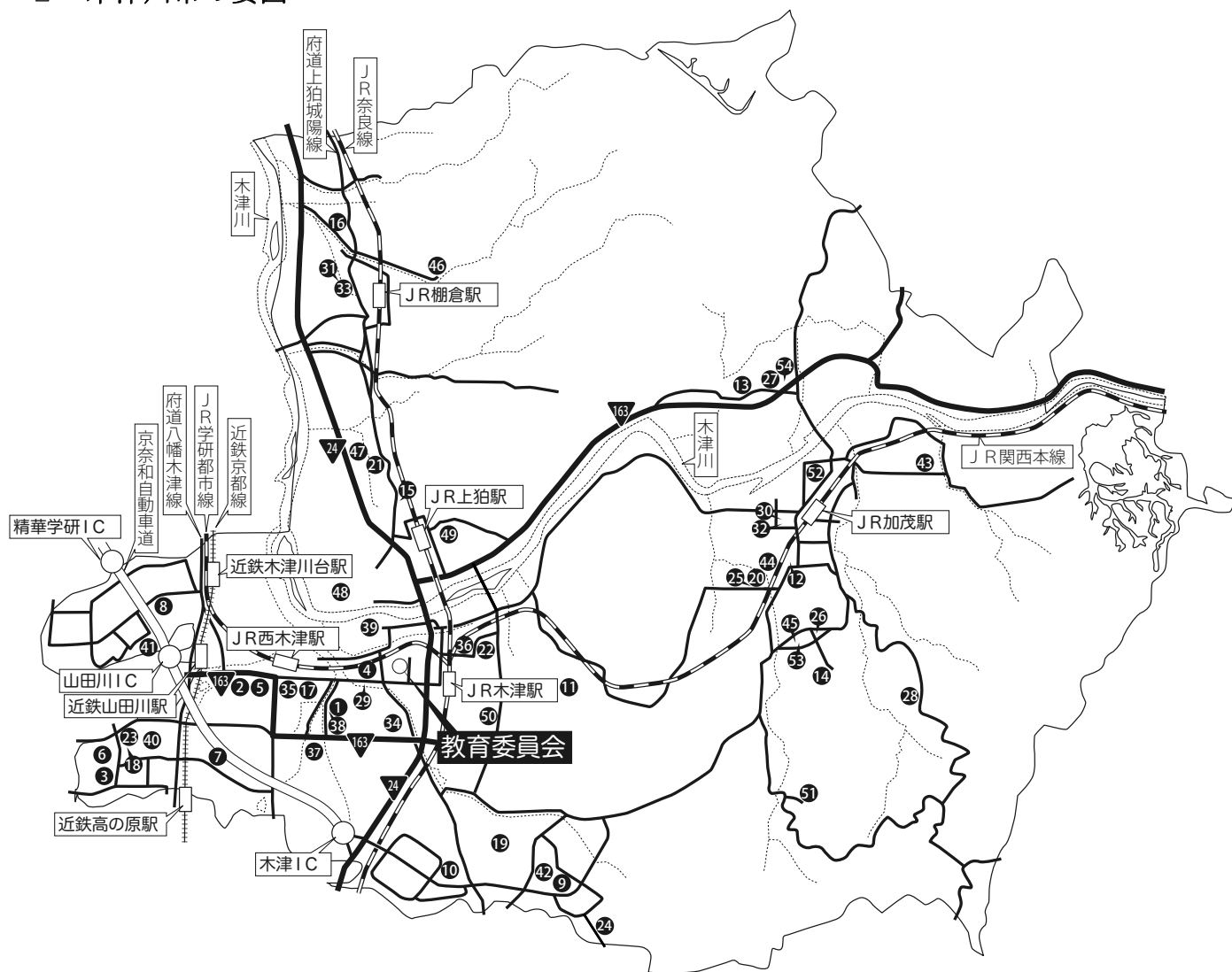
(3) 展望

最先端の科学技術を有する関西文化学術研究都市や、多くの国宝を始めとするロマン溢れる文化財、また、緑豊かな里山や農地、伝統など、先人から受け継がれてきた魅力ある資源を大切に守りながら、ひとが耀きともに創る豊かな未来をめざして、新しい魅力あふれる文化創造都市をつくりあげる。

(4) 沿革

平成19年	3月12日	木津川市誕生（木津町・加茂町・山城町合併による）
		木津川市教育委員会発足（所在地：旧木津町教育委員会）
	4月1日	州見台小学校開校
20年	9月1日	教育委員会事務局、本庁に移転（市役所新庁舎完成に伴う）
22年	4月1日	加茂学校給食センター開所
	5月1日	加茂図書館、加茂支所に移転
	5月21日	文化財整理保管センター分室開所
23年	4月1日	木津南中学校開校
24年	3月31日	当尾小学校閉校
26年	3月31日	木津小学校鹿背山分校閉校
	4月1日	城山台小学校開校
28年	4月1日	当尾の郷会館リニューアル
29年	3月31日	当尾公民館、加茂プール廃止
30年	3月31日	加茂プラネタリウム館廃止、加茂青少年山の家運営停止
	9月30日	木津川市民の奈良市立北部図書館の利用開始
31年	3月31日	移動図書館車「いずみ号」廃止
		市立幼稚園、小中学校全普通教室に空調設備を一斉導入
令和2年	3月31日	加茂体育館、木津学校給食センター、山城学校給食センター廃止
	4月1日	木津川市立第一学校給食センター開所
		木津川市立第二学校給食センターに名称変更

2 木津川市の要図



- | | | |
|-----------|-------------------|---------------------------------|
| ① 木津幼稚園 | ②① 山城中学校 | ④① 木津川台公園 |
| ② 相楽幼稚園 | ②② 府立木津高等学校 | ④② 梅美台公園 |
| ③ 高の原幼稚園 | ②③ 府立南陽高等学校・附属中学校 | ④③ 加茂グラウンド |
| ④ 木津小学校 | ②④ 第一学校給食センター | ④④ 赤田川グラウンド |
| ⑤ 相楽小学校 | ②⑤ 第二学校給食センター | ④⑤ 塚穴公園 |
| ⑥ 高の原小学校 | ②⑥ 南加茂台公民館 | ④⑥ 不動川公園 |
| ⑦ 相楽台小学校 | ②⑦ 瓶原公民館 | ④⑦ やすらぎタウン山城プール |
| ⑧ 木津川台小学校 | ②⑧ 当尾の郷会館 | ④⑧ 山城コミュニティ運動公園 |
| ⑨ 梅美台小学校 | ②⑨ 中央図書館 | ④⑨ 上狛駅東公園 |
| ⑩ 州見台小学校 | ③① 加茂図書館 | ⑤① 城址公園 |
| ⑪ 城山台小学校 | ③② 山城図書館 | ⑤② 加茂青少年山の家 |
| ⑫ 加茂小学校 | ③③ 加茂文化センター | ⑤③ 加茂青少年センター |
| ⑬ 恭仁小学校 | ③④ 山城総合文化センター | ⑤④ 文化財整理保管センター |
| ⑭ 南加茂台小学校 | ③⑤ 中央交流会館 | ⑤⑤ 文化財整理保管センター分室
(くのにのみや学習館) |
| ⑮ 上狛小学校 | ③⑥ 西部交流会館 | |
| ⑯ 棚倉小学校 | ③⑦ 東部交流会館 | |
| ⑰ 木津中学校 | ③⑧ 中央体育館 | |
| ⑱ 木津第二中学校 | ③⑨ 市民スポーツセンター | |
| ⑲ 木津南中学校 | ④① 木津グラウンド | |
| ⑳ 泉川中学校 | ④② 兜谷公園 | |

3 各委員等一覧

(1) 教育長及び教育委員（令和5年7月1日現在）

職 名	氏 名
教 育 長	森 永 重 治
教育長職務代理者	有 賀 やよい
委 員	小 松 信 夫
〃	佐 脇 貞 憲
〃	皆 川 麻 紀

(2) 社会教育委員（令和5年6月1日現在）

職 名	氏 名
委 員 長	高 原 和 子
副 委 員 長	木 村 勝
副 委 員 長	三 上 かず子
委 員	花 田 康 子
〃	井 上 若 菜
〃	三 谷 博 之
〃	渡 邊 素 子
〃	橋 本 京 子
〃	藤 澤 正 典
〃	今 井 清 美
〃	石 田 康 二
〃	芝 原 昌 代
〃	新 谷 涼太朗
〃	中 川 嗣 郎

(3) スポーツ推進委員

（令和5年5月1日現在）

職 名	氏 名	専門種目	職 名	氏 名	専門種目
委 員 長	木村 勝	ソフトボール、野球、バドミントン	委 員	豊田 明子	ソフトバレーボール
副委員長	石本 将隆	全般	〃	小尾 典彦	野球
副委員長	大倉 竹次	バレーボール、ソフトバレーボール	〃	小西 良彦	ソフトバレーボール
委 員	尾崎 田鶴	レクリエーション、野外活動	〃	大西 崇弘	ラグビー
〃	光橋 通信	野球、スキー	〃	福島 陽介	ニュースポーツ
〃	杉田 賢知	野球、陸上	〃	戸嶋 良太	ラグビー
〃	徳山 昌伸	サッカー、野球、陸上	〃	山崎 健一	サッカー
〃	宮川 慶子	水泳、バレーボール、ソフトバレーボール	〃	横井 芳正	バレーボール
〃	永野 彰	全般	〃	上原 忍	ソフトボール
〃	森川 恭美	ソフトバレーボール、ソフトボール	〃	河原 勝彦	バレーボール

(4) 文化財保護審議員

（令和5年5月1日現在）

職 名	氏 名	職 名	氏 名
会 長	伊 東 史 朗	審 議 員	三 浦 孝 啓
副 会 長	源 城 政 好	〃	浅 田 兼 弘
審 議 員	増 井 正 哉	〃	福 本 桂 子
〃	宗 田 好 史	〃	辻 合 久 美
〃	岩 井 照 芳		

(5) 木津川市歴史文化基本構想策定委員

（令和5年5月1日現在）

職 名	氏 名	職 名	氏 名
委 員 長	白石 太一郎	委 員	川 口 直 康
副委員長	増 井 正 哉	〃	辰 馬 佳 司
委 員	伊 東 史 朗	〃	福 本 桂 子
〃	源 城 政 好	〃	森 正

(6) 図書館協議会委員

(令和5年4月1日現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
会 長	米 田 崇	委 員	橋 本 京 子
副 会 長	下 浦 悦 子	〃	杉 本 秀 子
委 員	池 田 加 津 子	〃	河 合 正 俊
〃	福 森 真 知	〃	田 中 啓 之
〃	中 村 景 子		

(7) 第一学校給食センター運営委員

(令和5年7月1日現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
教 育 委 員	有 賀 やよい	木 津 川 台 小 学 校 校 長	栗 津 京 子
教 育 委 員	小 松 信 夫	〃 P T A 会 長	北 川 有 佳
木 津 中 学 校 校 長	北 澤 喜 幹	城 山 台 小 学 校 校 長	竹 花 裕 子
〃 P T A 副 会 長	猪 尾 あすみ	〃 P T A 文 化 保 体 委 員 長	山 本 浩 美
木 津 第 二 中 学 校 校 長	中 嶋 清 衡	梅 美 台 小 学 校 校 長	磯 谷 薫
〃 P T A 会 計	河 合 弘 恵	〃 P T A 副 会 長	嶋 谷 絵 美
山 城 中 学 校 校 長	山 下 智 義	上 狛 小 学 校 校 長	古 川 覚
〃 P T A 会 計	岡 田 愛	〃 P T A 副 会 長	吉 岡 ひろみ
木 津 小 学 校 校 長	遠 藤 順 子	棚 倉 小 学 校 校 長	森 環
〃 P T A 福 祉 厚 生 委 員 長	中 野 智 佐	〃 P T A 庶 務	松 岡 恵 理 子
相 楽 小 学 校 校 長	中 川 嗣 郎	木 津 幼 稚 園 園 長	谷 原 美 紀
〃 P T A 会 計	汐 崎 直 子	〃 P T A 副 会 長	星 原 典 世
高 の 原 小 学 校 校 長	西 川 昭 人	相 楽 幼 稚 園 園 長	井ノ上 恵己子
〃 P T A 副 会 長	中 島 景 子	〃 P T A 副 会 長	東 優 美
相 楽 台 小 学 校 校 長	谷 本 和 子	高 の 原 幼 稚 園 園 長	川 崎 由 記 子
〃 学 級 委 員	西 本 景 子	〃 P T A 副 会 長	櫻 田 早 耶 香

(8) 第二学校給食センター運営委員

(令和5年7月1日現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
教 育 委 員	佐 脇 貞 憲	加 茂 小 学 校 校 長	田 中 成 一
教 育 委 員	皆 川 麻 紀	〃 P T A 副 会 長	藤 尾 泰 恵
泉 川 中 学 校 校 長	太 田 智 之	恭 仁 小 学 校 校 長	木 村 康 宏
〃 P T A 会 計	豊 田 千 晶	〃 P T A 庶 務	石 井 ルリ子
木 津 南 中 学 校 校 長	志 賀 徹	南 加 茂 台 小 学 校 校 長	高 橋 敬 子
〃 校 長 推 薦 保 護 者	岡 本 由 香 里	〃 P T A 副 会 長	吉 田 彩 子
州 見 台 小 学 校 校 長	四 方 哲 雄		
〃 P T A 副 会 長	森 本 那 美 江		

(9) 教育支援委員会

(令和5年4月1日現在)

職 名	氏 名	所 属
会 長	森 環	棚 倉 小 学 校
副 会 長	木 村 康 宏	恭 仁 小 学 校
〃	栗 津 京 子	木 津 川 台 小 学 校
〃	兎 谷 知 加 子	木 津 保 育 園
庶 務	岡 本 郁 巳	泉 川 中 学 校
庶 務 ・ 会 計	伊 家 彩 香	加 茂 小 学 校
就 学 相 談 検 討 委 員	新 谷 恭 司	通 級 指 導 教 室
事 務 局 ・ 会 計	平 井 浩 美	学 校 教 育 課 長
事 務 局 ・ 庶 務	大 谷 和 久	学 校 教 育 指 導 主 事

(10)学校（園）評議員一覧

(令和5年6月1日現在)

学校(園)名	氏 名	学校(園)名	氏 名
相 楽 小 学 校	和 田 稔 保 田 美千代 武 田 義 明	棚 倉 小 学 校	中 西 豊 光 藤 田 恵 美 尾 崎 吉 博 大 西 晴 己
高 の 原 小 学 校	鴛 田 美 幸 田 中 良 典 林 英 雄	木 津 中 学 校	角 山 稔 樹 塚 田 高 司 濱 野 陽 子
相 楽 台 小 学 校	辻 本 久 美 麓 忠 雄 中 岡 暉 喜	木津第二中学校	村 田 正 博 鴛 田 美 幸 柳ヶ瀬 弘 宣
木津川台小学校	横 谷 富士男 福 島 祥 子	木 津 南 中 学 校	渡 辺 一 夫 駒 好 修 田 中 久 善 村 田 紀美子
梅 美 台 小 学 校	森 田 省 三 藤 井 千 賀	泉 川 中 学 校	濱 喜代巳 大 溝 明 美 佐 伯 功 大 西 清 司
州 見 台 小 学 校	駒 好 修 縄 田 恵 里 中 島 光枝子	山 城 中 学 校	木 村 勝 高 井 啓 介 喜 多 一 美
加 茂 小 学 校	柳 原 洋 子 坂 本 利 正	木 津 幼 稚 園	奈 良 宏 子 駒 正 美
恭 仁 小 学 校	石 崎 光 二	相 楽 幼 稚 園	明 平 正 覺 山 畑 節 子
南加茂台小学校	佐 伯 功 大 西 清 司 高 原 和 子	高 の 原 幼 稚 園	林 英 雄 牧 井 富 子

(11)学校運営協議会

(令和5年8月1日現在)

【木津小学校】

職 名	氏 名	職 名	氏 名
1号委員	奈 良 由 雄	3号委員	山 口 珠 代
〃	和 田 光 子	〃	石 橋 美 絵
2号委員	石 田 千 枝	4号委員	遠 藤 順 子
3号委員	伊 藤 初 男	5号委員	永 野 隆
〃	光 橋 道 信		

【城山台小学校】

職 名	氏 名	職 名	氏 名
1号委員	井 上 道 治	3号委員	筒 井 康 博
2号委員	大 槻 和 也	〃	田 中 幹 男
〃	木 村 由希子	〃	芝 原 昌 代
〃	垣 内 美由紀	〃	三 浦 陽 子
3号委員	三 上 かず子	4号委員	竹 花 裕 子

【上狛小学校】

職 名	氏 名	職 名	氏 名
1号委員	大 井 健 司	3号委員	安 井 千鶴子
2号委員	大 村 二 美	〃	小 嶋 秀 規
3号委員	喜 多 一 美	〃	西 井 敦 子
〃	玉 井 啓 介	4号委員	古 川 覚

(12) 木津川市教育振興基本計画策定委員会 (令和5年6月1日現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
委員長	浅 野 良 一	3号委員	中 村 麻 衣
1号委員	黒 上 晴 夫	〃	森 本 悠 樹
2号委員	川 崎 由記子	〃	千 田 裕 美
〃	遠 藤 順 子	4号委員	高 原 和 子
〃	太 田 智 之	5号委員	藤 原 文 野

(13) 幼・小・中学校(園)長会 (令和5年4月1日現在)

職 名		氏 名	所 属
校 園 長 会	会 長	遠 藤 順 子	木 津 小 学 校
	副 会 長	谷 本 和 子	相 楽 台 小 学 校
	副 会 長	山 下 智 義	山 城 中 学 校
	副 会 長	谷 原 美 紀	木 津 幼 稚 園
	庶 務	志 賀 徹	木 津 南 中 学 校
	会 計	森 環	棚 倉 小 学 校
人権教育研究会長		中 川 嗣 郎	相 楽 小 学 校
教育支援委員会長		森 環	棚 倉 小 学 校
小学校体育連盟会長		木 村 康 宏	恭 仁 小 学 校
社会科副読本編集委員会		古 川 覚	上 狛 小 学 校
P T A連絡協議会		太 田 智 之	泉 川 中 学 校
不登校対策連絡協議会		志 賀 徹	木 津 南 中 学 校
小中連携推進委員会		山 下 智 義	山 城 中 学 校
教務主任会担当		太 田 智 之	泉 川 中 学 校
		四 方 哲 雄	州 見 台 小 学 校
学校（園）保健会連絡協議会		磯 谷 薫	梅 美 台 小 学 校
		川 崎 由記子	高 の 原 幼 稚 園
青少年育成委員会		北 澤 喜 幹	木 津 中 学 校
		竹 花 裕 子	城 山 台 小 学 校
教育研究会		谷 本 和 子	相 楽 台 小 学 校
国際交流協会		西 川 昭 人	高 の 原 小 学 校
男女共同参画審議会		磯 谷 薫	梅 美 台 小 学 校
共同学校事務室推進協議会		西 川 昭 人	高 の 原 小 学 校

	志 賀 徹	木 津 南 中 学 校
特別支援教育推進委員会	高 橋 敬 子	南加茂台小学校
「科学のまちの子どもたち」を育てる 木津川市立学校教員研究会	太 田 智 之	泉 川 中 学 校
	竹 花 裕 子	城 山 台 小 学 校
情報教育研究会	田 中 成 一	加 茂 小 学 校
	中 嶋 清 衡	木津第二中学校
木津川市教育振興基本計画推進委員会	遠 藤 順 子	木 津 小 学 校
	太 田 智 之	泉 川 中 学 校
いじめ防止等対策委員会	北 澤 喜 幹	木 津 中 学 校
	古 川 覚	上 狛 小 学 校
社会教育委員	中 川 嗣 郎	相 楽 小 学 校
校務支援システム・センターサーバー導入・ 運用委員会	四 方 哲 雄	州 見 台 小 学 校
通級指導教室担当者会	栗 津 京 子	木津川台小学校
食育推進委員会	森 環	棚 倉 小 学 校

(14)歴代教育委員

氏 名	就任年月日	退任年月日	備 考
杉 本 清 重	平成19年3月12日	平成27年5月10日	任期4年※
藤 井 昇	平成19年3月12日	平成19年5月10日	
山 本 欽 一	平成19年3月12日	平成22年5月10日	任期3年※
原 俊 一	平成19年3月12日	平成21年5月10日	任期2年※
久 保 三左男	平成19年3月12日	平成23年5月10日	任期4年※
有 賀 やよい	平成19年5月11日	平成20年5月10日	任期1年※
西 井 敦 子	平成20年5月11日	平成24年5月10日	
有 賀 やよい	平成21年5月11日	現在に至る	
小 松 信 夫	平成22年5月11日	現在に至る	
森 永 重 治	平成23年5月13日	平成27年5月12日	
高 橋 史 代	平成24年5月11日	令和 5年5月10日	
佐 脇 貞 憲	平成27年5月14日	現在に至る	
皆 川 麻 紀	令和 5年6月30日	現在に至る	任期は高橋氏の 残任期間

※合併後、最初に任命される委員の任期(平成19年3月12日～5月10日は暫定委員)

(15)歴代教育委員長

氏 名	就任年月日	退任年月日	備 考
杉 本 清 重	平成19年3月12日	平成27年5月10日	

(16)歴代教育長

氏 名	就任年月日	退任年月日	備 考
久 保 三左男	平成19年3月12日	平成23年5月10日	
森 永 重 治	平成23年5月13日	平成27年5月12日	

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、木津川市では、平成27年5月13日より教育委員会体制が変更となり、教育長と教育委員長が一本化された「新教育長」体制に移行

氏 名	就任年月日	退任年月日	備 考
森 永 重 治	平成27年5月14日	現在に至る	

4 教育委員会事務局

(1) 所在地 京都府木津川市木津南垣外110番地9

郵便番号 619-0286

電 話 (0774) 72-0501 (代)

学校教育課 (0774) 75-1230 (直通)

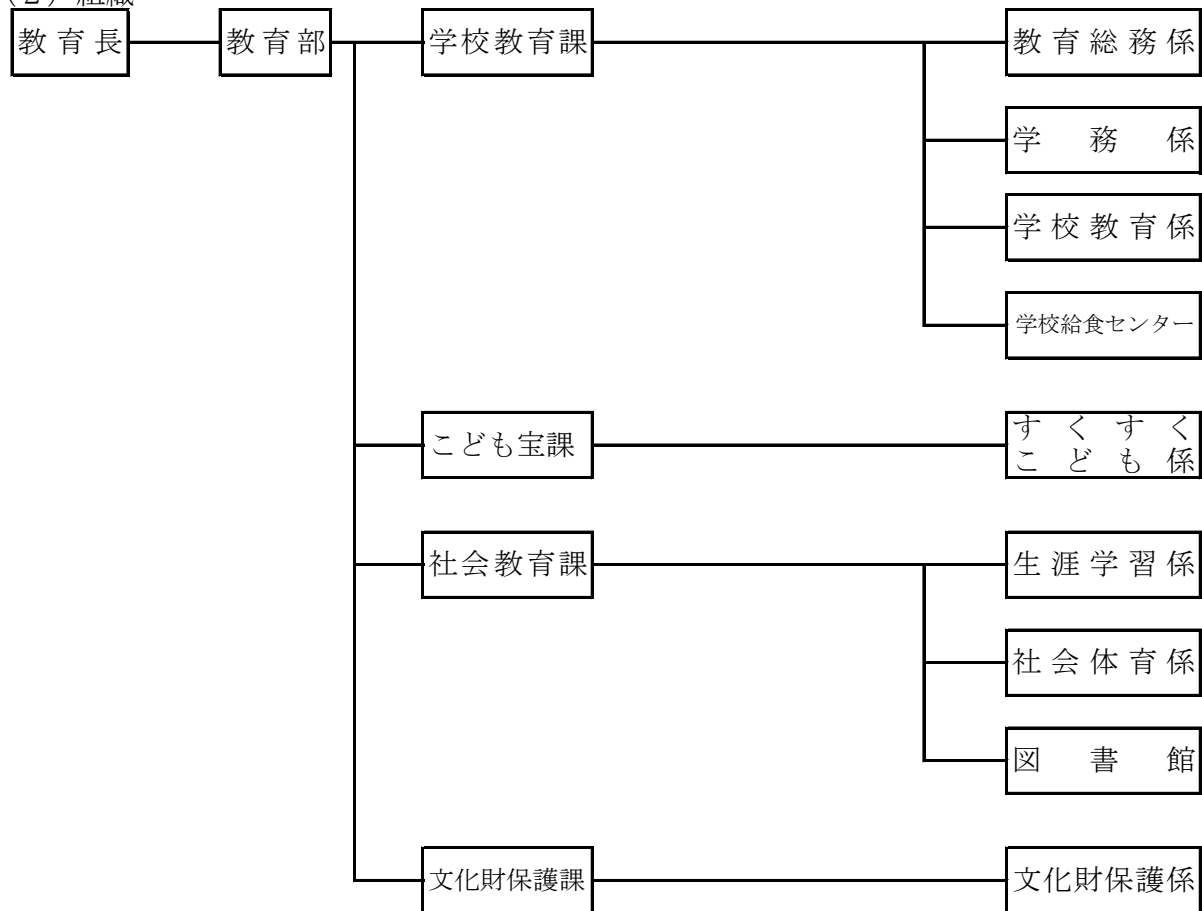
こども宝課 (0774) 75-1212 (直通)

社会教育課 (0774) 75-1233 (直通)

文化財保護課 (0774) 75-1232 (直通)

F A X (0774) 73-2566 (0774) 75-2083

(2) 組織



(3)職員配置(令和5年4月1日現在)

教育長 1名
 教育部長 1名
 教育部理事 3名
 教育部次長 1名

課 名 等	課長	課長補佐	係 名 等	係長	係 員	
学 校 教 育 課	課長1 担当課長1 主幹2	5	教育総務係	1	主 任	3
					主 事	2
			学務係	(1)	主 任	1
					主 事	2
			学校教育係	1	主 任	1
					主 事	1
			学校教育指導主事		会計年度任用職員	4
			外国語指導助手		会計年度任用職員	3
			教育支援センター		会計年度任用職員	1
			学校安全対策指導員		会計年度任用職員	1
学校給食センター	所長(1)	(1)	第一学校給食センター		会計年度任用職員	2
	所長(1)		第二学校給食センター		主任専門員	1
					会計年度任用職員	1
小学校13校						
中学校5校						
こ ど も 宝 庫	課長(1) 主幹1	1	すくすくこども係	1	主 任	1
					主 事	5
					主任専門員	1
	木津幼稚園	園長1			教 諭	4
					会計年度任用職員	4
	相楽幼稚園	園長1			教 諭	2
					会計年度任用職員	2
	高の原幼稚園	園長1			教 諭	2
					会計年度任用職員	2
	保育園7園					
社 会 教 育 課	課長(1) 担当課長1 主幹1	1	生涯学習係	1	主 任	2
					主 事	1
					会計年度任用職員	2
	図書館	館長(1)	社会体育係	1	主 査	1
			中央図書館	1	主 査	1
					専 門 員	1
					会計年度任用職員	8
			加茂図書館		主 査	1
					会計年度任用職員	7
			山城図書館		担当係長	1
					会計年度任用職員	7
	加茂文化センター					
	山城総合文化センター					
	中央交流会館					
	西部交流会館					
	東部交流会館	館長(1)			主任専門員	1
	庁舎北別館				専 門 員	1
	南加茂台公民館	館長(1)			主任専門員	1
	瓶原公民館					
	加茂青少年山の家					
	加茂青少年センター					
	当尾の郷会館					
	中央体育館	館長(1)			主任専門員	1
	市民スポーツセンター					
	加茂体育館					
	やすらぎタウン山城プール					
文 化 財 保 護 課	課長(1)	1	文化財保護係	(1)	主 任	2
					主 事	1

※()内は兼務職員数

(4) 事務分掌

ア 学校教育課

教育総務係
① 教育委員会及び教育部の庶務に関すること。
② 教育委員会の会議に関すること。
③ 教育委員に関すること。
④ 公印の保管に関すること。
⑤ 教育委員会の基本的政策の企画立案及び総合調整に関すること。
⑥ 公文書の保管その他文書に関すること。
⑦ 表彰、叙勲及び寄付受納に関すること。
⑧ 京都府教育委員会その他関係機関との連絡調整に関すること。
⑨ 教育委員会の職員(府費負担教職員を除く。)の人事、給与、福利厚生等に関すること。
⑩ 教育委員会規則等の公布等に関すること。
⑪ 教育委員会所掌に係る歳入歳出予算及び決算に関すること。
⑫ 教育費の調査及び統計に関すること。
⑬ 後援申請に関すること。
⑭ 教育委員会に係る教育行政の相談に関すること。
⑮ 市立小学校、中学校等に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
⑯ 市立小学校、中学校等の施設台帳に関すること。
⑰ 市立小学校、中学校等の施設に係る調査に関すること。
⑱ 市立小学校及び中学校の施設整備に関すること。
⑲ 市立小学校及び中学校の施設の備品管理に関すること。
⑳ 市立小学校及び中学校の使用許可に関すること。
㉑ 市立小学校及び中学校の施設の国庫支出金及び府支出金に関すること。
㉒ 学校教育課の所管となる施設の企画立案、設計計画等に関すること。
㉓ 公用車の管理に関すること。
㉔ 教育部における他の課に属さない事項等の処理に関すること。
㉕ 課の庶務に関すること。

学務係
① 学校の組織編成に関すること。
② 通学区域に関すること。
③ 児童生徒の安全に関すること(通学路を含む。)
④ 学齢簿の編成及び整備に関すること。
⑤ 児童生徒の就学並びに入学、転学及び退学に関すること。
⑥ 児童生徒の就学猶予又は免除に関すること。
⑦ 児童生徒の指定学校の変更及び区域外就学に関すること。
⑧ 市立小学校及び中学校に係る予算・決算の執行管理に関すること。
⑨ 就学時健康診断に関すること。
⑩ 府費負担教職員の人事、給与等に関すること。
⑪ 府費負担教職員の研修に関すること。
⑫ 市立小学校及び中学校の設置及び廃止に係る事務に関すること。
⑬ 所掌に係る調査及び基幹統計に関すること。

⑭ 児童クラブの施設整備及び運営に関すること。
⑮ 児童クラブ使用料の賦課及び調定に関すること。
⑯ 児童クラブ使用料の徴収、滞納対策等に関すること(ただし、収納担当課が取扱うものを除く。)
⑰ その他学務に関すること。

学校教育係
① 児童生徒の保健及び健康診断に関すること。
② 教育課程及び学習指導に関すること。
③ 人権教育、特別支援教育等に関すること。
④ 人権教育等の教育関係補助金に関すること。
⑤ 教育支援委員会に関すること。
⑥ 教科書採択及び教科書無償給与に関すること。
⑦ 市立小学校及び中学校の教材備品の管理及び取扱いに関すること。
⑧ 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。
⑨ 外国語指導助手に関すること。
⑩ 学校評議員及びスクールボランティアに関すること。
⑪ 学校運営協議会に関すること。
⑫ 就学奨励費に関すること。
⑬ 就学援助に関すること。
⑭ 育英資金・高等学校奨学金に関すること。
⑮ 教育相談に関すること。
⑯ 児童・生徒の基礎学力向上に関すること。
⑰ その他学校教育に関すること。

学校給食センター
① 学校給食センターの施設整備及び運営に関すること。
② 学校給食に関すること。

イ こども宝課

すくすくこども係
① 子どものための教育・保育給付に関すること。
② 子育てのための施設等利用給付に関すること。
③ こども政策に関すること。
④ 子ども・子育て会議に関すること。
⑤ 特定教育・保育施設、特定地域型保育事業者、特定子ども・子育て支援施設等の確認に関すること。
⑥ 教育・保育認定に関すること。
⑦ 保育施設及び保育事業の利用調整に関すること。
⑧ 市立幼稚園児の入退園に関すること。
⑨ 特定教育・保育施設の利用者負担額の決定等に関すること。
⑩ 保育所及び市立幼稚園の利用者負担額の徴収及び収納に関すること(ただし、収納担当課が取扱うものを除く。)
⑪ 保育所、認定こども園、家庭的保育事業等への指導監査に関すること。
⑫ 保育所、認定こども園及び家庭的保育事業等事業者への助成に関すること。

⑬ 保育所、認定こども園、家庭的保育事業所及び小規模保育事業所の整備に関する事
⑭ 家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業及び事業所内保育事業の認可に関する事
⑮ 市立幼稚園の設置及び廃止に係る事務に関する事
⑯ 市立幼稚園の通園バスに関する事
⑰ 私立幼稚園の補助に関する事
⑱ 市立保育所及び市立幼稚園の施設整備及び運営管理に関する事
⑲ その他幼児教育・保育に関する事

ウ 社会教育課

生涯学習係
① 社会教育の総合企画及び調整に関する事
② 社会教育施設に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関する事
③ 公民館、交流会館及びその他社会教育施設の施設整備及び運営に関する事
④ 社会教育施設の企画立案及び設計計画等に関する事
⑤ 社会教育委員及び公民館運営審議会に関する事
⑥ 社会教育活動の奨励に関する事
⑦ 青少年教育、成人教育、女性教育、高齢者教育、人権教育、障害者教育及び家庭教育に関する事
⑧ 社会教育関係団体の指導育成及び援助に関する事
⑨ 文化・芸術の振興に関する事
⑩ 二十歳のつどいに関する事
⑪ 学校と社会教育との連携に関する事
⑫ 社会教育に係る資料の収集・提供及び広報活動に関する事
⑬ 生涯学習の総合企画及び調整に関する事
⑭ 生涯学習関係団体との連絡調整に関する事
⑮ 教育ボランティア及び指導者の育成に関する事
⑯ 生涯学習に係る資料の収集・提供及び広報活動に関する事
⑰ 生涯学習相談に関する事
⑱ 国際交流に関する事
⑲ その他生涯学習推進に関する事
⑳ 課の庶務に関する事

社会体育係
① 体育・スポーツの総合企画及び調整に関する事
② 社会体育施設に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関する事
③ 社会体育施設の施設整備及び運営に関する事
④ 社会体育施設の企画立案及び設計計画等に関する事
⑤ スポーツ推進委員に関する事
⑥ 体育・スポーツ及びレクリエーションの奨励に関する事
⑦ 社会体育事業の企画立案及び運営に関する事
⑧ スポーツ指導者の育成に関する事
⑨ 社会体育関係団体の指導者育成及び援助に関する事
⑩ 体育・スポーツ及びレクリエーションに係る資料の収集・提供及び広報活動に関する事

⑪ スポーツ相談に関すること。
⑫ 学校体育施設の開放事業に関すること。
⑬ その他社会体育に関すること。

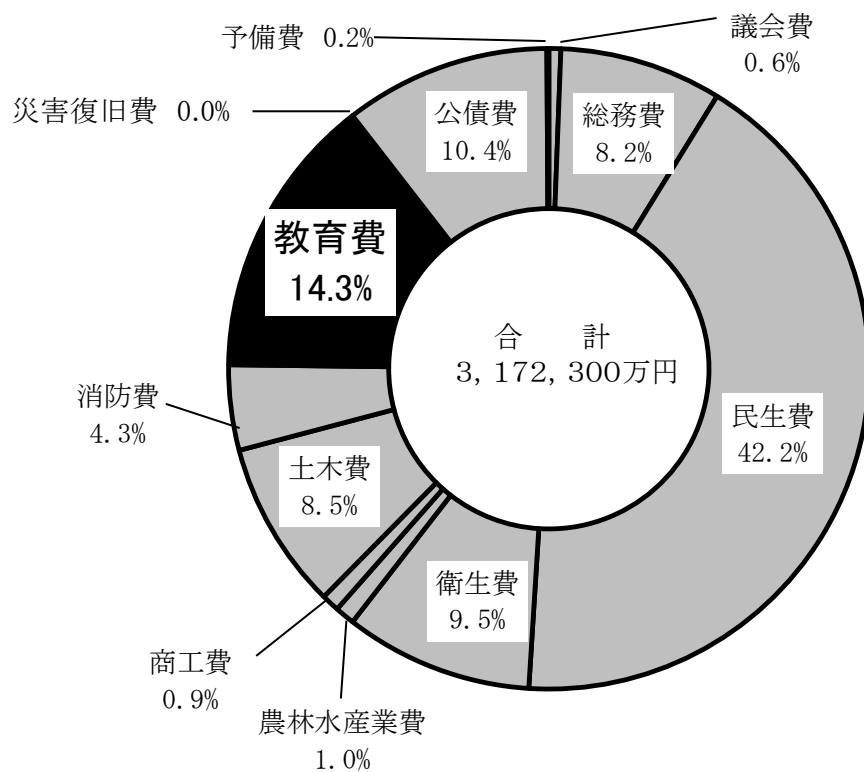
図書館
① 図書館の総合計画及び調整に関すること。
② 図書館協議会に関すること。
③ 図書館に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
④ 図書館施設の施設整備及び運営に関すること。
⑤ 図書館施設の企画立案及び設計計画等に関すること。
⑥ 図書館事業の企画立案及び運営に関すること。
⑦ 図書館資料の収集、整理及び保存に関すること。
⑧ 図書館資料の貸出し及び返却に関すること。
⑨ 図書館資料の利用相談に関すること。

エ 文化財保護課

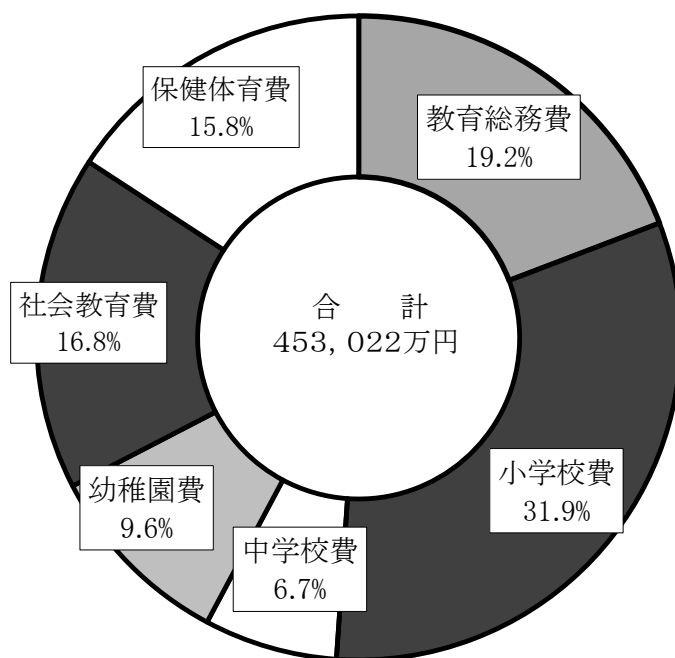
文化財保護係
① 文化財関係総括に関すること。
② 文化財関係計画の立案に関すること。
③ 文化財に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
④ 文化財保護課の所管となる施設の企画立案及び設計計画等に関すること。
⑤ 文化財関係施設の整備運営に関すること。
⑥ 文化財保護審議会等に関すること。
⑦ 文化財所有者及び保護団体に関すること。
⑧ 文化財保護関係機関との連絡調整に関すること。
⑨ 文化財の収集、調査及び研究に関すること。
⑩ 文化財の保存及び活用に関すること。
⑪ 講演会、研究会及び展示会等の開催に関すること。
⑫ 文化財資料の利用者に対する情報提供等に関すること。
⑬ 文化財補助金に関すること。
⑭ 市史編さんに関すること。
⑮ その他文化財の管理調査に関すること。
⑯ 課の庶務に関すること。

5 木津川市の財政

目的別歳出予算(令和5年度)



教育費歳出予算(令和5年度)



Ⅱ 教育委員会の活動状況

教育委員会の活動状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

1. 教育委員について

市教育委員会は、市長が市議会の同意を得て任命した教育長、4人の委員で構成されています。

令和4年度 木津川市教育委員会教育長及び委員

役 職 名	氏 名	備 考
教 育 長	森 永 重 治	
教育長職務代理者	有 賀 やよい	
委 員	小 松 信 夫	
委 員	高 橋 史 代	
委 員	佐 脇 貞 憲	

2. 教育委員会の開催状況

令和4年度教育委員会会議開催状況一覧

No.	件 名	開 催 日
1	第 4回定例会	令和4年 4月11日
2	第 5回定例会	令和4年 5月20日
3	第 3回臨時会	令和4年 6月14日
4	第 6回定例会	令和4年 6月30日
5	第 7回定例会	令和4年 7月25日
6	第 4回臨時会	令和4年 8月 4日
7	第 8回定例会	令和4年 8月31日
8	第 9回定例会	令和4年 9月26日
9	第 5回臨時会	令和4年10月27日
10	第10回定例会	令和4年10月31日
11	第11 回定例会	令和4年11月18日
12	第12回定例会	令和4年12月26日
13	第 1回定例会	令和5年 1月18日
14	第 2回定例会	令和5年 2月 6日
15	第 1回臨時会	令和5年 2月24日, 27日
16	第 2回臨時会	令和5年 3月 6日
17	第 3回定例会	令和5年 3月28日

【第4回定例会 令和4年4月11日】

○議 事

議案第11号 木津川市立幼稚園の閉園について

【第5回定例会 令和4年5月20日】

○議 事

議案第12号 木津川市立幼稚園条例の一部改正について実施要綱の制定について

議案第13号 木津川市立学校評議員の委嘱について

議案第14号 木津川市立幼稚園評議員の委嘱について

議案第15号 木津川市立小学校及び中学校の在り方検討委員会委員の委嘱について

議案第16号 児童及び生徒の入学すべき学区を指定する規則の一部改正について

議案第17号 令和4年度木津川市一般会計補正予算第2号について

【第3回臨時会 令和4年6月14日】

○議 事

議案第18号 相楽小学校南校舎大規模改修等工事請負契約の締結について

【第6回定例会 令和4年6月30日】

○議 事

議案第19号 木津川市立小学校及び中学校の在り方検討委員会委員の委嘱について

議案第20号 木津川市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

議案第21号 木津川市立図書館協議会委員の任命について

○その他

(1) 令和4年第2回木津川市議会定例会 一般質問及び答弁について

【第7回定例会 令和4年7月25日】

○議 事

議案第22号 木津川市立幼稚園規則等の一部改正について

報告第2号 木津川市育英資金の交付状況等について

【第4回臨時会 令和4年8月4日】

○議 事

議案第23号 令和4年度木津川市一般会計補正予算第3号について

【第8回定例会 令和4年8月31日】

○議 事

議案第24号 令和4年度木津川市一般会計補正予算第4号について

【第9回定例会 令和4年9月26日】

○議 事

議案第25号 木津川市外国語指導助手の服務等に関する規則の一部改正について

○その他

(1) 令和4年第3回木津川市議会定例会 一般質問及び答弁について

【第5回臨時会 令和4年10月27日】

○議 事

議案第28号 令和4年度木津川市一般会計補正予算第6号について

【第10回定例会 令和4年10月31日】

○議 事

議案第26号 木津川市教育振興基本計画策定委員会委員の委嘱について

議案第27号 木津川市立学校評議員の委嘱について

○その他

(1) 木津川市立小・中学校の在り方に関する基本計画（案）について

(2) 木津川市文化財保存活用地域計画（案）について

【第11回定例会 令和4年11月18日】

○議 事

議案第29号 令和4年度木津川市一般会計補正予算第7号について

議案第30号 城山台小学校管理備品（家具・インテリア）の買入れについて

議案第31号 木津小学校管理備品（家具・インテリア）の買入れについて

【第12回定例会 令和4年12月26日】

○議 事

報告第3号 木津川市指定文化財について（報告）

○その他

(1) 令和4年第4回木津川市議会定例会 一般質問及び答弁について

(2) 医療的ケア児の保育所等受け入れガイドライン（案）について

(3) 令和5年度公立幼稚園入園申込状況について

【第1回定例会 令和5年1月18日】

○議 事

な し

【第2回定例会 令和5年2月6日】

○議 事

議案第 1号 令和5年度木津川市一般会計予算について

議案第 2号 令和4年度木津川市一般会計補正予算第9号について

議案第 3号 木津川市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書(令和3年度実施事業)について

議案第 4号 木津川市立学校運営協議会委員の委嘱について

【第1回臨時会 令和5年2月24日, 27日】

○議 事

議案第 5号 令和5年度木津川市立小・中学校管理職人事について

【第2回臨時会 令和5年3月6日】

○議 事

議案第 6号 相楽小学校北校舎改築等工事請負契約の締結について

【第3回定例会 令和5年3月28日】

○議 事

議案第 7号 木津川市教育委員会が保管する公文書の開示に関する規則について

議案第 8号 木津川市教育委員会個人情報保護に関する法律等施行規則について

議案第 9号 木津川市立小・中学校の在り方に関する基本計画の策定について

議案第10号 木津川市社会教育委員の委嘱について

議案第11号 木津川市公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第10号 木津川市スポーツ推進委員の委嘱について

議案第10号 木津川市立小学校及び中学校の教職員の勤務時間等に関する規則の一部改正について

○その他

(1) 令和5年第1回木津川市議会定例会 一般質問及び答弁について

(2) 木津川市教育支援センター設置要綱の制定について

(3) 令和5年度 学校教育の重点について

(4) 令和5年度 社会教育の重点について

(5)木津川市文化財保存活用地域計画のパブリックコメント実施結果について

3. 教育委員会の活動状況

令和4年度 研修等参加状況

開催日	件 名	開催場所
令和4年 5月20日	京都府市町村教育委員会連合会定期総会	京都府総合教育センター
6月	山城地方教育委員会連絡協議会定期総会	書面開催
7月8日	相楽地域教育委員会連絡協議会・教育長会 合同研修会	木津川市精華町環境施設 組合「環境の森センター・き づがわ」
7月28日	全国市町村教育委員会オンライン協議会	オンライン
11月1日	近畿市町村教育委員会研修大会	オンライン
11月11日	京都府内市町村(組合)教育委員会研修会	ルビノ京都堀川
令和5年 2月2日	教育長・教育長職務代理者合同会議	中央図書館

III 学 校 教 育

令和5年度 学校教育の重点

重点目標1 質の高い学力を はぐくむ

- (1) 学びに向かう力、人間性
等の涵養と学習習慣
- (2) 基礎的・基本的な知識
・技能
- (3) 活用する力

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進(1)(2)(3)
- ② 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な授業の実践(1)(2)(3)
- ③ 木津川市独自の授業スタンダードの定着(1)(2)(3)
- ④ ICT機器を効果的に活用したわかる授業の推進(1)(2)(3)(15)
- ⑤ 体験を通じた授業の工夫(1)(2)(3)
- ⑥ 発達の段階に応じた家庭での学習の習慣化(1)(2)(3)
- ⑦ より円滑な接続を目指した小中連携・小中連携の推進(1)(2)(3)
- ⑧ 基礎・基本の徹底を図る個別補充学習と課題解決型学習の推進(1)(2)(3)
- ⑨ 学力診断テストの実施と分析、検証による授業改善(1)(2)(3)
- ⑩ 外部講師による出前授業や、地域人材の活用など連携した学びの推進(1)(3)

○ホップアップ学習（小学校補充学習）
○木津川市小中学校統一学力診断テスト

○ステップアップ学習（中学校補充学習）
○木津川市立小・中学校学力充実・向上推進会議

◇やましろ授業スタンダード ◇京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～ ◇全国学力・学習状況調査
◇学習支援員配置事業（小学校4・5年、中学校1・2年）

重点目標2 豊かな心と規範意識を はぐくむ

- (4) 道徳教育
- (5) 生徒指導
- (6) 読書活動

- ① 道徳科における、質の高い多様で効果的な指導方法の実践と研究の推進(4)
- ② 道徳科における、一人一人のよさを伸ばし、成長を促すための評価の充実(4)
- ③ 情報モラルと現代的課題に関する指導の充実(4)(15)
- ④ 生徒指導の重層的支援構造の機能を活かし、児童生徒の意欲を引き出す教育活動の充実(5)
- ⑤ 多様な他者を尊重する態度を育て、自己肯定感を高める指導の充実(4)(5)
- ⑥ 中学校区毎のあいさつ運動の充実(5)(21)
- ⑦ いじめ等の問題行動に対する迅速な対応及び未然防止に向けた取組の強化(5)
- ⑧ 不登校をはじめとする諸課題に対する相談体制の充実(5)
- ⑨ 就学前からの本に親しむ機会の充実(6)
- ⑩ 学校での読書活動の推進に係る取組の強化(6)

○木津川市いじめ防止等対策委員会
○木津川市不登校対策連絡協議会
○木津川市スクールカウンセラー活用事業
○学校図書館システム整備事業
○木津川市子どもの読書活動推進計画

○木津川市いじめ防止等対策チーム
○木津川市不登校対策運営協議会
○木津川市カウンセリングルーム
○心の教育相談員
○中学校区あいさつ運動

○木津川市いじめ・生徒指導担当者会議
○不登校対策チーム
○木津川市適応指導教室（ふれあい教室）
○としょかんスタートセット
○学校司書

◇私たちの道徳 ◇京の子ども 明日へのとびら ◇読書大好きアクションプラン ◇スクールカウンセラー活用事業
◇不登校児童生徒支援拠点整備事業 ◇子どもの学習・生活支援事業（まなび・生活アドバイザー）

重点目標3 健やかな体を はぐくむ

- (7) 食育
- (8) 体力
- (9) 健康

- ① 新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策の徹底(9)
- ② 食に関する指導の充実と望ましい健全な食習慣の定着(7)(9)
- ③ 地域社会や家庭と連携した食育の推進(7)
- ④ 安心・安全な学校給食の実施(7)(9)
- ⑤ 体力テストや運動能力の状況を踏まえた取組や授業改善の推進(8)(9)
- ⑥ 学校体育や運動部活動の充実(8)(9)
- ⑦ 中学校部活動の練習時間や休養日、適切な指導の推進(8)
- ⑧ 喫煙・飲酒・薬物乱用等の防止教育の充実(9)
- ⑨ 家庭と連携した生活習慣の確立(9)
- ⑩ 学校保健に関する現代的課題に対応する取組の推進(9)

○木津川市食育推進委員会
○給食の地産地消
○木津川市部活動指導方針
○小学生のためのメンタルヘルス教育

○5分間スタディ
○木津川市立中学校運動部活動連携事業
○中学校部活動指導員・外部指導者

○栄養教諭による出前授業
○木津川市小学校陸上運動交歓記録会
○アレルギー対応マニュアル

◇京の子ども元気なからだスタンダード ◇京都府部活動指導指針 ◇京都式「部活動サポート」事業（部活動指導員・外部指導者）

重点目標4

一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者としての必要な資質をはぐくむ

- (10) 人権教育
- (11) 特別支援教育
- (12) キャリア教育
- (13) 幼児期の教育
- (14) 貧困対策

- ① 人権教育推進体制の充実及び全体計画や年間計画・指導方法の工夫改善(10)
- ② 人権教育推進のための教職員の認識の深化と実践力・指導力の向上(10)
- ③ 子どもが主体的に学ぶための教材等の開発(10)(11)
- ④ 校種間・家庭・地域・関係機関との連携を図った人権尊重の環境づくり(10)(11)
- ⑤ 「相談支援ファイル」を活用し継続した適切な支援の実施(11)
- ⑥ 木津川市教育支援委員会を中心とした就学相談体制の強化(11)
- ⑦ ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりと教育環境の充実(11)
- ⑧ 地域支援センターや通級指導教室等との連携による支援(11)
- ⑨ 発達の段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の推進(12)
- ⑩ 進路相談体制や支援体制の充実(12)
- ⑪ 様々な人との触れ合いを通じた豊かな人間関係の構築(13)
- ⑫ 小学校教育への円滑な接続に向けた保幼小連携・接続の推進・充実(13)
- ⑬ 児童生徒の学習支援の充実(14)
- ⑭ 保護者への経済的支援の充実(14)

○木津川市人権教育研究会
○木津川市教育支援委員会

○相談支援ファイル
○木津川市育英資金制度

○木津川市特別支援教育推進委員会
○要保護及び準要保護児童生徒就学援助制度

◇KYO発見 仕事・文化体験活動推進事業 ◇親のための応援塾 ◇もうすぐ1年生 体験入学推進事業

重点目標5

社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ

- (15) 情報教育
- (16) グローバル化への対応
- (17) 環境教育

- ① タブレット型PCを活用した情報活用能力の育成(15)
- ② 教員のICT活用指導力及び児童生徒のICT活用力の育成(1)(2)(3)(15)
- ③ 情報活用能力及び情報社会を主体的に生き抜く能力の育成(15)
- ④ 正しい知識と情報モラルを身につけるための教育の充実と教職員の研修の充実(15)
- ⑤ 小中学校の外国語教育の充実(16)
- ⑥ 国際交流等による国際感覚を磨くための取組の充実(16)
- ⑦ 環境保全に向けた自発的活動の充実(17)
- ⑧ 市内施設や企業等を活用した体験的な環境教育の推進(17)

○ICT教育推進事業
○小学校英語指導講師(JTE)

○プログラミング教育
○サンタモニカ交流事業

○外国語指導助手(ALT)
○日本語学習指導員

○ICT支援員
○英語イベントレッスン

重点目標6

魅力ある・信頼される学校・園をつくる

- (18) 学校の組織力と教職員の資質
- (19) 学校・園づくり
- (20) 教育環境

- ① 協働できる体制づくりに向けた学校組織マネジメント能力の向上(18)
- ② OJT等による教職員の資質向上に向けた取組の充実(18)
- ③ 教職員の総勤務時間縮減に向けた取組の充実(18)
- ④ 特色ある学校・園づくりの推進(19)
- ⑤ 学校・園評価(自己評価及び関係者評価)の充実による学校・園運営の改善と「開かれた学校・園」づくりの推進(19)
- ⑥ 地域の人材を活かしつつ学校を中核とした地域の絆を深める取組の充実(19)
- ⑦ 危機管理体制の整備と警察等との連携による教職員の研修の充実(20)
- ⑧ 通学路の定期的な安全点検の実施(20)
- ⑨ 実践的な防犯・安全教育の実施(20)
- ⑩ ユニバーサルデザインの視点に立った教育環境の充実(20)

○木津川市特色ある学校づくり推進事業
○木津川市通学路安全推進会議
○通学路防犯カメラ設置事業

○木津川市地域で支える学校教育推進事業
○幼稚園学校機械警備事業
○防犯研修

○危機等発生時対処要領
○学校安全マップ
○校務用PC整備事業

重点目標7 地域の力を活かして 子どもをはぐくむ

- (21) 子育て支援
- (22) 家庭教育支援
- (23) 生涯学習環境
- (24) 安全対策

- ① 地域コーディネーターと連携した地域ぐるみで子どもを守り育てる体制の充実(21)
- ② 地域の人材を活用した教育活動の充実(21)
- ③ 各中学校区でのあいさつ運動の実施(5)(21)
- ④ 保護者への子育てに対する相談・サポート体制の充実(22)
- ⑤ 保護者が学び合える環境の整備(22)
- ⑥ 児童虐待の早期発見・早期対応の教職員研修の充実と関係機関との連携強化(22)
- ⑦ 保護者の経済的負担軽減(14)(22)
- ⑧ 地域と連携した防犯対策の充実(24)
- ⑨ ボランティア・警察・子ども110番の家等との連携による地域で見る体制の充実(24)
- ⑩ コミュニティ・スクールについての実践研究の推進(21)

○木津川市地域で支える学校教育推進事業
○木津川市遠距離通学費補助金
○学校安全マップ

○木津川市要保護児童対策地域協議会
○木津川市通学路安全推進会議
○中学校区あいさつ運動

○木津川市育英資金交付事業
○地域見守り箱
○市立学校防災（火災）訓練

◇京のまなび教室事業 ◇親のための応援塾 ◇子育てサロン

重点目標8 地域を学び、郷土を大切に する心をはぐくむ

- (25) 自然・歴史についての学習
- (26) 地域資源

- ① 関係施設や関係団体との連携を図った地域の文化財を学ぶ機会の充実(25)(26)
- ② 質の高い文化・芸術に触れる機会の充実(25)
- ③ 地域と連携した自然体験学習の充実(25)
- ④ 研究所等との連携による体験的な学習の充実と子どもの科学的知識を深める取組の充実(26)
- ⑤ 研究機関や企業とのネットワークづくりの推進と子どもの知的好奇心の醸成を図る取組の展開(26)
- ⑥ 大学等との連携事業を通じた様々な体験活動の充実(25)(26)

○文化財保護課による出前授業

○わたしたちの木津川市（小学校社会科副読本）

○ふるさと学習

◇芸術演劇鑑賞事業 ◇子どもの知的好奇心をくすぐる体験授業

[凡例]

木津川市の現行及び拡充を図っていく主な施策

国及び京都府の主な施策



木津川市教育振興基本計画(後期) 平成31年3月改定

木津川市教育委員会では、本市の豊かな自然環境をはじめ、歴史、文化遺産などの地域資源や豊富な人的資源、とりわけ関西文化学術研究都市の中核地としての立地を活かした、木津川市の教育に関する総合的な計画として、「木津川市教育振興基本計画」を平成26年3月に策定しました。これまで実施してきた様々な施策の成果と課題を整理するとともに、目指す子ども像や教育の目標を明確にし、本市教育行政の基本的な方向を示す計画であります。計画策定から5年が経過し、中間見直しを行い、「木津川市教育振興基本計画(後期)」として、平成31年3月に改定しました。

基本理念

生きる力をはぐくみ
新しい時代を拓く“きづがわっ子”を目指して

目指す子ども像

共に「学び」「喜び」「成長し」未来を力強く生きる子ども

重点目標

- 1 質の高い学力をはぐくむ
- 2 豊かな心と規範意識をはぐくむ
- 3 健やかな体をはぐくむ
- 4 一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者としての必要な資質をはぐくむ
- 5 社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ
- 6 魅力ある・信頼される学校・園をつくる
- 7 地域の力を活かして子どもをはぐくむ
- 8 地域を学び、郷土を大切に作る心をはぐくむ

目指す教育の姿

子どもの力を伸ばし、
未来に向かって生き
る力をはぐくむ

一人一人が輝き、社
会の一員としての基
盤をはぐくむ

木津川市の力を結集
し、みんなで守りは
ぐくむ

- 視点 1 子どもの将来を見通す
視点 2 木津川市全体で守り育てる
視点 3 木津川市の特色や地域資源を活用する

令和5年度 重点取組事項

1 学力をはぐくむ



「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を組織的に推進し、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の資質能力をバランスよく児童生徒にはぐくむ。

木津川市 授業スタンダード

- 授業のめあて・流れの提示と視点を明確にした振り返りのある授業
- 一人学びとグループ学習を適切に組み合わせた授業
- ICT機器等教材教具・思考ツールを効果的に活用した授業

- 小学校「ホップアップ学習」、中学校「ステップアップ学習」等の補充学習の推進・充実 **学びに向かう力・人間性等** **知識・技能**

- 学力調査(全国・府・市)の結果分析を踏まえた取組の充実と授業改善の推進 **知識・技能** **思考力・判断力・表現力等**

- ICT機器を効果的に活用した授業の推進と児童生徒の活用力の向上 **学びに向かう力・人間性等** **知識・技能** **思考力・判断力・表現力等**

- 学習の基盤となる言語活動の充実と家庭での学習の習慣化 **学びに向かう力・人間性等** **思考力・判断力・表現力等**

2 豊かな心をはぐくむ

よりよい生き方についての考えを深める道徳教育、人権教育、生徒指導の推進により、主体的に未来を切り拓く豊かな心をはぐくむとともにいじめ、不登校等への対応の更なる充実を図る。

道徳教育・人権教育・生徒指導の充実

- 「考え、議論する道徳」を推進し、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、よりよく生きるための基盤となる道徳性を育成
- 互いに自己有用感を高め合える人間関係の形成を目指し、自他のよさを認め尊重できる態度を育成
- 今日状況踏まえた人権教育、発達支持的生徒指導を推進し、一人一人が課題に向き合う自己指導能力を育成

いじめ防止

- 児童生徒の状況を把握するためのいじめアンケート・定期的な教育相談の実施
- いじめ防止等対策チーム、いじめ・生徒指導担当者会議による早期対応の徹底
- 各学校いじめ対策委員会による早期発見・早期対応への学校内システムの確立

不登校対策

- 適応指導教室を拠点とした不登校支援事業並びに不登校未然防止対策の充実
- 不登校対策チーム、木津川市不登校対策運営協議会による不登校支援の充実

3 魅力ある学校・園づくり

地域の特色、児童生徒・園児の実態を踏まえ、校・園長のリーダーシップのもと、市内21学校・園は魅力ある学校・園づくりを推進する。

- 『特色ある学校づくり推進事業』『地域で支える学校教育推進事業』『各種研究指定事業』等を活用した特色ある教育活動の推進・充実・普及
- 地域の特性を活かした『ふるさと学習』、地域とのつながりを深める『あいさつ運動』の推進
- 校種間[保幼小中高大等]連携の推進

2 施設

(1) 木津川市立学校給食センター

◆第一学校給食センター

所在地 木津川市梅美台八丁目2番地2
TEL 72-2362 FAX 72-5345

沿革

- 令 2.2.21 建物竣工、第一学校給食センター新設。
学校給食衛生管理基準・HACCP に沿った施設、調理能力は副食、米飯とも1日7,000食。
- 令 2.4. 受配校見直しにより木津小学校・相楽小学校・高の原小学校・木津川台小学校・相楽台小学校・梅美台小学校・城山台小学校・上狛小学校・棚倉小学校・木津中学校・木津第二中学校・山城中学校・木津幼稚園・相楽幼稚園・高の原幼稚園に2献立制で完全給食を実施。
米飯給食週4回。

旧木津学校給食センターから新設第一学校給食センター移転までの沿革

- 昭 35.10.1 共同調理場方式で木津小学校にて（鹿背山分校・梅谷分校含む）・相楽小学校の完全給食を実施。
- 昭 42.11.25 木津幼稚園の副食給食を実施。
- 昭 43.4.15 木津中学校の完全給食を実施。
- 昭 53.3.10 学校給食センター竣工。
米飯給食設備を備える、調理能力は、副食1日3,000食、米飯1日750食。
- 昭 53.4.25 相楽幼稚園の副食を実施。
- 昭 63.2.29 学校給食センター竣工。
オートメーションシステムを完備したフルドライシステムを採用、調理能力は、副食1日5,000食、米飯1日2,500食。
- 平 元.4. 高の原幼稚園の副食給食を実施。
- 平 3.4. 木津川台小学校の完全給食を実施。
- 平 5.4. 相楽台小学校の完全給食を実施。
- 平 9.4. 梅美台小学校の完全給食を実施。
- 平 19.3. 給食配送車（保冷車）を購入、配送車は合計4台になる。
- 平 19.4.10 州見台小学校の完全給食を実施。
- 平 21.9. 米飯給食週3回から週3.5回に増やす。
- 平 22.4.1 加茂学校給食センターの新設により梅美台小学校・州見台小学校の配送を加茂学校給食センターへ変更。
- 平 23.4.12 木津南中学校の完全給食を実施。
- 平 23.4.21 高の原幼稚園の副食給食を山城学校給食センターへ変更。
- 平 26.9. 城山台小学校の完全給食を実施。
- 平 30.4. 相楽幼稚園の副食給食を加茂学校給食センターへ変更。
- 令 2.3. 木津学校給食センターを廃止し、新設第一学校給食センターへ移転。

旧山城学校給食センターから新設第一学校給食センター移転までの沿革

- 昭 39.4.1 全校ミルク給食（脱脂粉乳）を実施。
- 昭 40.4. 全校生牛乳に切替える。
- 昭 42.4. センター方式による完全給食。
- 昭 52.5. 炊飯委託で月1回米飯給食の実施。
- 昭 54. 給食施設設備の改善等充実。
- 昭 63. 給食配送車を更新。
- 平 2.4. 米飯給食週2.5回のうち1回をセンターで炊飯実施。

- 平 4.4. 米飯給食週3回のうち3回ともセンターで炊飯実施。
平 14.3. 山城学校給食センター竣工。米飯給食週3.5回。
平 23.4.21 高の原幼稚園の副食給食を実施。
平 23.7. 給食配送車を購入、配送車は合計2台になる。
令 2.3. 山城学校給食センターを廃止し、新設第一学校給食センターへ移転。

施 設

敷地面積 14,799.86㎡
延床面積 3,127.76㎡
構 造 鉄骨造2階建
調理能力 1日7,000食（副食：2献立制）
1日7,000食（米飯）

輸 送

配送車 3t積（パワーゲート付）6台、軽パネルトラック1台

職員数

合計67名（令和5年5月1日現在）

主幹（第一学校給食センター所長事務取扱）1名、課長補佐1名、栄養教諭（府職員）2名、
栄養士（会計年度任用職員）2名

調理配送業務委託 従業者 61名

◆第二学校給食センター（旧加茂学校給食センター）

所在地 木津川市加茂町観音寺石部61番地1
TEL 76-0031 FAX 76-0032

沿 革

- 平 22.4.1 建物竣工、加茂学校給食センター開設。
平 22.4.12 梅美台小学校・州見台小学校・泉川中学校に完全給食を実施。
泉川中学校については、完全給食の開始となる。米飯給食週3.5回。
平 23.4.11 単独調理場から共同調理場への移行により、加茂小学校・恭仁小学校・当尾小学校・南加茂台小学校の完全給食を実施。
平 24.3.31 当尾小学校閉校。
平 26.4 城山台小学校の完全給食を実施。
平 26.9 城山台小学校の配送を木津学校給食センターへ変更。
平 30.4 相楽幼稚園の副食給食を実施。
令 2.4 加茂学校給食センターを第二学校給食センターに名称変更。
受配校見直しにより加茂小学校・恭仁小学校・南加茂台小学校・州見台小学校・泉川中学校・木津南中学校の完全給食を実施。
米飯給食週4回。

施 設

敷地面積 2,376.89㎡
建物面積 1,338.92㎡
構 造 鉄骨造2階建
調理能力 1日2,500食（副食）
1日2,500食（米飯）

輸 送

配送車 2t積（パワーゲート付）3台

職員数

合計 34 名

主任専門員（第二学校給食センター所長事務取扱） 1 名、栄養教諭（府職員） 2 名

栄養士（会計年度任用職員） 1 名

調理配送業務委託 従業者 30 名

給食実施人員数

◆第一学校給食センター

R5.5.1 現在

名 称	児童・生徒 及び園児数	職員数	合 計	学級数	備 考
木 津 小 学 校	402	28	430	16	
相 楽 小 学 校	382	22	404	16	
高 の 原 小 学 校	307	22	329	14	
木津川台小学校	270	23	293	12	
相 楽 台 小 学 校	276	24	300	14	
城 山 台 小 学 校	1,555	95	1,650	50	
梅 美 台 小 学 校	769	45	814	27	
上 狛 小 学 校	120	14	134	7	
棚 倉 小 学 校	245	22	267	12	
木 津 中 学 校	720	48	768	19	
木津第二中学校	415	28	443	13	
山 城 中 学 校	225	23	248	9	
木 津 幼 稚 園	108	18	126	4	
相 楽 幼 稚 園	47	12	59	2	
高 の 原 幼 稚 園	46	11	57	2	
第一学校給食センター	-	67	67	-	
合 計	5,887	502	6,389	217	

◆第二学校給食センター

名 称	児童及び 生徒数	職員数	合 計	学級数	備 考
州 見 台 小 学 校	557	36	593	20	
加 茂 小 学 校	244	21	265	11	
恭 仁 小 学 校	48	11	59	5	
南加茂台小学校	126	15	141	7	
泉 川 中 学 校	235	26	261	7	
木津南中学校	871	52	923	23	
第二学校給食センター	-	32	32	-	
合 計	2,081	193	2,274	73	

◆全体

名 称	児童及び 生徒数	職員数	合 計	学級数	備 考
合 計	7,968	695	8,663	290	

(2) 心の教育施設

ア カウンセリングルーム

- ① 所在地 木津川市立中央図書館 2 階
- ② 設 立 平成 8 年 4 月 1 日
- ③ 目 的 学習や心身に問題を持つ児童生徒や家庭教育に悩みを持つ保護者及び教職員に対する相談活動を通じて、専門的な立場から指導または援助を行うことにより、心身ともに健全な児童生徒を育成することを目的とする。

イ 教育支援センター「キッズふれあい教室」

- ① 所在地 木津川市立高の原小学校内
- ② 設 立 平成 10 年 9 月 1 日
- ③ 目 的 心理的な要因で不登校に陥っている児童生徒を対象に、学習支援を中心に相談活動を行う。また、集団生活への適応に向けて様々な体験活動を通じて社会性の育成を図るとともに、その自立を促し、学校生活への復帰を図る。

3 通学区域

学 校 名	学 校 区
木津小学校	木津町、駅前一丁目 木津のうち八ヶ坪、門樋、神田、田中前、馬ヶ瀬、西小林、大次、八後、宮ノ内、奈良道（国道 24 号以南の区域を除く区域）、清水、南垣外、殿城、雲村、宮ノ堀、天神山、馬場南、大谷、川端、小川、八色、瓦谷、西垣外 木津宮ノ裏、上戸、池田及び川原田のうち J R 関西本線以西の区域 木津片山のうち 112 番地から 126 番地の区域 市坂宮ノ内及び小谷口のうち国道 24 号以北の区域
相楽小学校	相楽及び吐師のうち近鉄京都線以西の区域を除く区域 木津のうち山田川、下川原、南後背、野色、小釜、石塚
高の原小学校	兜台
相楽台小学校	相楽台
木津川台小学校	木津川台、相楽及び吐師のうち近鉄京都線以西の区域
梅美台小学校	梅美台、梅谷
州見台小学校	州見台、市坂、木津奈良道のうち国道 24 号以南の区域 市坂宮ノ内及び小谷口のうち国道 24 号以北の区域を除く区域
城山台小学校	城山台、鹿背山、木津のうち白口、今城、内田山、東小林 木津宮ノ裏、上戸、池田及び川原田のうち J R 関西本線以西の区域を除く区域 木津片山のうち 112 番地から 126 番地の区域を除く区域
加茂小学校	里、高田、観音寺、大野、法花寺野、兎並、美浪、北、銭司、山田、駅東一丁目、駅東二丁目、駅東三丁目、駅東四丁目、駅西一丁目、駅西二丁目
恭仁小学校	井平尾、岡崎、河原、西、例幣、奥畑
南加茂台小学校	南加茂台、岩船、東小上、東小下、南大門、北大門、西小、南下手、北下手、森、高去、勝風、大畑、辻、尻枝
棚倉小学校	綺田、平尾
上粕小学校	上粕、椿井、北河原、神童子
木津中学校	木津小学校、相楽小学校、城山台小学校（城山台九丁目から十三丁目の区域を除く）の区域
木津第二中学校	高の原小学校、木津川台小学校、相楽台小学校の区域
木津南中学校	梅美台小学校、州見台小学校、城山台小学校（城山台九丁目から十三丁目）の区域
泉川中学校	加茂小学校、恭仁小学校、南加茂台小学校の区域
山城中学校	棚倉小学校、上粕小学校の区域

4 園児・児童・生徒数

(1) 幼稚園

ア 園児数

令和5年5月1日現在（単位：人、学級）

園名	3歳児		4歳児		5歳児		計	
	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数
木津幼稚園	34	2	58	2	50	2	142	6
相楽幼稚園	11	1	24	1	24	1	59	3
高の原幼稚園	0	0	25	1	24	1	49	2
計	45	3	107	4	98	4	250	11

イ 園児数の推移

各年 5月1日現在（単位：人）

年 度	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
木津幼稚園	237	238	207	156	157	157	132	142
相楽幼稚園	105	125	111	94	95	75	72	59
高の原幼稚園	172	167	148	148	134	92	68	49
計	492	514	530	466	398	386	324	250

(2) 小学校

ア 児童数

令和5年5月1日現在（単位：人、学級）

項目		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
学校名	児童数	55	56	64	60	74	77	16	402
	学級数	2	2	2	2	3	3	3	17
相楽小学校	児童数	55	54	54	65	75	72	7	382
	学級数	2	2	2	2	3	3	2	16
高の原小学校	児童数	40	45	61	50	52	54	5	307
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	14
相楽台小学校	児童数	50	48	36	36	41	47	18	276
	学級数	2	2	2	2	2	2	5	17
木津川台小学校	児童数	31	41	27	44	61	57	9	270
	学級数	1	2	1	2	2	2	2	12
梅美台小学校	児童数	95	107	108	133	134	165	27	769
	学級数	3	4	4	4	4	5	5	29
州見台小学校	児童数	59	82	79	112	104	90	31	557
	学級数	2	3	3	4	3	3	7	25
城山台小学校	児童数	321	284	281	211	232	179	47	1,555
	学級数	10	9	9	7	7	6	10	58
加茂小学校	児童数	32	41	38	43	30	46	14	244
	学級数	1	2	2	2	1	2	2	12
恭仁小学校	児童数	9	7	9	7	5	9	2	48
	学級数	1	1	1	1	1	1	1	6
南加茂台小学校	児童数	18	13	16	18	25	26	10	126
	学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
上狛小学校	児童数	15	14	20	14	24	25	8	120
	学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
棚倉小学校	児童数	43	27	43	33	46	30	23	245
	学級数	2	1	2	1	2	1	5	14
計	児童数	823	819	836	826	903	877	217	5,301
	学級数	30	32	32	31	31	32	48	236

イ 児童数の推移

各年 5月1日現在 (単位:人)

年 度	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
木 津 小 学 校	529	549	546	531	514	464	445	402
相 楽 小 学 校	393	407	421	411	417	413	400	382
高の原小学校	357	333	336	308	296	300	297	307
相楽台小学校	235	228	229	233	229	240	255	276
木津川台小学校	579	529	495	446	401	330	292	270
梅美台小学校	1035	1,080	1,054	1,018	979	895	838	769
州見台小学校	775	782	729	712	671	620	613	557
城山台小学校	308	432	597	828	991	1,185	1,367	1,555
加 茂 小 学 校	353	331	310	291	271	256	249	244
恭 仁 小 学 校	44	42	44	44	48	48	44	48
南加茂台小学校	200	181	172	167	159	139	139	126
上 狛 小 学 校	189	181	182	173	142	139	122	120
棚 倉 小 学 校	336	338	316	295	282	275	256	245
計	5,333	5,413	5,431	5,457	5,400	5,304	5,317	5,301

(3) 中 学 校

ア 生徒数

令和5年5月1日現在 (単位:人,学級)

項目 学校名	1 年		2 年		3 年		特別支援学級		計	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
木 津 中 学 校	236	6	231	6	237	6	16	5	720	23
木津第二中学校	102	3	135	4	167	5	11	2	415	14
木津南中学校	313	8	237	7	304	8	17	4	871	27
泉 川 中 学 校	73	2	63	2	89	3	10	2	235	9
山 城 中 学 校	64	2	78	3	76	3	7	2	225	10
計	788	21	744	22	873	25	61	15	2,466	83

イ 生徒数の推移

各年 5月1日現在 (単位:人)

年 度	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
木 津 中 学 校	454	469	476	528	561	649	683	720
木津第二中学校	571	578	550	544	510	508	475	415
木津南中学校	673	717	755	779	830	870	845	871
泉 川 中 学 校	333	324	314	281	277	266	253	235
山 城 中 学 校	244	244	230	237	253	252	242	225
計	2,275	2,332	2,325	2,369	2,431	2,545	2,498	2,466

IV 社 会 教 育

1 社会教育指導の重点

～生涯学習推進計画を着実に進めるために～

木津川市では、平成26年3月に「木津川市生涯学習推進計画～きずなプラン～」を策定しました。この計画の基本理念である「人をはぐくみ ところを結び まちを創る」の実現を目指し、年度ごとの目標や具体的施策などを社会教育関係者等に示すことを目的として、令和5年度「社会教育の重点」を定めます。

重点課題1 生涯学習を支える基盤整備を行う

①学習情報の総合的な収集・整理を行い、市民に情報を提供する

- ・生涯学習関連情報の提供

②気軽に生涯学習に取り組むことができるよう機会の充実を図る

- ・夜間、休日開催講座の充実
- ・人権に関する学習機会の充実
- ・男女共同参画社会実現に向けた学習機会の充実
- ・子どもの体験活動の推進
- ・親子でふれあえる機会の拡大
- ・ニュースポーツの普及

③地域的課題や現代的課題に対応した学習内容の設定を行う

- ・地域課題解決のための支援
- ・市民の防災意識を高めるための学習機会の充実
- ・郷土への愛着を深めるための取り組み
- ・放課後の子どもたちの安全な居場所づくり

④気軽に相談を行うことができるよう相談体制の充実を図る

- ・気軽に相談ができる窓口の設置
- ・市内で活動する団体、サークルの活動状況の把握
- ・団体、サークルが求める情報の提供

⑤生涯学習施設をより利用しやすい施設とするための整備を行う

- ・利用者の声を施設運営に反映させる
- ・各施設の機能の充実を図る

重点課題2 市民との連携・協働を図る

①学校・地域・家庭の連携・協働を促進し、地域による学校支援充実を図る

- ・放課後子ども総合プラン推進事業の充実
- ・地域学校協働本部事業の充実
- ・社会総がかりで子どもを守り、育てる体制づくりを行う

②NPOや企業・高等教育機関との連携を図る

- ・NPOや民間教育事業者等との連携を行う
- ・京都府や関係機関と連携した学習支援の充実を図る

- ・学研都市研究所等との連携を図る

③地域交流活動を支援し、人と人とのネットワークづくりを推進する

- ・世代を超えた交流を図る事業への支援を行う
- ・多くの人が参加できる催しの開催
- ・国際理解を深めるための取り組みの推進

④リーダーとなる人材の発掘と育成を図る

- ・幅広い年齢層におけるリーダーの育成を行う
- ・特技や能力を持った人材の掘り起しと活動の場の提供に努める

重点課題３ 生涯学習推進都市を目指す

①講師・ボランティア情報の収集と整理を行い、市民に的確な情報を提供する

- ・指導者、ボランティア情報の一元化を図る
- ・登録者に講師を依頼するなど積極的な活用を図る

②自主グループ活動への支援を行い、地域コミュニティ活動を推進する

- ・市民主体の地域づくりにつながる事業を推進する
- ・地域的課題解決の支援を行う
- ・地域子ども会の育成、支援を行う

③学んだ成果を発表できる場の提供や成果を活かせる機会を積極的に創出する

- ・学びの成果を発表する機会の充実を図る
- ・発表の場が交流の場となるよう内容の充実を図る

④市民の様々な活動を支援し、まちづくりへの発展を促進する

- ・ボランティア活動に関するコーディネート機能の充実を図る
- ・社会教育施設間のネットワーク化を図る

２ 施設

(１) 公民館

名 称	南加茂台公民館
所 在 地	南加茂台５丁目２番地３
開 館 時 間	午前９時～午後１０時（但し、水・木・日は午後５時まで）
電 話	７６－５９５９
休 館	月曜日、祝日、１２月２９日～翌年１月３日
設 備	ホール、和室、集会室、料理室、トレーニングルーム、工作室

名 称	瓶原公民館
所 在 地	加茂町岡崎考１４番地
開 館 時 間	午前９時～午後１０時
休 館	月曜日、祝日、１２月２９日～翌年１月３日
設 備	会議室大、会議室小、和室、料理室

(２) 図書館

名 称	中央図書館
所 在 地	木津町内垣外 3 6 番地
電 話	7 2 - 2 9 8 0
資 料 数	(資料数は令和 5 年 3 月 3 1 日現在) 総合計 1 4 7, 3 5 0 冊 内 図書 1 3 5, 1 0 7 冊 (一般書 9 2, 3 4 1 冊、児童書 4 2, 7 6 6 冊) 雑誌 8, 7 6 9 冊 (タイトル 1 1 5 誌) 視聴覚資料 3, 4 7 4 タイトル (VHS・DVD・CD・カセットテープ) 新聞 9 紙
開 館 時 間	火～金曜日 午前 9 時 3 0 分～午後 6 時 土・日曜日 午前 9 時 3 0 分～午後 5 時
休 館 日	月曜日・祝日・館内整理日 (毎月最終金曜日。ただし 1 2 月のみ 2 8 日) ・ 年末年始・特別整理期間
名 称	加茂図書館
所 在 地	加茂町里南古田 1 5 6 番地
電 話	7 6 - 6 4 6 6
資 料 数	(資料数は令和 5 年 3 月 3 1 日現在) 総合計 8 7, 9 0 3 冊 内 図書 8 3, 5 0 5 冊 (一般書 5 2, 8 2 9 冊、児童書 3 0, 6 7 6 冊) 雑誌 3, 9 8 5 冊 (タイトル 7 3 誌) 視聴覚資料 4 1 3 タイトル (VHS・CD・DVD) 新聞 7 紙
開 館 時 間	火～金曜日 午前 9 時 3 0 分～午後 6 時 土・日曜日 午前 9 時 3 0 分～午後 5 時
休 館 日	月曜日・祝日・館内整理日 (毎月最終金曜日。ただし 1 2 月のみ 2 8 日) ・ 年末年始・特別整理期間
名 称	山城図書館
所 在 地	山城町平尾前田 2 4 番地 (山城総合文化センターアスパアやましろ内)
電 話	8 6 - 5 0 0 1
資 料 数	(資料数は令和 5 年 3 月 3 1 日現在) 総合計 1 1 2, 5 0 7 冊 内 図書 1 0 7, 9 8 3 冊 (一般書 7 1, 1 6 8 冊、児童書 3 6, 8 1 5 冊) 雑誌 3, 0 7 6 冊 (タイトル 8 4 誌) 視聴覚資料 1, 4 4 8 タイトル (VHS・DVD) 新聞 8 紙
開 館 時 間	火～金曜日 午前 9 時 3 0 分～午後 6 時 土・日・祝日 午前 9 時 3 0 分～午後 5 時
休 館 日	月曜日・祝日の翌日・館内整理日 (毎月最終金曜日。ただし 1 2 月のみ 2

8日）・年末年始・特別整理期間

(3) 文化ホール

名 称	加茂文化センター（あじさいホール）
所 在 地	加茂町里南古田156番地
電 話	76-4611
開館時間	午前9時～午後10時
休 館 日	月曜日（祝日の場合は翌日と翌々日）、祝日の翌日 12月28日～翌年1月4日
設 備	ホール、楽屋、リハーサル室、研修室、プレイルーム、展示コーナー、調理室、ランチルーム、音楽室、創作室、工作室、和室、茶室、録音室
名 称	山城総合文化センター（アスピアやましろ）
所 在 地	山城町平尾前田24番地
電 話	86-5851
開館時間	午前9時～午後10時
休 館 日	月曜日、祝日の翌平日（月曜日と重なる場合はその翌日） 12月28日～翌年1月4日
設 備	ホール、控室、練習室、研修室、視聴覚室、和室、創作室、スクエアー、イベント広場

(4) 交流会館

名 称	中央交流会館（いずみホール）
所 在 地	木津宮ノ内92番地
電 話	72-8800
開館時間	午前9時～午後10時
休 館 日	月曜日、12月29日～翌年1月3日
設 備	多目的ホール、研修室、クラフト室、調理教室、会議室、和室、多目的広場
名 称	西部交流会館
所 在 地	相楽高下4番地9
電 話	73-6888
開館時間	午前9時～午後10時
休 館 日	月曜日、12月29日～翌年1月3日
設 備	集会室、会議室、和室
名 称	東部交流会館
所 在 地	木津宮ノ堀149番地
電 話	71-8130
開館時間	午前9時～午後10時
休 館 日	月曜日、12月29日～翌年1月3日
設 備	多目的ホール、調理教室、カルチャールーム1・2、和室1・2、屋外広場

(5) スポーツ施設

名 称	中央体育館
-----	-------

所 在 地	木津石塚 1 4 7 番地
貸 出 時 間	午前 9 時～午後 1 0 時
休 館 日	火曜日、1 2 月 2 8 日～翌年 1 月 3 日
名 称	市民スポーツセンター（アリーナ・テニスコート 2 面）
所 在 地	木津田中前 4 0 番地 1
貸 出 時 間	午前 9 時～午後 1 0 時
休 館 日	月曜日、1 2 月 2 8 日～翌年 1 月 3 日
名 称	木津グラウンド
所 在 地	木津川端 6 9 番地 1
貸 出 時 間	午前 8 時～日没
休 業 日	1 2 月 2 8 日～翌年 1 月 3 日
名 称	兜谷公園（グラウンド・テニスコート 2 面）
所 在 地	兜台 6 丁目 4 番地
貸 出 時 間	グラウンド 午前 9 時～日没 テニスコート 午前 9 時～午後 1 0 時
名 称	木津川台公園（グラウンド・テニスコート 3 面）
所 在 地	木津川台 6 丁目 4 番地 3
貸 出 時 間	グラウンド 午前 9 時～日没 テニスコート 午前 9 時～午後 1 0 時
名 称	梅美台公園（テニスコート 2 面）
所 在 地	梅美台一丁目 9 番地
貸 出 時 間	テニスコート 午前 9 時～午後 1 0 時
名 称	加茂グラウンド
所 在 地	加茂町大野中宇称 5 7 番地
貸 出 時 間	午前 8 時～日没
休 業 日	1 2 月 2 8 日～翌年 1 月 3 日
名 称	赤田川グラウンド
所 在 地	加茂町里赤田川 1 番地
貸 出 時 間	午前 8 時～日没
休 業 日	1 2 月 2 8 日～翌年 1 月 3 日
名 称	塚穴公園（テニスコート 2 面）
所 在 地	南加茂台 6 丁目 1 4 番地
貸 出 時 間	午前 9 時～午後 5 時
休 業 日	1 2 月 2 8 日～翌年 1 月 3 日
名 称	不動川公園（多目的広場・テニスコート）
所 在 地	山城町平尾大谷 1 番地
貸 出 時 間	多目的広場 午前 8 時 3 0 分～午後 5 時 3 0 分季節により時間が変わります。 テニスコート 午前 9 時～午後 5 時 季節により時間が変わります。

名 称	やすらぎタウン山城プール
所 在 地	山城町椿井柳田26番地
貸 出 時 間	午前10時30分～午後8時30分 時期により時間が変わります。

名 称	上狛駅東公園（テニスコート3面兼フットサルコート）
所 在 地	山城町上狛北野田芝60番地
貸 出 時 間	午前9時～午後9時

名 称	山城コミュニティ運動広場（グラウンドゴルフ専用）
所 在 地	山城町上狛川原3番地
貸 出 時 間	午前8時～日没
休 業 日	12月28日～翌年1月3日

名 称	城址公園（グラウンド・テニスコート3面）
所 在 地	城山台8丁目5
貸 出 時 間	グラウンド 午前9時～午後5時 テニスコート 午前9時～午後5時

（6）その他の施設

名 称	青少年育成施設（テニスコート・ゲートボール場）
所 在 地	加茂町尻枝七辻15番地1
受 付	南加茂台公民館（電話 76—5959）
貸 出 時 間	午前8時～午後10時
休 業 日	12月28日～翌年1月4日

名 称	加茂青少年センター
所 在 地	加茂町里中森101番地
電 話	76—6900
開 館 時 間	午前10時～午後10時
休 館 日	月曜日、祝日、12月29日～翌年1月3日
設 備	会議室、いこいの部屋、ふれ合い室、学習室、多目的ホール

名 称	当尾の郷会館
所 在 地	加茂町辻下垣外16番地
電 話	76—2234
開 館 時 間	午前9時～午後10時
休 館 日	月曜日、祝日、12月29日～翌年1月3日
設 備	会議室、研修室、調理室、工作室、体育館、グラウンド、サロン

V 文化財保護

1 木津川市の歴史と文化財

木津川市は、近畿地方の中心、京都府南部の山城地域に位置し、南は奈良（大和）と境界を接し、京都・大阪の中心部から30km圏内にあります。本市は北東部の山塊と南西部の京阪奈丘陵に挟まれ、中央を東西に貫流する木津川は、古来、淀川を通して瀬戸内海に入り、東アジアの国々と繋がる大和の北の玄関口として一翼を担いながら、この地に遡って流入する人や物資、文化の痕跡や大和の影響を色濃く残す特異な文化を発展させてきました。

日本の国が統一されていく時期に重要な位置を占めていた有力者の首長墓である椿井大塚山古墳や渡来人との関係が指摘される古代寺院の高麗寺などは木津川を見下ろす位置に造られています。

古代には、大和の北入口として木津川沿いに「泉津」が設けられ、都の外港として建築部材や物資の集積地となり、これが「木津」の地名の由来となっています。泉津から遡った瓶原には恭仁宮が造営され、短命ではありましたが、日本の首都として国政の中心となり、国分寺・国分尼寺建立の詔などもこの地で出されました。

都が平城京から平安京へ移り、この地は二都の間の地域として、水路と陸路の往還地となり、多様で豊かな農業生産が発展しました。また、大和の背後に位置する当尾地域では、浄瑠璃寺（特別名勝・国史跡庭園、国宝本堂、同三重塔、同木造九体阿弥陀如来坐像など）や岩船寺（重要文化財三重塔、同木造阿弥陀如来坐像など）を中心に南都仏教の修行場が形成され、北東部の山間地域においても海住山寺（国宝五重塔、重要文化財木造四天王立像など）や神童寺（重要文化財本堂、同木造愛染明王坐像など）が整備されています。

中世には自治的な村落ができ、米・麦などとともに、早くから茶が栽培されるようになり、交通の要衝地として商業活動も活発となりました。戦乱の世になると、この地の土豪たちを中心に起こった山城国一揆により「自治」の郷づくりをめざしました。

近世には農地も増え、綿、茶、豆類、大根、ごぼう、柿、筍など多くの作物が生産され、今日の近郊農業の基盤となりました。特に茶は幕末から明治にかけて木津川水運を利用して海外への輸出が増大し、その集散地として発展しました。また、高級麻織物である奈良晒の技術を活かした相楽木綿は京都府域最大の産地として昭和戦前まで続きました。

合併により昭和26年に木津町と加茂町が、昭和31年には山城町が成立しました。そして、平成19年には3町が合併して現在の木津川市が誕生しました。

このように、歴史に恵まれた木津川市には、国宝6件、特別名勝1件、重要文化財45件、国史跡7件のほか多数の府指定等文化財、市指定文化財があります。これらの文化財を守るために平成28年3月に木津川市文化財保存活用基本計画を策定しました。

2 木津川市の文化財保存活用基本計画の方針

文化財の保存・活用には、まず文化財の基礎調査およびその特性の研究が必要です。ここでは文化財の調査、整理、指定、管理、整備、修復、活用までの基本方針を示します。

本計画において取り扱う文化財とは、椿井大塚山古墳、高麗寺跡、恭仁宮跡（山城国分寺跡）、

奈良山瓦窯跡などの史跡や、蟹満寺、浄瑠璃寺、海住山寺などが所有する国宝、重要文化財、府指定・登録や木津川市指定などの建造物や美術工芸品をはじめ、有形・無形民俗文化財、地域の風土（自然）、地勢、街道、街並みなどの環境に根ざした文化財を対象とします。また、未指定である文化財も対象とします。

（１）調査・研究

第１段階は、各文化財の保存・活用の基礎となる調査を個別に行います。

既存資料を整理した上で、木津川市に所在する文化財を通常職務に際しての情報把握によりその内容を充実させ、その文化財が現状がどのような環境におかれ、歴史的な位置付けができるのか評価します。

第２段階は、認知された文化財の保護の緊急性や重要性を把握するための詳細調査を文化財個別に行います。文化財の特性を研究し把握することで、その後の保護の方向性を捉え、報告書等の作成を推進します。

なお、詳細調査は、滅失等の危険性が高い文化財の記録を優先することとし、本市にとって重要な文化財については実態の解明に努めます。

（２）整理・共有化

各文化財の調査・研究を踏まえて、文化財台帳の記録整理によりデータベースの構築を図ります。特に重要な文化財は、定期的な実態調査を実施し、文化財指定等へ向けて指定台帳等への記録に応えうる整理を行います。

文化財種別ごとのデータベースにより、今後の登録や指定の措置の枠組みの確保ができます。また、既存の指定・登録文化財については、将来に継承していくため所有者等との協働による市の文化財について情報の共有化を図ります。なお、多種多様な文化財については、市民等の参画による発見とモニター等の導入を検討し、本市の歴史文化の理解と維持保全に努めます。

（３）指 定

指定しようとする文化財を前もって選定することで、木津川市文化財保護審議会に対して調査案件の事前周知を図るなど、今後の計画的かつ効率的な文化財指定を目指します。

また、緊急に指定による保護が必要な物件等については、即時に諮問可能な体制が必要であり、諮問機会の増加と連携強化を図ります。多くの文化財を滅失の危機から救うと同時に、こういったものが文化財なのかを市民等に実態としてわかりやすくなります。

（４）保存管理

文化財の保護は、その特性に応じて個々に講じられるものです。文化財保護法や木津川市文化財保護条例の文化財種別の中で整備に取り組み、今後の登録や指定による保護措置の枠組みを確保します。

指定や登録された文化財は、所有者等の同意を得て着実な保護に取り組みつつ、特に土地に帰属するあるいは面的な広がりのある文化財については、保存の方針を専門家や所有者等、周辺住民をはじめとする市民等と協働で作成するなど幅広い方々の意向や創造性を取り込んだ保護を検討します。

指定文化財に限らず全ての文化財は、実態と台帳内容との齟齬（そご）を避け、その配置や形態等の変化を具体的に把握するため、所有者や地域と連携協力しながら文化財の価値を維持するための保存（予防・修復・管理計画の策定と実施）を図ります。

また、管理主体が木津川市である史跡や建造物等では地域や団体と連絡調整を行うとともに、各種関連法令等に基づき管理します。

文化財を木津川市の貴重な遺産として、将来にわたって末永く継承していくため、市民等と

市の協働によるまちづくりを展望し、多種多様の文化財の特性や現状等を常に市民と共有しておくことが求められます。

（５）整備・活用・修復

指定された文化財は、本市の歴史文化を広く周知するために広報誌やホームページ、地域の各種団体、小中学校などへの積極的な公開を推進します。当面は庁内データベースとして関係各課によるまちづくりへの活用を要請する一方で、所有者等の理解を得ながら将来的な公開を実現します。

国指定史跡等は、本市の歴史文化の理解を深めるために関係機関との連携により必要な環境整備を検討します。修復が必要な文化財については、国・府・所有者等と調整しながら適切な処置を行います。文化財に関する講演会や展示も市広報誌やホームページ等を活用して広く市内外へ情報発信していきます。

また、地域基盤を形作った身近な文化財でも周知されていないものが多いことから、整備や修復を実施した後は公開に努めます。

3 文化財普及啓発活動の取組み

文化財を大切にする心を育むため以下の取り組みを行います。

- ・木津川市ふれあい文化講座（年３回）
- ・学研立地企業や市内小中学校、地域への出前授業への職員派遣
- ・市内小中学校教員新規採用者への文化財現地説明
- ・市役所多目的スペース（住民活動スペースや２階エレベーター前展示ケース）などでの文化財展示事業
- ・調査成果の公開や体験学習機会の開設
- ・「くにのみや学習館」、「アスピアやましろ」での恭仁宮跡・椿井大塚山古墳の紹介
- ・史跡恭仁宮跡公有地における花栽培
- ・文化財パンフレットの刊行・配布、旧町史など文化財書籍販売

4 施 設

名 称	文化財整理保管センター
所 在 地	南加茂台６丁目１８番地
電 話	７５－１２３２（文化財保護課）
開館時間	午前９時～午後５時
休 館 日	祝日、１２月２８日～翌年１月４日
設 備	多目的室
名 称	文化財整理保管センター分室（くにのみや学習館）
所 在 地	加茂町岡崎考２８番地
電 話	７６－９２０２
開館時間	午前９時～午後５時
休 館 日	月曜日（月曜日が休日の場合翌日が休館） １２月２８日～翌年１月４日
設 備	多目的室、資料展示室

木津川市の文化財

●美術・工芸の部

No.	指定級	名 称	種 別	員 数	年 代 等	指 定 日	所有者・管理者	所在地
1	国 宝	銅造釈迦如来坐像	彫刻	1 軀	奈良時代	明治30年12月28日	(宗) 蟹満寺	木津川市山城町綺田浜36
2		木造四天王立像	彫刻	4 軀	平安時代	明治34年3月27日	(宗) 浄瑠璃寺	増長天・持国天：木津川市加茂町西小札場40 広目天：東京国立博物館勧告 多聞天：京都国立博物館勧告
3		木造阿弥陀如来坐像	彫刻	9 軀	平安時代	明治34年8月2日	(宗) 浄瑠璃寺	木津川市加茂町西小札場40
1	重 要 文 化 財	厨子入木造吉祥天立像 附 吉祥天摺仏 革製厨子金具形残欠	彫刻	1 軀	建暦2(1212)年	明治30年12月18日	(宗) 浄瑠璃寺	木津川市加茂町西小札場40
2		木造薬師如来坐像	彫刻	1 軀	永承2(1047)年	明治34年8月2日	(宗) 西明寺	木津川市加茂町大野大野27
3		木造地藏菩薩立像	彫刻	1 軀	平安時代	明治34年8月2日	(宗) 浄瑠璃寺	木津川市加茂町西小札場40
4		木造馬頭観音立像	彫刻	1 軀	仁治2(1241)年	明治34年8月2日	(宗) 浄瑠璃寺	奈良国立博物館勧告
5		木造薬師如来坐像	彫刻	1 軀	平安時代	明治37年2月18日	(宗) 浄瑠璃寺	木津川市加茂町西小札場40
6		木造地藏菩薩立像	彫刻	1 軀	平安時代	明治37年2月18日	(宗) 浄瑠璃寺	東京国立博物館勧告
7		木造十一面観音立像	彫刻	1 軀	平安時代	明治42年4月5日	(宗) 大智寺	木津川市木津雲村42-1
8		木造十一面観音立像	彫刻	1 軀	平安時代	明治42年4月5日	(宗) 法泉寺	木津川市相楽才ノ神43
9		木造十一面観音立像	彫刻	1 軀	平安時代	明治42年4月5日	(宗) 海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
10		木造十一面観音立像	彫刻	1 軀	平安時代	明治42年4月5日	(宗) 海住山寺	奈良国立博物館勧告
11		絹本着色法華経曼荼羅図	絵画	1 幅	鎌倉時代	明治42年4月5日	(宗) 海住山寺	京都国立博物館寄託
12		木造不動明王及二童子立像	彫刻	3 軀	応長元(1311)年	明治43年4月20日	(宗) 浄瑠璃寺	木津川市加茂町西小札場40
13		木造阿弥陀如来坐像	彫刻	1 軀	天慶9(946)年	明治43年8月29日	(宗) 岩船寺	木津川市加茂町岩船上ノ門43
14		厨子入木造普賢菩薩像	彫刻	1 軀	平安時代	明治43年8月29日	(宗) 岩船寺	木津川市加茂町岩船上ノ門43
15		木造愛染明王坐像	彫刻	1 軀	平安時代	大正2年4月14日	(宗) 神童寺	木津川市山城町神童子不晴谷112
16		木造不動明王立像	彫刻	1 軀	平安時代	大正2年4月14日	(宗) 神童寺	木津川市山城町神童子不晴谷112
17		木造阿弥陀如来坐像	彫刻	1 軀	平安時代	大正2年4月14日	(宗) 神童寺	木津川市山城町神童子不晴谷112
18		木造毘沙門天立像	彫刻	1 軀	平安時代	大正2年4月14日	(宗) 神童寺	木津川市山城町神童子不晴谷112
19		木造日光月光菩薩立像	彫刻	2 軀	平安時代	大正2年4月14日	(宗) 神童寺	木津川市山城町神童子不晴谷112
20		木造伎楽面	彫刻	1 面	建久7(1196)年	大正2年4月14日	(宗) 神童寺	奈良国立博物館寄託
21		木造十一面観音坐像	彫刻	1 軀	鎌倉時代	大正2年4月14日	(宗) 現光寺	木津川市加茂町北山ノ上9
22		木造文殊菩薩坐像	彫刻	1 軀	鎌倉時代	大正2年4月14日	(宗) 大智寺	木津川市木津雲村42-1
23		石燈籠	工芸品	2 基	一基：貞治5(1366)年 一基：南北朝時代	昭和38年2月14日	(宗) 浄瑠璃寺	木津川市加茂町西小札場40
24		海住山寺文書 (24通)	古文書	16巻	鎌倉～室町時代	昭和47年5月30日	(宗) 海住山寺	京都国立博物館寄託
25		木造薬師如来坐像	彫刻	1 軀	平安時代	昭和49年6月8日	(宗) 高田寺	木津川市加茂町高田奥畑54
26		三重塔初重壁画十六羅漢像	絵画	16面	平安時代	昭和52年6月11日	(宗) 浄瑠璃寺	木津川市加茂町西小札場40
27		絹本着色仏涅槃図 附 寛正三年六月施入旧裏書	絵画	1 幅	鎌倉時代	昭和52年6月11日	(宗) 常念寺	木津川市加茂町里小田22

28		浄瑠璃寺流記 附 浄瑠璃寺縁起	書跡・典籍	1 冊	南北朝時代	平成4年6月22日	(宗)浄瑠璃寺	木津川市加茂町西小札場40
29		木造四天王立像	彫刻	4 軀	鎌倉時代	平成9年6月30日	(宗)海住山寺	奈良国立博物館寄託
1	府 指 定	木造薬師如来坐像	彫刻	1 軀	平安時代	昭和58年4月15日	(宗)西念寺	木津川市鹿背山鹿曲田65
2		梵鐘	工芸品	1 口	正嘉元(1257)年	昭和58年4月15日	(宗)海住山寺	奈良国立博物館寄託
3		当尾磨崖仏 阿弥陀如来及両脇侍坐像・弥勒如来立像・不動明王立像	彫刻	5 軀	阿：永仁7(1299)年 弥：文永11(1274)年 不：弘安10(1287)年	昭和60年5月15日	岩船区	木津川市加茂町岩船
4		木造四天王立像	彫刻	4 軀	正応6(1293)年	昭和60年5月15日	(宗)岩船寺	木津川市加茂町岩船上ノ門43
5		絹本着色釈迦三尊十六羅漢図 附 絹本着色三千仏図	絵画	3 幅	建武4～5(1337～1338)年	昭和61年4月15日	(宗)海住山寺	奈良国立博物館寄託
6		当尾磨崖仏 不動明王立像・毘沙門天立像	彫刻	2 軀	不：正中3(1326)年 毘：鎌倉時代	昭和63年4月15日	(宗)八幡宮	木津川市加茂町森陀羅尼田1
7		木造扁額「海住山寺」	工芸品	2 面	鎌倉時代、うち1面は 承元2(1208)年	平成4年4月14日	(宗)海住山寺	奈良国立博物館寄託
8		絹本着色春日宮曼荼羅十六善神図	絵画	1 幅	鎌倉時代	平成14年3月26日	(宗)海住山寺	京都国立博物館寄託
9		曳覆曼荼羅版木	歴史資料	2 枚	永和元(1375)年	平成17年3月18日	(宗)西明寺	木津川市加茂町大野大野27
10		狛文書	古文書	25点	室町～江戸時代	平成24年3月23日	個人	京都府立山城郷土資料館寄託
11		埴輪(上人ヶ平古墳群・上人ヶ平埴輪窯跡群出土)	考古資料	一括(26点)	古墳時代	平成30年3月23日	木津川市	木津川市
12	府 指 定	木造千手観音立像 木造不空羼索観音立像 木造十一面観音立像 木造聖観音立像 木造馬頭観音立像 附 木造不空羼索観音立像納入品	彫刻	5 軀	鎌倉時代～南北朝時代	平成31年3月29日	一般財団法人川合 京都仏教美術財団	木津川市加茂町兎並寺山44
13		金銅能作性塔、木造彩色宝珠台	工芸品	各1基	鎌倉時代～南北朝時代	令和4年3月22日	(宗)海住山寺	奈良国立博物館寄託
1	府 登 録	木造十王坐像 木造俱生神半跏像 木造蓑衣婆坐像	彫刻	十：10軀 俱：2 軀 蓑：1 軀	文明6～8(1474～1476)年	昭和59年4月14日	(宗)常念寺	京都国立博物館寄託
2		当尾磨崖仏 不動明王立像	彫刻	1 軀	永仁4(1296)年	昭和60年5月15日	(宗)浄瑠璃寺	木津川市加茂町西小札場40
3		木造日光・月光菩薩立像	彫刻	2 軀	永正11(1514)年	昭和62年4月15日	(宗)西念寺	木津川市鹿背山鹿曲田65
4		紙本着色狛秀綱像	絵画	1 幅	桃山時代	昭和62年4月15日	(宗)西福寺	木津川市山城町上狛良町3
5		絵仏供	工芸品	11個	室町時代～近代	昭和63年4月15日	(宗)浄瑠璃寺	木津川市加茂町西小札場40
1	市 指 定	道標(伊賀街道)	歴史資料	4 基	江戸時代	昭和49年6月1日	木津川市	
2		袈裟褌文銅鐸	考古資料	1 口	弥生時代	昭和61年11月6日	木津川市	京都府立山城郷土資料館常設展出陳
3		木造地藏菩薩立像	彫刻	1 軀	平安時代	昭和63年3月31日	(宗)地藏院	木津川市加茂町観音寺中貝戸37
4		袋中上人絵詞伝	絵画	2 卷	寛延2(1749)年	昭和63年3月31日	(宗)鶯滝寺	京都府立山城郷土資料館寄託
5		木造地藏菩薩坐像	彫刻	1 軀	平安時代	昭和63年4月1日	(宗)西教寺	木津川市木津雲村3
6		木造阿弥陀如来立像	彫刻	1 軀	鎌倉時代	昭和63年4月1日	(宗)心楽寺	木津川市梅谷南中ノ谷69

7	市 指 定	木造如来形坐像	彫刻	1 軀	奈良時代	平成6年5月6日	(宗)蟹満寺	木津川市山城町綺田浜36
8		泉橋寺石造地藏菩薩坐像	彫刻	1 軀	鎌倉時代	平成11年5月11日	(宗)泉橋寺	木津川市山城町上粕西下55
9		高井手瓦窯出土鬼瓦	考古資料	4 点	奈良時代	平成13年4月9日	木津川市	
10		木造牛頭天王半跏像	彫刻	2 軀	平安時代	平成13年4月9日	(宗)松尾神社	京都府立山城郷土資料館寄託
11		木造女神坐像	彫刻	2 軀	平安時代	平成13年4月9日	(宗)松尾神社	京都府立山城郷土資料館寄託
12		絹本著色方便法身尊像	絵画	1 幅	室町時代	平成13年4月9日	(宗)円成寺	木津川市山城町上粕西下52
13		狂言福の神図並びに能狸々図絵馬	絵画	2 面	慶応3(1867)年	平成13年4月9日	(宗)松尾神社	京都府立山城郷土資料館寄託
14		山城国相楽郡綺田村検地帳	古文書	1 点	江戸時代	平成13年4月9日	木津川市	京都府立山城郷土資料館寄託
15		城州相楽郡平尾村入組片桐主膳正領分絵図	古文書	1 点	江戸時代	平成13年4月9日	木津川市	京都府立山城郷土資料館寄託
16		大般若經 附 經櫃 絹本著色釈迦十六善神像	古文書	602巻	江戸時代	平成13年4月9日	木津川市	京都府立山城郷土資料館寄託
17		木造弁才天十五童子像	彫刻	1 具	天正6(1578)年	平成17年3月22日	(宗)玉臺寺	木津川市山城町椿井天敷堂37
18		木造地藏菩薩立像 附 像内納入品 (貝葉經)	彫刻	1 軀	鎌倉時代	平成18年3月31日	(宗)泉橋寺	木津川市山城町上粕西下55
19		山城町の考古遺物	考古資料	10点	弥生時代～古墳時代	平成19年2月26日	木津川市	
20		木造阿弥陀如来坐像	彫刻	1 軀	平安時代	平成26年3月31日	(宗)安福寺	木津川市木津宮ノ裏274
21		紙本墨書岩船寺縁起	書籍・典籍	1 巻	江戸時代	平成26年3月31日	(宗)岩船寺	木津川市加茂町岩船上ノ門43
22		木津浜絵馬	歴史資料	1 面	文政11(1828)年	平成26年3月31日	(宗)御霊神社	木津川市木津宮ノ裏285
23		紙本著色海住山寺縁起	絵画	2 巻	寛文4(1664)年	平成27年3月31日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
24		紙本著色橋柱寺縁起絵巻	絵画	3 巻	江戸時代	平成27年3月31日	(宗)大智寺	木津川市木津雲村42-1
25		鹿背山焼陶磁器資料	歴史資料	107件249点	江戸時代～明治時代	平成29年3月24日	木津川市	
26		木造阿弥陀如来坐像	彫刻	1 軀	鎌倉時代	令和4年12月6日	(宗)高田寺	木津川市加茂町高田奥畑54
27		正徳2年木津川水害関係資料	歴史資料	1 基	正徳4(1714)年	令和4年12月6日	(宗)正覚寺	木津川市木津町西垣外85
1	府 暫 定 登 録	絹本著色地藏十王図 地藏菩薩像	絵画	1 幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
2		絹本著色地藏十王図 秦広王像	絵画	1 幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
3		絹本著色地藏十王図 初江王像	絵画	1 幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
4		絹本著色地藏十王図 宗帝王像	絵画	1 幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
5		絹本著色地藏十王図 五官王像	絵画	1 幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
6		絹本著色地藏十王図 閻魔王像	絵画	1 幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
7		絹本著色地藏十王図 変成王像	絵画	1 幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
8		絹本著色地藏十王図 泰山王像	絵画	1 幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
9		絹本著色地藏十王図 平等王像	絵画	1 幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
10		絹本著色地藏十王図 都市王像	絵画	1 幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
11		絹本著色地藏十王図 五道輪王像	絵画	1 幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
12		板絵著色十一面観音来迎図	絵画	1 幅	文明5(1473)年	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
13		板絵著色補陀落山浄土図	絵画	1 幅	文明5(1473)年	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
14		絹本著色阿弥陀浄土図	絵画	1 幅	鎌倉時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
15		紙本著色海住山寺縁起(市指定と重複)	絵画	2 巻	寛文4(1664)年	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20

16	絹本著色大威徳明王像	絵画	1 幅	鎌倉時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
17	絹本著色十六羅漢図 その一	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
18	絹本著色十六羅漢図 その二	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
19	絹本著色十六羅漢図 その三	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
20	絹本著色十六羅漢図 その四	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
21	絹本著色十六羅漢図 その五	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
22	絹本著色十六羅漢図 その六	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
23	絹本著色十六羅漢図 その七	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
24	絹本著色十六羅漢図 その八	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
25	絹本著色十六羅漢図 その九	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
26	絹本著色十六羅漢図 その十	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
27	絹本著色十六羅漢図 その十一	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
28	絹本著色十六羅漢図 その十二	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
29	絹本著色十六羅漢図 その十三	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
30	絹本著色十六羅漢図 その十四	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
31	絹本著色十六羅漢図 その十五	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
32	絹本著色十六羅漢図 その十六	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
33	絹本著色愛染明王像	絵画	1 幅	鎌倉時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
34	絹本著色釈迦如来像	絵画	1 幅	南北朝時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
35	絹本著色文殊菩薩像	絵画	1 幅	南北朝時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
36	絹本著色普賢菩薩像	絵画	1 幅	南北朝時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
37	絹本著色蓮華化生図	絵画	2 曲 1 隻	鎌倉～南北朝時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
38	絹本著色弥勒菩薩像	絵画	1 幅	南北朝時代	平成29年9月29日	(宗)現光寺	奈良国立博物館寄託
39	瓦谷1号墳出土品	考古資料	鉄短甲一領、 鉄冑一頭	古墳時代	平成29年9月29日	木津川市	
40	灰釉羊硯 樋ノ口遺跡出土	考古資料	1 点	奈良時代	平成29年9月29日	木津川市	
41	海住山寺文書	古文書	一括	鎌倉時代～明治時代	平成29年12月27日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
42	鹿背山区有文書	古文書	一括	江戸時代～昭和時代	平成29年12月27日	鹿背山区	木津川市鹿背山鹿曲田77
43	観音寺区有文書	古文書	一括	江戸時代～昭和時代	平成29年12月27日	観音寺区	木津川市加茂町観音寺中貝戸37垣添4の1
44	三十八神社棟札類	古文書	一括	永正5(1508)年～昭和 60(1985)年	平成29年12月27日	観音寺区	木津川市加茂町観音寺中貝戸37垣添4の1
45	大般若経	書籍・典籍	599帖	平安時代～南北朝時代	平成30年3月23日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
46	般若心経(千部心経)	書籍・典籍	98巻	鎌倉時代	平成30年3月23日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
47	紺紙金字般若心経	書籍・典籍	7 巻	鎌倉時代	平成30年3月23日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
48	般若心経(五巻本)	書籍・典籍	5 巻	鎌倉時代	平成30年3月23日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
49	般若心経(紙背消息本)	書籍・典籍	1 巻	鎌倉時代	平成30年3月23日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
50	鉄板 西山古墓出土	考古資料	2 点	奈良時代	平成30年3月23日	木津川市	

51	府 暫 定 登 録	弥生土器 砂原山墳墓出土	考古資料	2点	弥生時代	平成30年3月23日	木津川市	
52		甲冑形埴輪 瓦谷遺跡2号埴輪窯出土	考古資料	1点	古墳時代	平成30年3月23日	木津川市	
53		三彩小壺 樋ノ口遺跡出土	考古資料	1点	奈良時代	平成30年3月23日	木津川市	
54		変形四首鏡 瓦谷古墳第2主体部出土	考古資料	1面	古墳時代	平成30年3月23日	木津川市	
55		六獣形鏡 内田山B1号墳出土	考古資料	1面	古墳時代	平成30年3月23日	木津川市	
56		紙本金地著色西王母献桃図・紙本金地著色明皇楊貴妃並笛図屏風	絵画	1隻	桃山時代	令和2年3月27日	(宗)海住山寺	京都国立博物館寄託
57		紙本金地著色明皇撃梧桐図襖	絵画	4面	桃山時代	令和2年3月27日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
58		紙本墨画淡彩西湖図	絵画	4面	桃山時代	令和2年3月27日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
59		絹本着色最勝曼荼羅図	絵画	1幅	鎌倉時代	令和3年3月30日	(宗)現光寺	奈良国立博物館寄託
60		木造牛頭天王半跏像(市指定と重複)	彫刻	2軀	平安時代	令和3年3月30日	(宗)松尾神社	京都府立山城郷土資料館寄託
61		木造女神坐像(市指定と重複)	彫刻	2軀	平安時代	令和3年3月30日	(宗)松尾神社	京都府立山城郷土資料館寄託
62		木造大日如来坐像	彫刻	1軀	平安時代～鎌倉時代	令和4年3月22日	(宗)浄瑠璃寺	木津川市加茂町西小札場40
63		木造阿弥陀如来坐像	彫刻	1軀	平安時代	令和4年3月22日	(宗)現光寺	木津川市加茂町北山ノ上9
64		木造四天王立像	彫刻	4軀	鎌倉時代	令和4年3月22日	(宗)現光寺	木津川市加茂町北山ノ上9
65		絹本着色五智如来像	絵画	1幅	鎌倉時代	令和5年3月24日	(宗)大智寺	木津川市木津雲村42の1
66		絹本着色如意輪観音像	絵画	1幅	南北朝時代	令和5年3月24日	(宗)西明寺	木津川市加茂町大野大野27
67		絹本着色不動明王四十八童子像	絵画	1幅	南北朝～室町時代	令和5年3月24日	(宗)西明寺	木津川市加茂町大野大野27
68		木造薬師如来坐像	彫刻	1軀	平安時代	令和5年3月24日	(宗)鶯瀧寺	木津川市加茂町西城垣外84
69		岡田国神社大般若經 附 經櫃	古文書	514点	建久6(1195)年～元文4(1739)年	令和5年3月24日	(宗)岡田国神社	木津川市木津大谷1
70		岡田国神社文書 附 文書箱	古文書	65点	室町時代～明治時代	令和5年3月24日	個人	木津川市木津八色51

●建造物の部

No.	指定級	名 称	員数	概要	年 代 等	指 定 日	所有者・管理者	所在地
1	国 宝	浄瑠璃寺三重塔(九体寺三重塔)	1基	三間三重塔婆、檜皮葺	平安時代	明治30年12月28日	(宗)浄瑠璃寺	木津川市加茂町西小札場40
2		浄瑠璃寺本堂(九体寺本堂)	1棟	一重、寄棟造、本瓦葺	平安時代	明治30年12月28日	(宗)浄瑠璃寺	木津川市加茂町西小札場40
3		海住山寺五重塔	1基	三間五重塔婆、本瓦葺	建保2(1214)年	明治31年12月28日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
1	重 要 文 化 財	岩船寺三重塔 附 隅木受飾束	1基	三間三重塔婆、本瓦葺	嘉吉2(1442)年	明治32年4月5日	(宗)岩船寺	木津川市加茂町岩船上ノ門43
2		海住山寺文殊堂	1棟	一重、寄棟造、銅板葺	鎌倉時代	明治34年3月27日	(宗)海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
3		相楽神社本殿	1棟	三間社流造、檜皮葺	室町時代	明治44年4月17日	(宗)相楽神社	木津川市相楽清水1
4		松尾神社本殿 附 拝所、棟札	1棟	一間社春日造、檜皮葺	文化5(1808)年移築	大正2年4月14日	(宗)松尾神社	木津川市山城町椿井松尾41
5		御霊神社本殿 附 棟札	1棟	三間社流造、檜皮葺	室町時代	大正10年4月30日	(宗)御霊神社	木津川市加茂町兎並寺山41

6	重要文化財	神童寺本堂 附 棟札、銘札、旧鬼瓦	1 棟	一重、寄棟造、本瓦葺	応永13(1406)年	大正12年3月28日	(宗)神童寺	木津川市山城町神童子不晴谷112
7		十三重塔	1 基	石造	永仁6(1298)年	昭和12年7月29日	千日墓地管理組合	木津川市加茂町辻三田25番地の1
8		岩船寺十三重塔	1 基	石造	鎌倉時代	昭和27年11月22日	(宗)岩船寺	木津川市加茂町岩船上ノ門43
9		岩船寺石室	1 棟	石造仏龕	応長2(1312)年	昭和27年11月22日	(宗)岩船寺	木津川市加茂町岩船上ノ門43
10		岩船寺五輪塔	1 基	石造	鎌倉時代	昭和27年11月22日	(宗)岩船寺	木津川市加茂町岩船上ノ門43
11		白山神社本殿 附 棟札	1 棟	一間社春日造、檜皮葺	嘉吉2(1442)年頃	昭和28年3月31日	(宗)白山神社	木津川市加茂町岩船上ノ門94
12		五輪塔	2 基	石造	鎌倉時代	昭和31年6月28日	木津川市	木津川市加茂町西小 長尾共同墓地
13		五輪塔	1 基	石造	正応5(1292)年	昭和32年2月19日	木津川市	木津川市木津清水27
14		泉橋寺五輪塔	1 基	石造	室町時代	昭和32年2月19日	(宗)泉橋寺	木津川市山城町上狛西下55
15		天神社十三重塔	1 基	石造	建治3(1277)年	昭和32年2月19日	(宗)天神神社	木津川市山城町神童子不晴谷177
16		小林家住宅(主屋) 附 家之普請合力覚、古図	1 棟	切妻造、茅葺	寛文5(1665)年	平成15年12月25日	個人	木津川市山城町上狛東林1-1
1	国登録	旧松原家住宅主屋	1 棟	平屋建、瓦葺	明治42(1909)年	平成31年3月29日	個人	木津川市山城町上狛学校7
2		吉岡家住宅主屋	1 棟	平屋建、茅葺	江戸時代建築 明治時代移築	令和5年2月27日	個人	京都府木津川市加茂町尻枝縄手87
1	府指定	小林家住宅長屋門・土蔵 附 小屋・高塀・普請文書・雑納屋・土塀	2 棟	長屋門：切妻造、棧瓦葺 土蔵：二階建、切妻造、棧瓦葺	長屋門：享保6(1721)年 土蔵：江戸時代	平成4年4月14日	個人	木津川市山城町上狛東林1-1
2		不動川砂防施設	1 構	石積堰堤8基	明治時代	平成9年3月14日	国土交通省	木津川市山城町平尾
3		岡田鴨神社本殿・摂社天満宮本殿・末社金刀比羅神社本殿	3 棟	一間社春日造、檜皮葺	江戸時代	平成30年3月23日	(宗)岡田鴨神社	木津川市加茂町北鴨村44
4		天王神社本殿	1 棟	一間社春日造、銅板葺	江戸時代	平成30年3月23日	(宗)天王神社	木津川市木津清水1
1	府登録	松尾神社拝殿・境内社御霊神社本殿・表門	3 棟	拝：切妻造、本瓦葺 御：一間社春日造、檜皮葺 門：四脚門、切妻造、本瓦葺	拝：慶長12(1607)年 御：江戸時代 門：元和5(1619)年	昭和58年4月15日	(宗)松尾神社	木津川市山城町椿井松尾41
2		天神神社本殿	1 棟	切妻造、銅板葺	室町時代	昭和58年4月15日	(宗)天神神社	木津川市山城町神童子不晴谷177
3		和伎座天乃夫岐壳神社本殿 附 棟札	1 棟	三間社流造、銅板葺	元禄5(1692)年	昭和58年4月15日	(宗)和伎座天乃夫岐壳神社	木津川市山城町平尾里屋敷54
4		相楽神社末社若宮神社本殿	1 棟	一間社春日造、檜皮葺	室町時代	昭和60年5月15日	(宗)相楽神社	木津川市相楽清水1
5		白山神社摂社春日神社本殿 附 棟札	1 棟	一間社春日造、檜皮葺	江戸時代	昭和62年4月15日	(宗)白山神社	木津川市加茂町岩船上ノ門94

6	府 登 録	岡田国神社 本殿（2棟）・拝殿・舞台・南北氏子詰所（2棟） 附 透塀、内鳥居	6 棟	本：一間社春日造、檜皮葺 拝：一重、切妻造、本瓦葺 舞：一重、切妻造、棧瓦葺 氏：一重、切妻造、棧瓦葺	本：安永3(1774)年 拝：元和6(1620)年 舞：江戸時代 氏：明治時代	昭和63年4月15日	(宗)岡田国神社	木津川市木津大谷1
7		大智寺 本堂・庫裏・鐘楼堂・山門 附 獅子口 附 十三重塔	4 棟	本：入母屋造、本瓦葺、庫：入母屋造、棧瓦葺、鐘：一重、切妻造、本瓦葺、門：切妻造、本瓦葺	本：寛文9(1669)年 他：江戸時代	平成10年3月13日	(宗)大智寺	木津川市木津雲村42-1
8		春日神社本殿 附 棟札、文書	1 棟	一間社春日造、銅板葺	弘化2(1845)年	平成18年3月17日	(宗)春日神社	木津川市加茂町銭司宮小谷36の4
1	市 指 定	涌出宮石灯籠	2 基	石造	南北朝時代	昭和49年6月1日	(宗)和伎座天乃夫岐壳神社	木津川市山城町平尾里屋敷54
2		神童寺護摩堂	1 棟	方三間、宝形造、本瓦葺	江戸時代	昭和58年4月1日	(宗)神童寺	木津川市山城町神童子不晴谷112
3		泉橋寺表門	1 棟	一間棟門、切妻造、本瓦葺	元禄2(1689)年	平成6年5月6日	(宗)泉橋寺	木津川市山城町上狛西下55
4		神童寺表門	1 棟	切妻造、本瓦葺	江戸時代	平成13年4月9日	(宗)神童寺	木津川市山城町神童子不晴谷112
5		和伎座天乃夫岐壳神社表門	1 棟	四脚門、切妻造、本瓦葺	室町時代	平成13年4月9日	(宗)和伎座天乃夫岐壳神社	木津川市山城町平尾里屋敷54
6		和伎座天乃夫岐壳神社拝殿	1 棟	切妻造、棧瓦葺	江戸時代	平成17年3月22日	(宗)和伎座天乃夫岐壳神社	木津川市山城町平尾里屋敷54
7		五輪塔	1 基	石造	鎌倉時代	令和4年12月6日	東小区	木津川市加茂町東小上高庭61
1	府 暫 定 登 録	御霊神社 本殿	1 棟	一間社流造、銅板葺	享保15(1730)年	平成29年9月29日	(宗)御霊神社	木津川市木津宮ノ裏285
2		岡田国神社 摂社恵美須神社本殿	1 棟	二間社流見世棚造、檜皮葺	江戸時代	平成29年9月29日	(宗)岡田国神社	木津川市木津大谷1
3		相楽神社 山門	1 棟	四脚門、切妻造、本瓦葺	江戸時代	平成29年9月29日	(宗)相楽神社	木津川市相楽清水1
4		正覚寺 本堂	1 棟	一重、入母屋造、本瓦葺	寛政10(1798)年	平成29年9月29日	(宗)正覚寺	木津川市木津町西垣外85
5		正覚寺 観音堂	1 棟	一重、寄棟造、本瓦葺	江戸時代	平成29年9月29日	(宗)正覚寺	木津川市木津町西垣外85
6		西念寺 本堂	1 棟	一重、寄棟造、棧瓦葺	宝永3(1706)年	平成29年9月29日	(宗)西念寺	木津川市鹿背山鹿曲田65
7		西念寺 薬師堂	1 棟	一重、寄棟造、本瓦葺及び棧瓦葺	江戸時代	平成29年9月29日	(宗)西念寺	木津川市鹿背山鹿曲田65

8	府 暫 定 登 録	国栖神社 本殿	1 棟	一間社春日造、銅板葺	江戸時代	平成29年9月29日	(宗) 国栖神社	木津川市加茂町辻下垣外21
9		八幡宮 本殿	1 棟	三間社流造、檜皮葺	江戸時代	平成29年9月29日	(宗) 八幡宮	木津川市加茂町森陀羅尼田1
10		恭仁神社 本殿	1 棟	一間社春日造、檜皮葺	天保15(1844)年	平成29年9月29日	(宗) 恭仁神社	木津川市加茂町西宮ノ東35
11		現光寺 本堂	1 棟	一重、入母屋造、本瓦葺・棧瓦葺	文化15(1819)年	平成29年9月29日	(宗) 現光寺	木津川市加茂町北山ノ上9
12		海住山寺 本堂	1 棟	一重、入母屋造、本瓦葺	明治17(1884)年	平成29年9月29日	(宗) 海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
13		海住山寺 天満宮	1 棟	一間社春日見世棚造、棧瓦葺	江戸時代	平成29年9月29日	(宗) 海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
14		海住山寺 春日社	1 棟	一間社春日造、棧瓦葺	江戸時代	平成29年9月29日	(宗) 海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
15		海住山寺 稻荷社	1 棟	一間社春日見世棚造、棧瓦葺	江戸時代	平成29年9月29日	(宗) 海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
16		海住山寺 鐘楼	1 棟	一重、切妻造、本瓦葺	寛文3(1663)年	平成29年9月29日	(宗) 海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
17		海住山寺 山門	1 棟	四脚門、切妻造、本瓦葺	享保3(1718)年	平成29年9月29日	(宗) 海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
18		海住山寺 中門	1 棟	四脚門、切妻造、本瓦葺	江戸時代	平成29年9月29日	(宗) 海住山寺	木津川市加茂町例幣海住山20
19		西明寺 本堂	1 棟	一重、入母屋造、本瓦葺	江戸時代	平成29年9月29日	(宗) 西明寺	木津川市加茂町大野大野27
20		浄瑠璃寺 大日如来灌頂堂	1 棟	一重、入母屋造、棧瓦葺	慶安5(1652)年	平成29年9月29日	(宗) 浄瑠璃寺	木津川市加茂町西小札場40

●無形民俗文化財の部

No.	指定級	名 称	員 数	年 代 等	指 定 日	所有者・管理者	所在地
1	国指定	涌出宮の宮座行事			昭和61年1月14日	涌出宮宮座行事保存会	木津川市山城町平尾・綺田
1	府指定	相楽の御田と正月行事			昭和59年4月14日	相楽神社宮座	木津川市相楽清水1
2		相楽木綿			令和2年3月27日	相楽木綿の会	木津川市精華町精華台6-1
1	府 登 録	岩船のおかげ踊			昭和59年4月14日	岩船おかげ踊保存会	木津川市加茂町岩船
2		上狛の精霊踊			昭和60年5月15日	しょうらい踊り保存会	木津川市山城町上狛
3		西教寺六斎念仏			昭和60年5月15日	西教寺六斎念仏講	木津川市木津雲村3
4		仏生寺六斎念仏			昭和60年5月15日	仏生寺六斎念仏保存会	木津川市加茂町例幣
5		銭司の獅子舞・田楽・相撲			昭和62年4月15日	銭司宮座行事保存会	木津川市加茂町銭司
1	市指定	木津御輿太鼓祭			平成14年10月18日	木津御輿太鼓運営委員会	木津川市木津・木津町

●有形民俗文化財の部

No.	指定級	名 称	員 数	年 代 等	指 定 日	所有者・管理者	所在地
1	府 登 録	泉川座人形浄瑠璃用具	118点	明治時代	平成3年4月19日	木津川市	
2		おかげ踊図絵馬	1 点	慶応4(1868) 年	平成12年4月17日	(宗)春日若宮社	木津川市加茂町里口薬井17
3		おかげ踊図絵馬	1 点	明治元(1868) 年	平成12年4月17日	(宗)白山神社	木津川市加茂町岩船上ノ門94
1	府 登 録 暫 定	涌出宮の踊図絵馬	1点	明治6(1873) 年	平成29年9月29日	(宗)和伎座天乃夫岐 売神社	木津川市山城町平尾里屋敷54
2		木津の渡し船	1 艘	明治時代	平成29年9月29日	木津川市	

●史跡名勝天然記念物の部

No.	指定級	名 称	種 別	員 数	年 代 等	指 定 日	所有者・管理者	所在地
1	国 指 定	浄瑠璃寺庭園	特別名勝	11, 505. 04㎡	平安時代	昭和60年1月18日	(宗)浄瑠璃寺他	木津川市加茂町西小札場
1		高麗寺跡	史跡	20, 100. 50㎡	飛鳥時代	昭和15年8月30日 平成22年2月22日	木津川市 他	木津川市山城町上狛高麗寺・森ノ前
2		恭仁宮跡(山城国分寺跡)	史跡	267, 609. 39㎡	奈良時代	昭和32年7月1日 平成19年2月6日 平成20年7月28日 平成22年2月22日 平成27年3月10日 平成29年2月9日 平成30年2月13日 平成31年2月26日 令和4年11月10日	木津川市 他	木津川市加茂町岡崎・河原・例幣
3		浄瑠璃寺庭園	史跡	11, 505. 04㎡	平安時代	昭和40年11月12日	(宗)浄瑠璃寺他	木津川市加茂町西小札場
4		石のカラト古墳	史跡	4, 925㎡	奈良時代	平成8年7月16日	奈良市・木津川市	木津川市兜台2丁目・奈良市神功1丁目
5		椿井大塚山古墳	史跡	15, 715. 89㎡	古墳時代	平成12年9月6日	木津川市 他	木津川市山城町椿井三階・大平
6		奈良山瓦窯跡 歌姫瓦窯跡 音如ヶ谷瓦窯跡 市坂瓦窯跡 梅谷瓦窯跡 鹿背山瓦窯跡 中山瓦窯跡	史跡	歌姫瓦窯跡 4, 147. 45㎡ 音如ヶ谷瓦窯 跡 5, 096. 87㎡ 市坂瓦窯跡 21, 269. 44㎡ 梅谷瓦窯跡 635. 86㎡ 鹿背山瓦窯跡 7, 744. 24㎡ 中山瓦窯跡 1024. 55㎡	奈良時代	平成22年8月5日 平成28年3月1日	奈良市・木津川市	歌姫瓦窯跡 木津川市市坂・奈良市歌 姫町 音如ヶ谷瓦窯跡 木津川市相楽台7丁目 市坂瓦窯跡 木津川市州見台8丁目 梅谷瓦窯跡 木津川市梅美台5丁目 鹿背山瓦窯跡 木津川市城山台4丁目 中山瓦窯跡 奈良市中山町
7		神雄寺跡	史跡	33, 063. 68㎡	奈良時代	平成27年3月10日 平成29年2月9日	木津川市、他	木津川市城山台十三丁目4番地他

1	府指定	銭司遺跡	史跡	418㎡	奈良時代	昭和59年4月14日	個人	木津川市加茂町銭司金鑄山23-1
2		当尾の豊岡柿	天然記念物			平成2年4月17日		木津川市加茂町大畑柘榴谷
1	市指定	上粕環濠集落(環濠・大井戸・郷井戸)	史跡		室町時代	昭和49年6月1日		木津川市山城町上粕長町・巽町・埤町・乾町
2		稲荷山	史跡		室町時代	昭和49年6月1日		木津川市山城町北河原北谷
3		鳶ヶ城跡	史跡		室町時代	昭和49年6月1日		木津川市山城町神童子横峰
4		弁天山	名勝		室町時代	昭和49年6月1日		木津川市山城町椿井天敷堂
5		泉橋寺境内	史跡	976㎡	奈良時代	平成11年5月11日	(宗)泉橋寺	木津川市山城町上粕西下54・55-1・55-2
1	府暫定 登録	岩船寺境内	史跡・名勝			平成29年12月27日	(宗)岩船寺	木津川市加茂町岩船上ノ門43
2		神童寺境内	史跡			平成29年12月27日	(宗)神童寺	木津川市山城町神童子不晴谷112
3		鹿背山不動院境内	史跡			令和4年3月22日	(宗)西念寺	木津川市鹿背山大木谷

●環境保全地域・地区の部

No.	指定級	名 称	員 数	年 代 等	指 定 日	所有者・管理者	所在地
1	府決定	京都府歴史的な然環境保全地域（当尾）	196, 800㎡		昭和60年12月20日		加茂町西小・岩船
1		松尾神社文化財環境保全地区			昭和58年4月15日	(宗)松尾神社	木津川市山城町椿井松尾41
2		天神神社文化財環境保全地区			昭和58年4月15日	(宗)天神神社	木津川市山城町神童子不晴谷177
3		和伎座天乃夫岐壳神社文化財環境保全地区			昭和58年4月15日	(宗)和伎座天乃夫岐壳神社	木津川市山城町平尾里屋敷54
4		当尾磨崖仏文化財環境保全地区			昭和60年5月15日	岩船区・浄瑠璃寺他	木津川市加茂町岩船・西小
5		相楽神社文化財環境保全地区			昭和60年5月15日	(宗)相楽神社	木津川市相楽清水42番1
6		白山神社文化財環境保全地区			昭和62年4月15日	(宗)白山神社	木津川市加茂町岩船上ノ門94
7		岡田国神社文化財環境保全地区			昭和63年4月15日	(宗)岡田国神社	木津川市木津大谷105番
8		八幡宮文化財環境保全地区			昭和63年4月15日	(宗)八幡宮	木津川市加茂町森・高去

●文化財件数
国指定文化財

国 宝 ・ 重 要 有 形 文 化 財							重要民俗文化財		史跡名勝天然記念物			計	
美 術 工 芸 品							建 造 物	無 形	有 形	史 跡	名 勝		天然記念物
絵 画	彫 刻	工芸品	書跡典籍	古文書	考古資料	歴史資料							
3	26(3)	1	1	1			19(3)	1		7	1(1)		60(7)
							2						2

※上段が国指定文化財、下段が国登録文化財である。()内は重要文化財内の国宝数及び史跡名勝天然記念物内の特別指定数である。

※史跡数には2府県にわたるもの2件を含む。

府指定・登録文化財

有形文化財							民俗文化財		史跡名勝天然記念物			計	
美術工芸品						建造物	無形	有形	史跡	名勝	天然記念物		
絵画	彫刻	工芸品	書跡典籍	古文書	考古資料								歴史資料
2	5	3		1	1	1	4	2		1		1	21
1	3	1					8	5	3				21
45	6		5	6	8		20		2	3	1		96

※上段が指定文化財数、中段が登録文化財数、下段が暫定登録文化財数である。

市指定文化財

有形文化財							民俗文化財		史跡名勝天然記念物			計	
美術工芸品						建造物	無形	有形	史跡	名勝	天然記念物		
絵画	彫刻	工芸品	書跡典籍	古文書	考古資料								歴史資料
5	11		1	3	3	4	7	1		4	1		40

VI 学校（園）の概要

木津川市立木津幼稚園



木津幼稚園園歌

作詞 K T S (木津幼稚園職員)
作曲 尾上昭典

一、お庭に咲いてる きれいな花も
ランランみんな おともだち
げんきな笑顔で あそびましょう
たのしいたのしい 木津幼稚園

二、お空でうたう かわいい小鳥
ランランみんな おともだち
大きな声で 歌いましょう
たのしいたのしい 木津幼稚園

三、赤いほっぺの きみとぼく
ランランみんな おともだち
きょうも仲良く 手をつなごう
たのしいたのしい 木津幼稚園

郵便番号 619-0214
所在地 京都府木津川市木津田中前30番地
電話 (0774) 72-0101
FAX (0774) 72-0800
E-mail kizu-yo@city.kizugawa.lg.jp

1. 園の沿革

昭和

- 32. 3. 12 園舎落成
- 4. 8 木津小学校附属幼稚園として発足。初代園長 竹田正司（小学校兼務）
- 33. 「幼児の健康教育について」研究発表会開催
- 39. 「視聴覚経験を生かした効果的な保育について」研究発表会開催
- 40. 1. 23 放送教育研究発表会開催
- 41. 3. 17 昭和40年度学校安全努力園として表彰を受ける
- 42. 4. 4 創立10周年記念挙行
- 11. 25 完全給食実施
- 44. 園舎増築工事地鎮祭
- 4. 1 二年保育実施
- 5. 30 園舎増築完成
- 46. 「社会領域においての各年令ごとの重点的な指導のねらいと内容について」
京都府教育委員会指定研究発表（第一年次）
- 49. 11. 1 「豊かな心情をめざし生き生きとしたことばを育てる指導」
京都府教育委員会指定研究発表（第二年次）
- 50. 10. 23 「豊かな心情をめざし生き生きとしたことばを育てる ー発展的な遊びの経過を通してー」
第二年次研究発表会開催
- 51. 11. 20 関西幼稚園連合会教育研究大会で研究発表（同上テーマについて）
- 52. 3. 1 創立20周年記念式及び記念行事生活発表会挙行、園歌作成
- 4. 12 園舎増築工事（プレハブ教室2教室及び倉庫）及び旧倉庫撤去工事完成
- 6. 1 三地区（鹿背山、梅谷、市坂）の園児送迎の通園バス運行実施
- 9. 18 創立20周年記念バザーとよい子のまつり開催
- 53. 3. 園舎一部改造（給食準備室、資料室）
- 4. 完全給食再実施
- 54. 9. 水洗便所増設
- 55. 5. 10 小プール設置（中嶋哲太郎氏寄贈）
- 57. 4. 1 専任園長制となる
- 9. 22 新園舎起工式
- 58. 2. 28 新園舎工事完成
- 3. 2 新園舎へ移転
- 3. 9 園舎竣工感謝のつどい
- 3. 30 プール工事完成
- 59. 11. 1 山城地方公立幼稚園教育研究会指定研究発表会
「心を動かす子どもをもとめて」ーこどもの思いを正しく理解し育てるためにはー
- 61. 11. 12 創立30周年記念式挙行、30年のあゆみ刊行、園歌入り額作成
- 62. 5. 19 「なかよし号」新規購入・運行

平成

- 元. 4. 1 園名 木津幼稚園と変更
- 11. 30 平成元年度歯科指導努力園として表彰を受ける
- 3. 10. 23 山城地方公立幼稚園教育研究会指定研究発表会
「一人一人が自己充実し感性を豊かにするには」
- 6. 4 園児送迎の通園バス町運営となる
- 8. 11. 24 創立40周年記念式典挙行、40年のあゆみ刊行
- 10. 8. 4 平成10年度幼稚園教育課程京都府研究大会発表
- 11. 4. 1 3年保育実施（1学級20名）
- 13. 4. 1 文部科学省調査研究委託 木津町教育委員会研究指定（13・14年度）
幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究事業指定（2年間）
- 14. 4. 1 幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究事業指定（2年間）
- 15. 2. 21 文部科学省委託「幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究」

- 発表会「豊かな心のはぐくみをめざして」ーやさしく・たくましく・いきいきとー
11. 7 第53回全国学校保健研究大会 課題別研究協議会発表（青森大会）
「幼稚園における心の健康づくりをめざす教育活動について」
16. 8 園舎増築（2教室）
17. 7.30 第52回全国国公立幼稚園教育研究協議会（埼玉大会）
ポスターセッション展示発表 「豊かな心のはぐくみをめざして」
18. 7 園児用トイレ改修工事
- 18.10.15 創立50周年記念式挙行、50年のあゆみ刊行、50周年記念植樹「きんもくせい」
19. 3.12 木津川市誕生により木津川市立木津幼稚園と改称
21. 1.26 平成20年度山城地方学校安全研究協議会実践発表
「幼児が安全で伸びやかに活動できる環境や援助とは」
23. 8.26 平成23年度幼稚園教育課程理解推進事業京都府研究大会発表
- 26.10.23 平成26年度全国国公立幼稚園長会特別事業近畿ブロック研修会発表
- 28.12.10 創立60周年記念行事挙行
- 30.11. 7 京都府公立幼稚園こども園教育研究会指定研究発表
「心豊かに育ち合う子どもの育成 ～身近な人とのつながりを通して～」
- 令和
- 元.11. 6 第121回関西幼稚園・こども園連合会教育研究大会京都大会発表

2. 教育

（1）幼稚園教育目標

やさしさ・豊かさ・たくましさをもった子どもの育成

（2）本園のめざす幼児像

- ・心も身体も健康な子
- ・互いの良さを認め合える子
- ・夢中になって遊べる子
- ・やさしさ、思いやりのある子

（3）教育方針

- ・見通しをもって活動に取り組んだり、目的に向って最後までやり遂げたりする満足感や達成感を味わう。
- ・友達との関わりを通して、相手の思いに気付いたり、認め合ったりしながら人とつながる喜びや思いやりの気持ちを育む。
- ・経験したことや考えたことを自分なりに表現したり、絵本に親しんだりする中で、豊かな感性や表現力を養う。
- ・様々な体験を通して、好奇心や探究心を育む。
- ・小学校教育への円滑な接続に向けて、子どもの学びや生活の連続性を踏まえた連携を図る。

木津川市立相楽幼稚園



相楽幼稚園園歌

作詞 吉岡 守
作曲 吉岡 俊道

一、おそらにおひさまぼつかぽか
おはなもゆれてるにっこにこ
みんななかよしだのしいな
さがなかさがなかようちえん

二、おにわにぶらんこぎっこぎこ
すべりだいだよすなやまだ
みんなげんきなこたのしいな
さがなかさがなかようちえん

三、おへやにせんせいおともだち
おはなしおゆうぎターランラン
みんなかんがえるたのしいな
さがなかさがなかようちえん

郵便番号 619-0222
所在地 京都府木津川市相楽清水1番地
電話 (0774) 72-1822
FAX (0774) 72-0666
E-mail saga-yo@city.kizugawa.lg.jp

1. 園の沿革

昭和

- 52. 4. 15 相楽小学校附属幼稚園として開園
- 53. 4. 25 完全給食実施
- 54. 4. 5 園舎増築（プレハブ1教室）
- 8. 23 京都府教育課程研究発表
「幼児に自発的・自主的な活動を促すためには、どのように環境を構成し、どのような指導上の配慮や工夫が必要か。」
- 57. 2. 27 園舎新築完成
- 4. 1 専任園長制となる
- 11. 5 第30回京都府美術教育研究大会
「自分の目と心と頭と手を通してつくるよろこびを、ゆたかな創造性とたしかな表現をめざして」
- 62. 1. 26 山城地方学校安全研究協議会提案
「幼児の安全能力を育てる ー自分で判断し機敏に行動できる子をめざしてー」
- 2. 25 創立10周年記念式典挙行
- 3. 1 高の原地区の園児送迎の通園バス運行
- 11. 11 山城地方公立幼稚園教育研究会指定園研究発表
「環境を生かし精一杯とりくむ子どもを育てよう」

平成

- 元. 3. 31 高の原幼稚園開園のため通園バス運行中止
- 4. 1 園名 木津町立相楽幼稚園と変更
- 6. 4. 1 吐師・木津川台地区の園児送迎の通園バス運行
- 7. 5 京都府公立幼稚園PTA連絡協議会・山城地方公立幼稚園PTA連絡協議会、総会並びに研修会開催
- 9. 2. 1 創立20周年記念式典挙行
- 4. 1 3年保育試行実施（1学級20名）
- 10. 4. 1 3年保育試行2年目実施（1学級20名）
- 11. 4. 1 3年保育実施（1学級20名）
- 13. 4. 1 歯・口の健康づくり推進事業指定（3年間）
- 15. 10. 23 歯・口の健康づくり推進事業指定研究発表会（公開保育・実践発表）
- 16. 4. 1 幼稚園評議員制度実施（2名に委嘱）
- 11. 12 全国学校歯科保健研究大会 幼稚園・保育園部会で実践報告
「しなやかな心と体の健康をはぐくむ」
- 18. 12. 5 創立30周年記念式典挙行
- 19. 3. 12 木津川市誕生により木津川市立相楽幼稚園と改称
- 20. 10. 29 平成19・20年度京都府公立幼稚園教育研究会研究指定園、研究発表
「自分が好き 友達が好き 幼稚園が好き」
- 26. 10. 23 全国公立幼稚園長会特別事業近畿ブロック研修会発表
- 27. 1. 26 山城地方学校安全研究協議会実践発表
- 29. 1. 10 創立40周年記念式典挙行

2. 教育

「やさしさ」と「豊かさ」そして「たくましさ」をもった子どもの育成をめざし、友だちとともに生活する楽しさを味わわせながら、人格形成の基礎を培う。

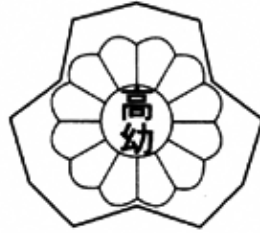
(2) めざす幼児像

さわやかなあいさつをする子
がんばりぬく子
なかよくできる子
かんがえる子
のびのびと行動できる子
こころもからだも丈夫な子

(3) 基本方針(指導の重点)

- ◆ 幼児期の特性を踏まえ、遊びを通して総合的な指導を進める。
 - ・ 基本的な生活習慣や態度を育て、しなやかな心と体を育てる。
 - ・ 多様な体験や遊びを通して、自らやろうとする意欲や豊かな心情など生きる力の基礎を培う。
 - ・ 自然・人・社会とつながる喜びを味わえるような遊びを充実する。
 - ・ 人とのかかわりに重点をおき、幼児期における人権感覚や人権意識の芽生えに努める。
 - ・ 「聞く」「話す」「伝え合う」ことの喜びを味わえるような体験を充実し、コミュニケーション能力の育成に努める。
 - ・ 家庭や地域との連携を密にし、信頼関係を深める。
 - ・ 小学校への円滑な接続に向けた保幼小連携教育の推進を図る。

木津川市立高の原幼稚園



高の原幼稚園園歌

作詞 丹田長史
作曲 森本陽三郎

一、さんさんおひさま あかるいこ

うたうのだいすき おはなしだいすき

いいな いいな おともだち

えがおがいっぱい たかのはらようちえん

二、みどりのそよかぜ やさしいこ

おはなもだいすき ことりもだいすき

いいな いいな おともだち

えがおがいっぱい たかのはらようちえん

三、あおぞらひろびろ げんきなこ

かけっこだいすき あそぶのだいすき

いいな いいな おともだち

えがおがいっぱい たかのはらようちえん

郵便番号 619-0224
所在地 京都府木津川市兜台4丁目4番地2
電話 (0774) 72-6658
FAX (0774) 72-6647
Eメール taka-yo@city.kizugawa.lg.jp

1. 園の沿革

平成

- 1年 4月 1日 木津町立高の原幼稚園設置
- 1年 4月 12日 開園式 第1回入園式挙行（園児数192名）
- 3年 7月 園舎増築（4学級増）
- 5年 6月 30日 木津町立高の原幼稚園PTA発足
- 6年 4月 6日 相楽台地区の園児送迎の通園バス運行
- 8年 11月 1日 平成7・8年度 京都府公立幼稚園教育研究会研究指定園
[研究発表会]
研究課題「幼児が自ら環境に関わって、充実した生活を展開していくためには、
環境をどのように構成すればよいか」
- 9年 7月 4日 園歌発表会
- 11年 2月 23日 10周年記念式典挙行
- 11年 4月 1日 3年保育実施（2学級40名）
- 13年 1月 29日 山城地方学校安全研究協議会提案発表
- 13年 4月 1日 「幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究」
事業指定（13・14年度）
- 15年 2月 21日 文部科学省委託
「幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究」
事業指定園研究発表会
- 19年 3月 12日 木津川市誕生により木津川市立高の原幼稚園と改称
- 20年 11月 28日 20周年記念式典挙行
- 26年 10月 23日 平成26年度全国国公立幼稚園長会特別事業近畿ブロック研修会発表
- 30年 7月 21日 創立30周年記念事業
- 31年 1月 10日 創立30周年記念式典

2. 教 育

（1）教育目標

やさしさ、豊かさ、たくましさをもった子どもを育成する。（からだ・あたま・こころづくり）

（2）めざす幼児像

思いやり、やさしさのある子

互いに認め合える子

最後まであきらめず、やり遂げられる子

夢中になって遊べる子

心も体も健康な子

（3）基本方針（指導の重点）

（1）遊びや生活の中で、好奇心や探求心を育て、思考力の芽生えを培う。

（2）異年齢、地域の人との関わりの中で、互いの良さを認め合い、人とつながる喜びや思いやりの
気持ちををはぐくむ。

（3）見通しをもって活動に取りくんだり、目的に向かってやり遂げたりする満足感や達成感を培う。

（4）身近な環境や自然に触れ、感動する体験を通して、豊かな感性をはぐくむ。

（5）小学校教育への円滑な接続に向けて、子どもの学びや生活の連続性を踏まえた連携を図る。

木津川市立木津小学校



木津小学校校歌

作詞・作曲 桜井武雄

一

歴史にかおる 山城の
ぼくたち 木津の小学生
大地をふんで 胸はって
明るく強く 育ちます
木津 木津 木津
木津小学校

二

木津川鹿背山 友として
わたしら 木津の小学生
朝夕かよう この道に
木津小学校 待ってます
木津 木津 木津
木津小学校

三

平和の鐘の 鳴りひびく
木津の子どもは 日本の子
仲よく笑って 手をつなぎ
元気に今日も 学びます
木津 木津 木津
木津小学校

郵便番号	619-0217
所在地	京都府木津川市木津町内垣外95
電話	(0774) 72-0038
FAX	(0774) 72-3852
E-mail	kizu-es@kizu.ed.jp
HP・URL	http://www.kizu.ed.jp/kizu-es

1. 沿革

- 明治 5 木津小学校として創立
19 木津尋常小学校と改称
28 鹿背山及び梅谷分教場設置
34 高等科を併置し木津尋常高等小学校と改称
- 大正 11 講堂新築
- 昭和 9 木造 2 階建本館落成
16 木津国民学校と改称
22 木津小学校と改称、両分教場を鹿背山・梅谷分校と改称
23 学校給食開始
29 創立 80 周年記念式典挙行
32 木津小学校附属幼稚園開園 鉄筋南校舎落成式
33 第 7 回保健体育優良校として表彰される
障害児学級開設
36 全日本健康優良学校府代表として表彰される
39 学校給食優良校として文部大臣表彰
40 健康教育及び理科教育により学研教育賞を受ける
42 府道德研究発表会開催
43 文部省指定道德教育研究発表会開催
45 トランペット鼓隊、万国博エキスポランドに特別出演
48 創立 100 周年記念式典挙行
52 道德教育研究発表会開催（文部省）
本館増改築により鉄筋 3 階校舎竣工
53 京都府学校安全優良校として表彰される
学校安全優良校として文部大臣表彰を受ける
日本 P T A 全国協議会長賞受賞
54 金銭教育研究校の委嘱を受ける（～55 年）
優良「子ども銀行」として大蔵大臣及び日本銀行総裁表彰
健康安全教育研究発表会開催（府教育委員会委嘱）
55 東校舎新築
56 体育館及び屋上プール竣工
57 優良 P T A として文部大臣表彰を受ける
59 みどりの広場（中庭）造園完成
62 交通安全優良校として府交通安全協会より表彰される
府教育委員会より小学校教育実践推進校（図工）の指定を受ける
63 国体なぎなた競技開会式にマーチングバンド、カラーガーズ等出場
- 平成元 梅谷分校休校
2 府社会福祉協議会より社会福祉協力校の指定を受ける（～4 年）
4 府小学校教育研究会生活科研究大会開催
6 全国都市緑化京都フェアオープニングパレードに金管バンド出場
7 京都小学校金管バンドフェスティバルに参加
梅谷分校閉校式並びに記念碑除幕式

- 金銭教育研究校の指定を受ける（～9年）
中国天津市より友好使節団来校
- 8 本館2階にコンピュータ室開設、児童用コンピュータ20台設置
相楽郡通級指導教室開設
- 9 ひまわり学級2学級に増設
- 10 府教育委員会指定「教育実践パイロット校（情報教育）」研究発表会開催
校門改装
- 11 よい歯の表彰を受ける
- 13 21世紀記念航空写真撮影
- 15 国際理解教育学校公開実施
- 16 校区安全対策協議会（ネットワーク）発足
- 17 町指定国際理解教育（英語活動）学校公開実施
- 18 文部科学省より「人権教育総合推進地域事業」の指定を受ける
木津川市誕生に伴い木津川市立木津小学校と改称する（19. 3. 12）
- 19 「人権教育総合推進地域事業」・「心の教育実践研究校」中間報告会開催
- 20 人権教育総合推進地域事業「人権教育研究大会」開催
- 21 文部科学省指定「道徳教育実践研究事業」推進校
木津川市教育委員会指定「道徳教育研究推進校」中間発表会開催
南校舎耐震工事完了
- 22 文部科学省指定「道徳教育実践研究事業」
木津川市教育委員会指定「道徳教育研究推進校」研究発表会開催
- 23 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
- 24 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
京都府教育委員会「京の未来創造校」指定校
- 25 京都府教育委員会「京の未来創造校」指定校
木津川市 ICT 機器研究指定校
- 26 城山台小学校開校に伴い、鹿背山分校閉校
市教育委員会指定「教育実践推進校」公開授業実施
- 28 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
- 29 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
- 30 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
- 令和元 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
- 2 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
- 3 文部科学省「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」参加校
木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校 研究発表会開催
- 4 創立150周年・木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
- 5 新校舎供用開始
新校舎竣工・創立150周年記念式典挙行

2. 教育

(1) 教育目標

「たくましく心豊かに生きぬく児童の育成」

(2) 目指す児童像

- よくかんがえる子
- なかよくする子
- たくましい子

(3) 本年度最重点課題

◎自律と協働に基づく確かな学力の育成

(4) 学校経営方針（中期経営目標）

- 未来を切り拓く教育の推進
自己決定し実行できる自律性と協働で解決策を生み出す意欲をもち、自ら未来を切り拓いていくための基盤となる資質・能力を育成する。
- 学習指導要領に基づく教育活動の展開
公教育に課せられた使命と職責の自覚のもと、言語活動の充実を図り学力の向上を目指す取組を進めるとともに、一人一人の可能性を最大限伸ばす教育を推進する。
- 教育目標の具現化
教育目標の具現化に向けて、各教育活動において整合性のとれた活動計画を立案し実行する。また、都度評価し改善を図る。
- 教師力の向上と協働体制の確立
一人一人が教職員評価制度の活用などを通して、自己の『教師力』の向上に努め、適正やよさを十分発揮するとともに、全教職員一体となって課題解決に当たる。
- 家庭・地域社会との連携強化
伝統ある学校として地域と心を通わせながら、校区の持つよさを積極的に生かした特色ある学校づくりを進める中で、教育目標の達成に迫る。

(5) 学校経営の重点

- ①教職員が一体となった取組の展開による確かな学力の向上
 - ア 全教育活動を通じてシティズンシップ教育に取り組み、主体的に社会に参画する意欲と社会の構成員としての役割を遂行できる資質・能力を育成する。
 - イ ICTの積極的な活用により個別最適な学びの充実を図るとともに、教科横断的な学びを展開し、主体的・対話的で深い学びが進められる授業改善に取り組む。
 - ウ 読書の時間を確保し読書量を増やすとともに、L読書の取組を進め読書習慣を定着させる。
- ②道徳教育、生徒指導を中心とした心の教育の充実
 - ア 児童と教職員の信頼関係づくりに努めるとともに、仲良く助け合い、支え合い、高まることの素晴らしさや楽しさを体験させ、互いの良さを認め合う児童相互の人間関係づくりに努める。
 - イ 人権意識の涵養を図り、児童間の好ましい人間関係を築くことにより、いじめ等の人権問題の未然防止に努める。
- ③健康で安全に生きぬく実践力の育成
 - ア 健康な体づくりに意欲を持たせ、体育的行事やクラブ活動、地域の大会などへ積極的に参加する児童の育成に努める。また、日常の遊び等を通して、運動能力を育成する。
 - イ 自ら安全に行動できる能力と態度を育成するための安全教育を推進する。
- ④地域の力を活かして子どもをはぐくむ教育の推進
 - ア 家庭及び地域に開かれた学校を目指し、地域人材や施設の積極的な活用を図るとともに活動型学習の展開により公共性や社会性、市民性をはぐくむ。
 - イ 郷土の自然、伝統、文化についての学習をとおして、郷土を大切にする心をはぐくむ。
 - ウ 「学校運営協議会」を立ち上げ、コミュニティスクールとして地域と一体となった取組を進める。

(6) 本年度重点研究

テーマ

「主体的に社会に参画する力をはぐくむシティズンシップ教育の推進」

～自己を表現し、協働的に問題を解決する児童の育成を目指して～

※社会の一員としての役割を遂行できる市民性を培うシティズンシップ教育を研究の柱としています。地域の出来事を自分事としてとらえ、他者と協働しながら解決策を見出していく活動型学習を展開し、主体的に人、地域、社会とのかかわる実践力を育成します。

木津川市立相楽小学校



相楽小学校校歌

作詞 鳴原 一穂
作曲 前田 卓央

一
晴れた空から 小鳥の歌だ
歌に合わせて 跳ねて踊れば
相楽校は 花咲く園だよ
ああ 明るい

二
雪に嵐に 鍛えて練って
強い身体で 勉強学ぶよ
相楽の子は 伸びゆく若木よ
ああ 楽しい

三
胸に太陽 しっかりと抱いて
歩む足並 とりあう手から
相楽の子に ひらける未来だ
ああ 明るい

郵便番号 619-0222
所在地 京都府木津川市相楽清水1番地
電 話 (0774) 72-0221
FAX (0774) 72-0280
E-mail saganaka-es@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/saganaka-es/>

1. 沿革

- 明治 6 初めて校舎を相楽郡吐師村小字郷和田に設立
9 大字里に相楽校を開校
22 町村制度の実施に伴い従来の吐師校を廃止して相楽校に合併する
相楽尋常小学校と改称
29 校舎改築竣工 現在地（小字清水 1）に移転
- 昭和 4 中校舎竣工
12 講堂新築
16 相楽国民学校と改称
22 相楽村立相楽小学校と改称
26 町村合併により木津町立相楽小学校と改称
33 新校舎改築竣工（鉄筋二階建、木造二階建、南校舎移転）
34 歯科治療器設置
35 プール竣工、完全給食開始（A型）
42 交通安全優良校受賞（府交協）、第12回学研教育賞受賞、優良児童会受賞（消防庁長官）
43 歯の健康について研究発表（全学歯大会）、優良育友会受賞（府P連）
44 5年連続よい歯の学校表彰受ける（日学歯会）
歯の健康について研究発表（全学歯大会）
45 優良育友会受賞（文部大臣）、講堂移転、体育倉庫新築、全国特選健康優良校受賞
46 奥村賞受賞
47 第2回京都府小学校図書館教育研究大会開催
48 文化財愛護図画習字コンクールで学校賞受賞（山城文化財愛護協議会）
創立百周年記念祝賀式挙行（記念碑設立、記念植樹八重桜20本）
49 10年連続よい歯の学校受賞、第38回全国学校歯科保健大会開催
全国花いっぱいコンクール優良賞受賞
50 昭和50・51年度道徳教育共同推進校指定（文部省）
51 校地を拡張し南校舎竣工（鉄筋二階建、普通教室5・特別教室3）
学校保健講習会で研究発表、家庭科研究発表大会開催（府小教研）
52 道徳教育研究発表大会開催（文部省・京都府）、台北市教育視察団学校訪問
53 本館（北校舎）と南校舎間に中校舎竣工（鉄筋三階建、普通教室10、特別教室5）
障害児学級（2学級）開設、体育館完成
56 プール竣工（6コース・低学年用プール）
60 北校舎木造4教室改築59年7月着工、2月完成
61 正面拡張改修61年8月25日完成、社会福祉協力校（福祉教育実践校）
62 子ども銀行、日銀総裁大蔵大臣賞受賞、保健室改修 社会福祉協力校2年次（福祉教育実践校）
63 社会福祉協力校3年次（福祉教育実践校）、用務員室・教職員更衣室改修
- 平成元 北校舎改修及び改築 ふるさと交流学習促進事業1年次（文部省委嘱）
図書館教育研究大会（府小教研）
2 ふるさと交流学習促進事業2年次（文部省委嘱）第7回京都府歯科保健文化賞受賞
3 よい歯の表彰及び動物愛護賞受賞、3・4年度心身障害児理解推進校指定
4 文部省指定「心身障害児理解推進校研究発表会」、観察池・放送設備全面改修
交通安全運動及びよい歯の表彰受ける
5 よい歯の表彰受賞、心身障害児理解推進校視察来校多数、心身障害児理解推進校の取組
について文部省より感謝状を受ける

- ふるさと交流学习として、6年修学旅行で丹後町間人小学校訪問開始
南山城養護学校との交流教育継続
- 6 学校文化芸術祭・小中学校音楽フェスティバル出演（住友ホール）よい歯の表彰受賞
南山城養護学校との交流教育継続
- 7 プール浄化装置改修、塗装（全面塗装）運動場全面改修（総合遊具設置）
南山城養護学校との交流教育
- 8 コンピュータ教室の設置
- 9 中国天津市児童使節団来校
- 10 平成10・11年度京都府教育委員会指定教育実践パイロット校（生活科）
- 11 平成10・11年度京都府教育委員会指定教育実践パイロット校（生活科）研究発表会
平成11年度木津町教育委員会指定国際理解教育交流発表会
南山城養護学校との交流教育
- 12 木津町PTA会長校となる
- 13 平成13・14年度文部科学省歯・口の健康づくり研究推進指定校
南山城養護学校との交流教育
- 14 健やか賞受賞（京都府教育委員会）
文部科学省歯・口の健康づくり研究発表会（於：本校）にて授業公開
- 15 健康教育推進学校優良校表彰（日本学校保健会）
創立130周年記念事業・式典開催
- 16 京都府キャリア教育推進地域指定
お話ルーム設置
- 17 平成17年度「人権の花」運動実施校
- 18 人権教育総合推進地域事業推進協力校（～20年度）
キャリア教育実践に関わる文部科学省表彰 キャリア教育実践報告会開催
- 19 木津川市誕生に伴い、木津川市立相楽小学校と改称
- 20 人権教育総合推進地域指定事業発表会開催
- 21 よい歯の表彰受賞（京都府歯科医師会）
第73回全国学校歯科保健研究大会で本校の取組発表
山城地方PTA連絡協議会会長校となる
- 22 第27回京都府歯科保健文化賞受賞
府歯科医師会から歯科保健文化賞に伴う感謝状受賞 よい歯の表彰受賞（京都府歯科医師会）北校舎耐震工事・飼育小屋の設置、緑化推進事業を受け、植樹
- 23 中校舎・体育館耐震工事、よい歯の表彰受賞（京都府歯科医師会）
- 25 木津川市PTA会長校となる 140周年記念航空写真を撮影
第24回相楽地方小学校体育連盟駅伝（持久走）大会 優勝
- 26 第25回相楽地方小学校体育連盟駅伝（持久走）大会 優勝
第9回やましろ未来っ子小学校EKIDEN 優勝
- 27 相楽小学校区保幼小接続推進会議発足 保幼小連携接続カリキュラムを作成
- 28 第55回全日本学校歯科保健優良校 奨励賞受賞
- 令和元 京都府教育委員会指定校「課題解決型授業（アクティブラーニング）推進事業」
- 2 第59回全日本学校歯科保健優良校 奨励賞受賞
- 4 令和4・5・6年度算数科研究協力校（京都府小学校教育研究会）
- 5 創立150周年記念事業・式典開催

2. 教 育

(1) 学校教育目標

「未来に希望を持ち、心豊かで主体的に生き抜く相楽っ子」

(2) 目指す児童像

『考える子』

『思いやりのある子』

『たくましい子』

(3) 努力目標

- ・時間を守る
- ・気持ちの良いあいさつ
- ・学校を美しく

(4) 研究主題

「思考力を高め、主体的に学習する児童を育成する算数科の研究」

(5) 学校経営方針

ア 新しい時代を拓く教育の推進

国際化、高度情報化、少子高齢化など急激な社会の変化に対して、自ら柔軟かつ的確に対応できる「生きる力」の育成、及びはぐくみたい力の育成に努める。また、新型コロナウイルスが一定収束に向かう中、改めて人との関わり合いや対話を通して得られる様々な気づきが人を育てる本質を重視し、学校行事等を精選しながら教育活動を進める。

イ 学習指導要領の趣旨に基づく教育活動の展開

新学習指導要領の趣旨を理解し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す取組を組織的に進め、教育活動全体において質の高い学力の育成を進めるとともに、一人一人の個性を伸ばす教育を推進する。特に、京都府小学校教育研究会算数科研究協力校として、算数科の研究を中心に、授業改善を進める。

ウ 協働体制の確立

教職員一人一人が人事評価制度の活用などを通して自己の資質能力の向上に努め、全教職員一体となって課題解決に努める。(チーム相楽)

エ 特色ある学校づくり

伝統や文化、校風、ふるさとを大切にしつつ、校区の持つ良さを積極的に生かした特色ある学校づくりを進め、教育の活性化を図る。

オ 家庭・地域社会との連携強化

学校、家庭、地域社会との連携で教育機能を高め、開かれた学校、信頼される学校づくりを推進する。

(6) 重点目標

ア 質の高い学力の育成

- ・算数科を中心として、主体的・対話的で深い学びのある授業を目指した工夫改善を進め、児童自らが課題を見つけ解決していこうとする授業を創る。
- ・教師の授業力の向上を図り、学力向上に結びつける。
- ・算数科を中心とした校内研究を、全教職員が主体的な参画意識を持って、一丸となって楽しみながら進める。
- ・一人一台タブレットやデジタル教科書を活用し、学ぶ意欲の向上や個別最適化された学習の充実に努める。
- ・家庭との連携をすすめ、学習習慣の定着を図る。

イ 豊かな心の育成

- ・特別活動並びに道徳科を核として、学級・学年の集団づくりをすすめるとともに豊かな心とあたたかな児童相互の人間関係を育成する。

ウ 特別支援教育の充実

- ・個別の課題を的確に把握し一人一人の教育的ニーズに応じた指導と支援を行う。
- ・ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりと教育環境の充実に努める。
- ・交流及び共同学習を進め、児童の相互理解にもとづく豊かな人間関係を築く。

エ 地域に根ざした開かれた学校

- ・地域の自然、文化や歴史を大事にし、地域の学校として家庭や地域社会と連携を図り、ふるさとに誇りと愛着を持つ児童を育てる。
- ・地域の人材を活用した教育活動の充実に努める。

(7) 具体的方針

ア 質の高い学力をはぐくむ

- ・算数科を中心として、児童一人一人に「質の高い学力」を育成するために、基礎・基本の徹底を図るとともに、個に応じたきめ細かな指導の充実に努める。
(全国学力・学習状況調査や京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～等の学力分析を適切に行い、研修及び実践の場で活用する。)

イ 豊かな心と規範意識をはぐくむ

- ・児童の心に響く道徳科の学習を目指し、魅力的な資料の活用や指導方法の工夫により、児童の道徳的実践力を育成する。
- ・児童の個性の伸長と社会的資質・能力・態度の育成を図るため、校内指導体制を確立し、組織的・計画的指導を推進する。
- ・教職員と児童及び児童相互の心のふれあいを大切にし、深い信頼関係、好ましい人間関係の育成に努める。
- ・読書活動を充実させ、読書意欲の向上や読書習慣の形成に努めるとともに、学習・情報センターとしての学校図書館の有効な活用を図る。

ウ 健やかな体をはぐくむ

- ・食に関する指導を通して、望ましい食習慣の形成や人間関係の育成を図る。
- ・健康の保持増進にかかる取組を推進するため、組織体制を整備し、現代的課題の対応を含む保健管理と保健教育を推進する。

エ 一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者として必要な資質をはぐくむ

- ・地域や学校の実態を踏まえた人権教育推進計画を策定し、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題についての正しい理解と人権についての実践的態度を育成する。
- ・特別な教育的支援を必要とする児童の教育的ニーズに対応できる特別支援教育の推進を目指して、指導方法の工夫に努め、全教職員の共通理解のもとで取組を進める。
- ・特別活動の時間を核として、児童一人一人の発達段階に応じた、組織的系統的なキャリア教育を推進する。
- ・子どもを取り巻く環境を的確に把握し、生活習慣や学習習慣の確立を図る。

オ 社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ

- ・教育活動全体を通じて、一人一台のタブレットを積極的に利用し、情報活用能力の育成を図るとともに、デジタル教科書の活用やプログラミング教育を推進する。
- ・各教科、道徳、総合的な学習の時間、外国語等における国際理解にかかわる指導内容を踏まえ、グローバル化に対応できる実践を行う。
- ・身近な環境や環境問題に関心を持ち、日常生活の中で活かせるよう環境教育を計画的に推進する。

カ 魅力ある・信頼される学校をつくる

- ・経験及び職能に応じた研修を進めるとともに、教職員がより協働できる体制づくりを推進する。
- ・教育目標や経営方針を教職員が理解するとともに、学校評価の充実を図り、評価項目の重点化と継続的な評価・改善を推進する。
- ・避難訓練や各種の防犯、防災学習の充実を図り、児童一人一人の危機管理能力を育成する。
- ・安全教育や危機管理マニュアルに基づく取組を推進する。

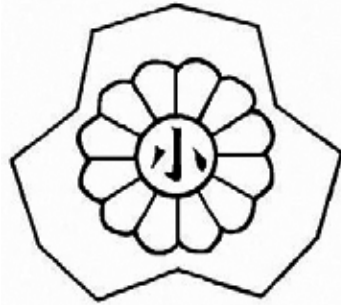
キ 地域の力を活かして子どもをはぐくむ

- ・学校、家庭、地域社会との連携で教育機能を高め、開かれた学校、信頼される学校づくりを推進する。

ク 地域を学び、郷土を大切に作る心をはぐくむ

- ・地域の自然や歴史・伝統について学び、地域資源の活用を図る。

木津川市立高の原小学校



高の原小学校校歌

作詞 木村良子
作曲 石崎照代

一、流れも清き 木津川を
はるかにのぞむ この丘に
夢と希望を 語りつつ
心豊かに 伸びていく
高の原小学校

二、明るい声の ひびき合う
木せいとおる 学び舎に
人の真実を 求めつつ
技をみがきて 育ちゆく
高の原小学校

三、輝く太陽 そよぐ風
緑あふれる この道に
世界の友と はげみつつ
歴史と文化 創りゆく
高の原小学校

郵便番号 619-0224
所在地 京都府木津川市兜台四丁目4番地1
電話 (0774) 72-8737
FAX (0774) 72-8739
E-mail takanohara-es@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/takanohara-es/>

1. 沿革

昭和

61. 4. 1 木津町立高の原小学校開校（児童数 58 名）

62. 3. 20 第 1 回卒業証書授与式（卒業生 11 名）

平成

元. 1. 10 京都府学校給食優良校努力校受賞

2. 3. 26 北校舎 9 教室増築

9. 20 歯の健康診断優良校受賞

11. 1 学校給食文部大臣賞受賞

11. 20 京都府教育実践推進校指定 学校給食研究発表会

3. 1. 25 京都府学校給食優良学校賞受賞

3. 1 高の原小学校校歌制定

5. 3. 31 木津町立相楽台小学校開校に伴い児童 132 名転学

7. 4. 1 PTA 発足

11. 18 創立 10 周年記念式典挙行

8. 5. 16 中国天津市児童使節団との交流学習

9. 10. 9 コンピュータルーム設置（21 台設置）

10. 1. 19 京都府学校安全努力学校受賞

4. 1 障害児学級「ねむの木」開設

12. 4. 1 木津町国際理解推進事業指定校

13. 2. 8 国際理解教育学校公開

4. 1 平成 13・14 年度小学校教育実践パイロット校（道徳）指定

6. 1 創立 15 周年記念航空写真撮影

14. 2. 1 小・中学校教育実践パイロット校教育局別実践交流会（於 本校）にて
授業公開

4. 1 障害児学級「ねむの木 2 組」（情緒障害児学級）開設

11. 16 平成 14 年度「さわやか賞」受賞

11. 26 京都府教育委員会教育実践パイロット校「道徳教育」並びに木津町教育
委員会研究指定校「道徳教育」研究発表会

15. 3. 31 「道徳教育の展開」出版

7. 22 京都中央信用金庫「かがやき賞」受賞

12. 5 「道徳教育」授業研究会

16. 12. 24 「高の原子ども安全ネットワーク会議」発足

17. 2. 26 創立 20 周年記念事業バザー

6. 15 創立 20 周年記念航空写真撮影

11. 12 創立 20 周年記念行事

12. 1 木津町教育委員会研究指定校 算数科授業公開・研究協議会

18. 11. 2 京都府健康教育推進優良校「健やか奨励賞」受賞

19. 1. 25 木津町教育委員会研究指定校 算数科授業公開・研究協議会

3. 12 木津川市誕生により、木津川市立高の原小学校に改称

4. 1 京の子ども夢・未来校（「やましろ未来っ子」研究推進校）指定
木津川市教育委員会研究指定校

11. 1 山城地方夢・未来教育実践交流会 公開授業

20. 4. 1 全国学力・学習状況調査等を活用した学校改善の推進に係る実践研究校

10. 23 京の子ども夢・未来校（「やましろ未来っ子」研究推進校）並びに木津川
市教育委員会研究指定校 研究発表会

21. 4. 1 第 2 期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定

平成 21 年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定

22. 4. 1 第 3 期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定

平成 22 年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定

6. 9 創立 25 周年記念航空写真撮影

11. 30 木津川市教育委員会研究指定校 国語科授業公開・研究協議会

23.	4.	1	第4期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成23年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
24.	4.	1	第5期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成24年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
25.	4.	1	第6期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成25年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
26.	4.	1	第7期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成26年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
27.	4.	1	第8期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成27年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
	5.	11	木津川市特色ある学校づくり推進校指定
28.	4.	1	第9期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成28年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
29.	4.	1	第10期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成29年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
	5.	11	山城地方学校力向上トライアル校指定 木津川市特色ある学校づくり推進校指定
30.	4.	1	第11期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成30年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
31.	4.	1	第12期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成31年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
令和			
2.	4.	1	第13期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 令和2年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
3.	4.	1	第14期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 令和3年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
4.	4.	1	第15期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 令和4年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
5.	4.	1	第16期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 令和5年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定

2 教育

(1) 教育目標

「ひとりだち」

—変化の激しい社会に対して、自ら柔軟かつ的確に対応できる「生きる力」の育成—

(2) 目指す児童像

か し こ く (知)	学力の充実・向上
や さ し く (徳)	豊かな人間性と社会性の育成
た く ま し く (体)	健やかな体づくりの推進

(3) 教育方針

- ア ICTを効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、児童が教科の特性に応じた見方や考え方を身に付け、学んだことを活かして自ら学ぶ力を育てる
- イ 人権学習や研修、生活単元的な道徳学習、特別支援理解学習等を推進し、多様性を認め合い、人を思いやり尊重する心を育てる
- ウ 体力の向上及び健康・安全教育を通して、自分の体について知り、大切にしようとする意欲を持った心身ともに健康でたくましい児童を育てる
- エ 個別の教育支援による特別支援教育及び組織的な教育相談等を通して、一人一人の児童のニーズを大切にしたい学びの場、学び方を工夫する
- オ 地域資産の活用等、地域とのつながりを作り、教師も児童も地域を愛する心を持ち、開かれた、魅力ある学校づくりを推進する
- カ 教職員の資質向上のための研修を充実させるとともに、業務内容の改善、働き方の見直しを通して、心身ともに健康で目標を持って挑戦する教職員を育てる

(4) 本年度重点研究課題

「児童が主体的に学ぶためのICTの活用」

～児童が主体的に取り組み、協働的な学びにつなげるための手立ての研究～

(5) 本年度の努力点

児 童 挨拶、掃除、廊下歩行、時間を守る

教 師 児童とともに行動、率先垂範、優しさと厳しさのある指導

(6) 指導の重点

ア 質の高い学力をはぐくむ

(ア) 学びに向かう力、人間性等の涵養と学習習慣の確立

- ・専門家や地域資源を活用した授業、本物に出合い、触れる体験を重視した授業等を通しての、児童の知的好奇心の高揚
- ・「家庭学習の手引き」の活用啓発、家庭学習がんばり週間の設定等、家庭との連携による学習習慣・生活習慣の定着と、自主学習の指導による自ら学ぶ学び方の定着
- ・「オレンジ・キッズ」「オレンジ・ティーチャー」による学習に向かう心構えの醸成と「高の原スタンダード」による授業の流れの確立

(イ) 基礎的・基本的な知識・技能の定着

- ・朝学習・モジュール学習の時間を有効に活用した基礎学力定着の学習と月曜補習等による個別指導の取組の充実

(ウ) 活用する力の充実

- ・学んだ知識を基に、お互いに考えを正確に理解し適切に表現する「ことばの力」を育てる協働的・対話的な学習の充実

イ 豊かな心と規範意識をはぐくむ

(ア) 道徳科の授業・評価の充実

- ・教科の学習、行事等との関連を持たせた資料による効果的な「生活単元的な道徳」の実践及び、道徳科の授業改善と評価の研修

(イ) 生徒指導の充実

- ・児童の自己有用感の育成のため、生徒指導の3機能（自己存在感、共感的人間関係、自己決定）を生かした指導を学校の全教育活動で推進
- ・社会や学校生活上のルールや基本的なモラルを守ることの意義や重要性について、全職員が同じ意識で取組・指導の徹底

- ・一人一人の児童理解に努め、学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめ等の問題事象の未然防止、早期発見、早期対応に向けた取組の推進
- ・組織的な教育相談活動の推進及び、関係機関との連携を通じた不登校児童の早期対応、家庭支援、選択できる学びの場の設定

(ウ) 読書活動の充実

- ・読書タイムの設定、校内の読書週間の取組、児童の関心を高める学校図書館の運営等による、日々の読書の習慣と豊かな心の育成

ウ 健やかな体をはぐくむ

(ア) 食育の推進

- ・食に関する指導計画に基づき、教科等とも関連させた指導による望ましい健全な食習慣の定着と、児童の関心を高める食に関する学習の充実

(イ) 体力の向上

- ・体力テストの結果分析による本校児童に合わせた体力・運動能力向上の取組の推進

(ウ) 健康の保持増進

- ・自分の体を知り、健康や安全を自分から守ろうとする意識や実践力を身に付ける健康・安全教育の推進
- ・将来にわたって心身ともに健康で安全に生活しようとする意欲と知識、行動力を育てる喫煙・飲酒・薬物乱用等の防止教育の推進

エ 一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者として必要な資質をはぐくむ

(ア) 人権教育の充実

- ・人権教育年間指導計画に基づいた計画的な指導を通して、思いやりのある人権感覚豊かな心と人権尊重の態度や実践力の育成、及び人権意識を育てる取組の充実
- ・同和問題・人権問題に対しての鋭い人権感覚を磨く教職員研修、指導力の向上

(イ) 特別支援教育の充実

- ・校内委員会の機能を活用し、特別な支援を必要とする児童一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援の実現及び、相談支援体制の充実
- ・インクルーシブ教育の推進に向けた障害への理解、特別な支援を必要とする児童への対応等の教職員研修の充実
- ・ユニバーサルデザインの視点に立った授業改善・教育環境の整備と、共同学習や交流学習等の多様な学びの場を通しての特別支援理解教育の推進

(ウ) キャリア教育の推進

- ・全教育活動を通して、他者と支え合いながら、主体的に将来を創造する力の基礎と自己肯定感を育むキャリア教育の視点

オ 社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力を育む

(ア) 情報教育の推進

- ・児童のＩＣＴ活用力の育成及び論理的思考を身に付けるプログラミングの実施
- ・教職員研修の充実による最新のＩＣＴ活用・情報モラルへの対応

(イ) グローバル化に対応できる人材の育成

- ・外国語科の授業及び外国語活動を通じたコミュニケーションの能力の向上
- ・諸外国の伝統や文化、ニュースに関心を持たせ、対話的な学習を通して異文化を理解し尊重するグローバルな視点の育成

(ウ) 環境教育の推進

- ・児童が身近な環境や環境問題に関心を持ち、SDGs等、生活との関わりについて考え行動する教育の推進

カ 魅力ある・信頼される学校・園をつくる

(ア) 学校の組織力と教職員の資質向上

- ・全教職員が課題と成果を共有し、教職員相互の協働と、報告・連絡・相談・確認の徹底による、迅速で効果的な組織運営の実践
- ・全教職員の知と技を活かし、ＯＪＴ等によって互いに学びあう中で、若手教職員への教育文化の継承と教職員それぞれのステージに応じた資質の向上による学校力の強化
- ・教職員一人一人が公務員としての高い倫理観を持ち、社会的責任を自覚したコンプライアンス行動実践の推進

(イ) 魅力ある学校づくり

- ・家庭の教育力、人材活用など地域の力を生かした魅力ある教育活動の推進

- ・学校だよりやホームページ等を通して家庭や地域へ学校の取組を伝える等、連携を充実させるための広報活動の推進

(ウ) 安心・安全なよりよい教育環境の整備

- ・常に危機意識を持ち、事故災害情報を共有化することによる事故災害の未然防止・教訓化・再発防止等の取組による組織的対応力の強化

キ 地域の力を活かして子どもをはぐくむ

(ア) 地域資源の活用

- ・地域人材の活用、地域活動への参加等、地域の資源を活用した教育活動を通して、社会の一員としての自覚の芽生えと地域を愛する心の育成

(イ) 家庭教育支援

- ・児童虐待やヤングケアラーの早期発見・早期対応とともに、保護者支援に必要な関係機関との連携強化

(ウ) 安全対策

- ・安全ボランティア・PTA・地域関係諸機関・団体との連携による、学校・家庭・地域で子どもたちを見守る体制を継続・発展させる取組の充実

ク 地域を学び、郷土を大切にすることをはぐくむ

(ア) 自然・歴史についての学習の充実

- ・木津川市社会科副読本「私たちの木津川市」の積極的な活用やフィールドワーク等の体験的な学習を通して、地域の自然や歴史にふれ、地域に愛着を持ち、主体的に地域に貢献する意欲や態度を育てる地域学習の推進

(イ) 地域資源の活用

- ・研究機関や企業、関係施設等と連携を図ったタイムリーで体験的な学習活動の推進
- ・保幼小連携、小小連携、小中連携の充実及び小高連携への発展

ケ その他

(ア) 人材育成

- ・京都府教師力養成講座担当校として、教師を目指す学生の育成に全教職員が関わることを通して、教職員の人材育成への意識、技能の向上
- ・若手教員を抜擢した校務分掌、中堅教員やベテラン教員が若手教員を指導し、支える学年経営等による人材育成の推進

(イ) 職員研修

- ・今日的な教育課題等について各部が中心となる主体的に学ぶ職員研修の場の充実（特に同和問題研修、道徳の評価についての研修等に取り組む）

(ウ) 業務改善

- ・ワークライフバランスのとれた勤務時間の適正化、会議時間の短縮、各々の専門性を活かした学年内での交換授業等、活力のある職場作りを目指した業務改善の組織的な取組の推進

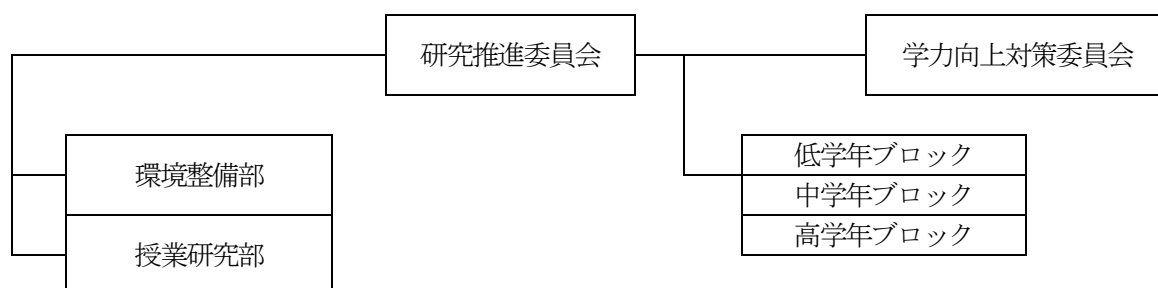
(7) 重点研究

ア 重点領域 ICT

イ 研究主題 「児童が主体的に学ぶためのICTの活用」

～児童が主体的に取り組み、協働的な学びにつなげるための手立ての研究～

ウ 研究組織 研究推進委員会を中心に、専門研究部（全校的な取組）及び低・中・高学年ブロック（授業研究）を編成し取組を進める。



エ 重点課題

- ・タブレット端末やソフトウェアの使用方法についての研修の推進
- ・教科等におけるICT機器・ソフトウェアの有効的な利活用の推進
- ・効果的な活用場面についての検証

木津川市立相楽台小学校



相楽台小学校校歌

作詞 西田 義忠
作曲 森本 陽三郎

一 ふるさとの

はるかな歴史 しのばせて
木犀かおる 木津の野辺
心とからだ すこやかに
みんな仲よく 学びます
わたくしたちの 相楽台
相楽台小学校

二 夢うかべ

千古の流れ とうとうと
水面きらめく 木津の川
共に手を取り おおらかに
真実の道を 歩みます
わたくしたちの 相楽台
相楽台小学校

三 あたらしい

世紀に映える けいはんな
文化学術 拓くまち
未来をになう よろこびに
理想の花を 咲かせます
わたくしたちの 相楽台
相楽台小学校

郵便番号 619-0223
所在地 京都府木津川市相楽台5丁目17番地1
電話 (0774) 72-4005
FAX (0774) 72-4400
E-mail saganakadai-es@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/saganakadai-es/>

1. 沿革

- 平 5. 4. 1 木津町立高の原小学校より、分離・独立し、開校する（4月5日開校式）
- 5. 4. 1 平成5・6・7年度国際理解教育推進モデル校として指定を受ける（京都府教育委員会、木津町教育委員会）
- 5. 4. 7 第1回入学式（入学生39名）児童数190名
- 5.10. 8 アメリカ、オレゴン州教育視察団学校訪問
- 6. 3.12 近畿テレビ「教育の窓」で本校の国際理解教育放映
- 6. 3.19 第1回卒業式（卒業生28名）
- 6. 5.25 中国、天津市少年宮学校訪問
- 6.11.20 よい歯の学校表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
- 7.11 よい歯の学校特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
- 8. 3 国際理解教育3年間のまとめ冊子刊行
- 8.11.6, 14 第1回国際理解教育授業研究自主発表会
- 8.12.12 中国教育視察団学校訪問
- 9. 5.16 英国教育視察団学校訪問
- 9. 6.11 校歌発表会
- 9.10.16 全日本よい歯の学校表彰受賞（社団法人日本学校歯科医会）
- 9.11.12 第2回国際理解教育授業公開
- 10. 1.19 京都府健康優良学校努力校受賞
- 10.10.27 府小研国語部研究協力校として実践発表
- 11. 4. 1 平成11・12年度教育実践パイロット校（総合的な学習について）指定を受ける（京都府教育委員会）
- 12.11.14 教育実践パイロット校「総合的な学習」研究発表会（京都府教育委員会・木津町教育委員会）
- 13. 4. 1 国立教育政策研究所指定
平成13年度教育課程研究指定校の委嘱を受ける（「総合的な学習の時間」）
木津町教育委員会研究指定（3年次）（「総合的な学習の時間」）
- 13.11.27 「総合的な学習の時間」研究発表会
- 14. 2 コンピュータ42台設置
- 14. 5 「人権の花」運動実施校委託（京都地方法務局・京都府人権擁護委員連合会）
- 14. 8.27 学校歯科保健優良校表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
- 14. 9. 1 学校評議員制度発足
- 14.11. 6 創立10周年記念植樹
- 14.11.16 創立10周年記念式典
- 15. 3.14 「人権の花」運動感謝状伝達式
- 16. 2.27 木津町地域イントラネット基盤整備完了
- 16. 4 木津町地域イントラネット一部運用開始
- 16. 4. 1 平成16・17年度京都府教育委員会指定「京都夢・未来校」の指定を受ける（「理科」）
- 16.10.21 「京都夢・未来校」指定1年次授業公開（「理科」）

- 17. 11. 10 「京都夢・未来校」理科教育研究発表会
- 18. 11. 18 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
- 19. 3. 12 木津川市誕生に伴い、木津川市立相楽台小学校と改称
- 19. 8. 24 学校歯科保健優良校表彰 特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
- 19. 11. 17 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
- 20. 8. 22 学校歯科保健優良校表彰 特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
- 20. 11. 15 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
- 21. 8. 20 学校歯科保健優良校表彰 特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
- 21. 11. 14 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
- 22. 8. 21 学校歯科保健優良校表彰 特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
- 22. 11. 13 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
- 23. 8. 19 学校歯科保健優良校表彰 特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
- 23. 11. 12 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
- 24. 4. 1 木津川市「栄養教諭を中核とした食育推進事業」実践中心校
- 24. 11. 10 ファミリー参観（国語科を中心とした伝え合う力を育む学習や取組）
- 25. 4. 1 「土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業」土曜教育実践研究指定校（～平成30年）
- 25. 5. 29 「測量の日」記念事業「測量体験学習」実施（一般社団法人 京都府測量設計業協会）
- 25. 11. 9 ファミリー参観（国語科を中心とした伝え合う力を育む学習や取組）
- 26. 4. 1 平成26・27年京都府学校給食研究会研究推進委嘱校
- 26. 11. 9 ファミリー参観（食育を中心とした「食 Smile・Powerful」発表会）
- 27. 4. 1 平成26・27年京都府学校給食研究会研究推進委嘱校
- 27. 11. 7 土曜活用授業日・「食 Smile・Powerful」発表会
- 27. 11. 17 平成27年京都府学校給食研究会京都府学校給食研究発表会
- 28. 11. 26 土曜活用授業日・「ことはぐ発表会」（～令和元年）
- 29. 4. 1 平成29・30年度京都府教育委員会指定「学力向上システム開発校」
文部科学省「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」研修協力校
- 30. 1. 20 創立25周年記念行事
- 30. 3. 6 創立25周年記念植樹
- 31. 1. 29 平成29・30年度京都府教育委員会指定「学力向上システム開発校」研究発表会
- 令 1. 10. 26 土曜授業日・「ことはぐ発表会」
- 4. 11. 30 創立30周年記念行事

2. 教 育

(1) 教育方針

学習指導要領、「第2期京都府教育振興プラン」及び木津川市の方針に基づき、包み込まれているという感覚を土台に児童の自己肯定感をはぐくみ、「主体的に学び考える力」「多様な人とつながる力」「新たな価値を生み出す力」を身につけた、より良い社会と幸福な人生を創り出せる人間の育成に努める。

(2) 教育目標

豊かな教育活動を通して、実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育み、児童に「生きる力」を培う。

ア 深く考え、主体的に見通しを持って学習に取り組むとともに、創造性あふれる児童を育成する。

イ やさしい心と豊かな感性をもち、なかよく助け合い、励まし合う児童を育成する。

ウ 何事にも責任をもって、ねばり強く最後までやりぬく児童を育成する。

エ 生命の尊さを自覚し、自他の健康安全の維持管理に努める児童を育成する。

オ 豊かな自然や文化と伝統を尊重するとともに、国際感覚を身に付けた児童を育成する。

(3) めざす児童像

ーかしこく やさしく たくましく 一生懸命やりぬく子ー

○深く考える子 ○やさしい子 ○元気な子 ○ねばり強くたくましい子

(4) めざす教師像

○愛情と厳しさをもち、児童に信頼され親しまれる教師

○健康で明るく、活動性に富んだ教師

○信頼と協調で結ばれた組織的な教師

○仕事と家庭生活とのバランスを保ちながら、常に研究と修養に励み、保護者や地域社会の信託に応える教師

(5) 経営方針

ア 基本方針

児童にとっては魅力ある学校、家庭及び地域社会にとっては開かれた学校を目指すとともに、特色ある学校づくりを通して教育の活性化を図り、児童に「生きる力」を培う。

—【こんな学校に～今年度の重点事項～】—	
◎ 笑顔で挨拶	明るい学校
◎ 進んで学習	楽しい学校
◎ きれいにお掃除	美しい学校

イ 本年度の重点

(ア) 質の高い学力をはぐくむ

基礎・基本と共に、一人一台端末の活用や「主体的・対話的で深い学び」の充実を通して、課題解決能力を培う。

(イ) 豊かな心と規範意識をはぐくむ

互いの個性や価値観の違いを認め、望ましい集団活動を通して他者との信頼関係を築く。

(ウ) 健やかな体をはぐくむ

自発的に健康を守ろうとする態度を養う。

(エ) 地域の力を活かして子どもをはぐくむ

「安全・安心ネットワーク会議」や「ほっぷ広場」等と連携し、開かれた学校づくりと児童の安全確保に努める。

ウ 本年度重点研究テーマ

「ゴールに向かって主体的に学び続ける児童の育成」

～自分の思いや考えを発信できる国語学習の研究～

(6) 指導の重点

[質の高い学力をはぐくむ]

ア 児童が自らの学習をプログラムする授業改善を継続する。家庭学習ステップアップ週間を契機に自らの学習習慣を振り返らせる。(学びに向かう力、人間性等の涵養と学習習慣)

イ デジタルドリルの活用を進めるとともに、朝学習や特色ある教育活動「ことはぐタイム」、放課後補習「ホップアップ学習」等を充実させる。(基礎的・基本的な知識・技能)

ウ 校内重点研究「自分の思いや考えを発信できる国語科学習」を通して、ゴールに向かって主体的に学び続ける児童の育成を図る。(活用する力)

[豊かな心と規範意識をはぐくむ]

ア 「考え、議論する」ための中心発問や評価のあり方を軸に、多面的・多角的に自己の生き方について考えを深める授業改善を行う。(道徳教育)

イ 望ましい集団活動を通して互いの個性を認め合い、協力する楽しさを味わうことで、生徒指導の「教育的予防」を図る。(生徒指導)

ウ 学校図書館を学習情報センターとしても機能させるとともに、読み聞かせ等を活用し児童の読書の幅を広げる。(読書活動)

[健やかな体をはぐくむ]

ア アレルギーに対する児童の理解を深めるとともに、日常的な給食指導や給食週間等の取組を通して、食に対する意識を高める。(食育)

イ 年間指導計画に沿って体育科の全ての領域を計画的・段階的に指導する。休み時間や家庭でできる体力作りにも取り組む。(体力)

ウ 睡眠を含む日常指導やメンタルヘルス教育等を通して、自分の心身の健康に関心を持ち、自発的に健康を守ろうとする態度を養う。(健康)

[一人一人の個性を伸ばし、社会の形成者としての資質をはぐくむ]

ア 人権週間を始め全ての教育活動において、他者を尊重しつつ自己主張する体験を通して、互いの個

性や価値観の違いに気付かせる。（人権教育）

イ 通常の学級におけるユニバーサルデザイン化を推進するとともに、障害に対する理解教育を通して個性を認め合う実践力を培う。（特別支援教育）

ウ 学級活動を要とし、キャリアパスポートを活用して自己の成長に気付かせ、学ぶことと将来とのつながりを見通させる。（キャリア教育）

エ ICTも活用し、各幼保こども園と連携して児童理解を深め、交流を活性化する。貧困対策として、児童の些細な変化に留意する。（幼児期の教育・貧困対策）

[社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ]

ア 重点研究とも連動させ、一人一台タブレットを活用した学習を推進する。計画に沿い、情報モラルに対する正しい認識を育てる。（情報教育）

イ 外国語専科教員や日本語指導教員と連携し外国語教育を推進するとともに、ICTも活用しながら異文化に対する学習に取り組む。（グローバル化への対応）

ウ 美化委員会も活用しながら、校内の美化に取り組む。4年生を中心に、市まち美化推進課等と連携した環境学習を行う。（環境教育）

[魅力ある・信頼される学校をつくる]

ア 毎週金曜日に打合せの時間を設け、ブロック学年や校務分掌等でPDCAサイクルによる取組推進が行えるようにする。（学校の組織力と教職員の資質）

イ 国語科を中心とした「自分の思いや考えを発信できる」コミュニケーション力の育成の研究を通して、特色ある学校を創る。（学校づくり）

ウ 毎月の点検を軸に安全な環境の維持・改善に努めるとともに、地域学校協働本部等の地域の協力を仰ぐ。（教育環境）

[地域の力を活かして子どもをはぐくむ]

ア 保護者の悩みを丁寧に聞き、SCやSSW、南山城相談支援センター等と連携しながら保護者支援を図る。（子育て支援）

イ 「家庭学習の手引き」や学校・学年・学級だより、HP、学級・個人懇談会等を通して、家庭教育に関する情報を提供する。（家庭教育支援）

ウ 土曜参観で「子ども110番の家」を実際に見に行く等、児童自らが安全について考える機会を設ける。地域ぐるみの安全対策を講じる。（安全対策）

[地域を学び、郷土を大切に作る心をはぐくむ]

ア 教職員が、相楽台地域や木津川市を知るための研修を計画・実施する。そこで学んだことを、授業改善に還元していく。（自然・歴史についての学習）

イ 読み聞かせボランティア等、これまでの地域人材の方々に引き続きご協力いただくとともに、新たな地域資源を探る。（地域資源）

木津川市立木津川台小学校



木津川台小学校校歌

作詞 丹田長史
作曲 坂元秀樹

一、豊かな自然 輝く文化

希望に満ちた 木津川台は
みんな仲良く はげみ合い
明るく強く すくすく伸びる
未来を見つめ 学ぼう共に

二、明日を開く 輝くいのち

楽しさ一杯 木津川台は
みんな一緒に 助け合い
明るく強く 元気に育つ
やさしい友と 学ぼう我ら

三、真理を求め 輝くところ

歴史を創る 木津川台は
みんな元気に 鍛え合い
明るく強く 豊かに生きる
世界の友と 学ぼう共に

郵便番号 619-0225
所在地 京都府木津川市木津川台2丁目4番地
電話 (0774) 73-2418
FAX (0774) 73-2420
E-mail kizugawadai-es@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/kizugawadai-es/>

1. 沿革

平成3年	4月	1日	木津町立木津川台小学校開校 児童数 56名
4年	3月	7日	前庭時計台設置
	5月	1日	児童数 87名
5年	5月	1日	児童数 97名
6年	2月	26日	校歌発表会開催
	5月	1日	児童数 126名
7年	4月	1日	ふるさと交流学習促進事業1年次 (文部省委嘱、京都府教育委員会指定校)
	5月	1日	児童数 151名
	8月	6日	丹後町立竹野小学校との宿泊交流(於竹野小学校)
8年	4月	1日	ふるさと交流学習促進事業2年次 (文部省委嘱、京都府教育委員会指定校)
	5月	1日	児童数 155名
	7月	22日	丹後町立竹野小学校との宿泊交流(於木津川台小学校)
	11月	1日	コンピュータ22台設置
	11月	29日	国際理解促進事業として留学生と交流
9年	3月	6日	国際理解促進事業として留学生と交流
	5月	1日	児童数 199名
10年	4月	1日	国際理解教育推進事業(木津町教育委員会指定校)
	5月	1日	児童数 251名
11年	2月	18日	国際理解教育交流発表会開催
	2月	26日	全国教育美術展地区学校賞受賞
	5月	1日	児童数 307名
12年	4月	1日	特別支援学級設置
	5月	1日	児童数 338名
	11月	18日	創立10周年記念式典
13年	3月	31日	特別支援学級廃止
	5月	1日	児童数 368名
14年	5月	1日	児童数 428名
15年	4月	1日	特別支援学級設置 木津町教育委員会指定教育実践研究校(国際理解教育) 豊かな体験活動推進事業(「地域間交流」)として京都府より 委託、地域交流推進校として指定(15・16年度)
	5月	1日	児童数 465名 全国JA小中学校交通安全ポスターコンクールで学校賞受賞
16年	4月	1日	京都府豊かな体験活動推進事業地域交流推進校指定(2年次) 国際理解教育推進事業(木津町教育委員会指定校)
	5月	1日	児童数 499名
	11月	26日	「英語活動」研究発表会開催
17年	5月	1日	児童数 543名
18年	4月	1日	人権教育総合推進地域事業推進協力校(文部科学省指定)
	5月	1日	児童数 599名

19 年 3 月 12 日	三町合併による木津川市移行のため、 「木津川市立木津川台小学校」に名称変更
4 月 1 日	人権教育総合推進地域事業推進協力校（2 年次）
5 月 1 日	児童数 620 名
10 月 25 日	平成 19 年度学校安全優良校表彰
12 月 8 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場
20 年 4 月 1 日	人権教育総合推進地域事業推進協力校（3 年次）
5 月 1 日	児童数 625 名
12 月 6 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場（4 位入賞）
21 年 5 月 1 日	児童数 650 名
12 月 5 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場
22 年 3 月	増築校舎完成
5 月 1 日	児童数 672 名
11 月 12 日	創立 20 周年記念学習発表会
12 月 4 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場
23 年 5 月 1 日	児童数 682 名
12 月 3 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場
24 年 5 月 1 日	児童数 674 名
25 年 5 月 1 日	児童数 683 名
12 月 7 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場
26 年 5 月 1 日	児童数 649 名
12 月 6 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場
27 年 5 月 1 日	児童数 620 名
8 月 31 日	体育館天井耐震工事終了 児童トイレ洋式化工事終了
11 月 12 日	創立 25 周年航空写真撮影
12 月 5 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場（優勝）
28 年 5 月 1 日	児童数 579 名
12 月 3 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場
29 年 5 月 1 日	児童数 529 名
30 年 5 月 1 日	児童数 495 名
令和元年 5 月 1 日	児童数 446 名
2 年 5 月 1 日	児童数 401 名
11 月 10 日	創立 30 周年航空写真撮影
3 年 3 月	創立 30 周年記念誌発行
5 月 1 日	児童数 330 名
4 年 5 月 1 日	児童数 292 名
5 年 5 月 1 日	児童数 270 名

2 教育

(1) 教育目標

「明るく 強く 心豊かに生きる子の育成」

- ア 確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ児童を育てる。
- イ 心身共に健康でたくましい児童を育てる。
- ウ 豊かな感性をもち、創造性あふれる心豊かな児童を育てる。
- エ 生命と自然を大切にし、文化と伝統を尊重する児童を育てる。
- オ 個人の尊厳と人権を尊重し、国際性豊かな児童を育てる。

(2) めざす児童像

- ア よく考える子・・・確かな学力。自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力など
- イ たくましい子・・・心身の健康。たくましい体や体力、行動力など
- ウ 心の豊かな子・・・生命を尊重する心、思いやりや正義感。豊かな人間性や社会性、国際性など

(3) めざす学校像

- ア 明るく楽しい学校・・・児童が教職員や友達と明るく触れ合いながら、互いに個性を発揮して意欲的に学び、自己実現のできる学校
- イ 夢と希望のある学校・・・児童が将来の夢や希望をもち、自らよりよい生き方を考え、自ら学び、主体的に行動する学校
- ウ 美しく魅力のある学校・・・児童が愛着をもち、誇りをもって学ぶ学校。児童の感性や好奇心・探究心に働きかけて、豊かな情操を育み、児童の学ぶ意欲や自発的な活動呼び起こす学習環境の学校
- エ 創意あふれる元気な学校・・・児童と教職員が共に元気で、何事にも創意工夫して積極的に取り組む活発な学校
- オ 特色ある開かれた学校・・・保護者や市民の信託と期待に応える教育活動を展開する特色のある開かれた学校
家庭や地域と強く連携し、教育的な機能を相互に補完しあい共に子どもを育てていく学校

(4) めざす教師像

- ア 心身ともに健康で、互いに連携し、協働する教師
- イ 人間性豊かで、教育への創意と情熱に溢れる教師
- ウ 使命と責任を自覚し、不断の研さんに努める教師
- エ 家庭や地域との連携に努めきめ細かく対応して児童・保護者から信頼される教師

(5) 学校経営方針

めまぐるしく変化していく社会において、変化を前向きにとらえて主体的に行動し、よりよい社会と幸福な人生を作り出せる人の形成を目指すため、学習指導要領、京都府教育振興プラン及び木津川市教育振興基本計画に基づき、児童の実態を把握し、家庭や地域社会との連携を深めて本校教育の一層の充実に努める。

- ア すべての教育活動を通して、主体的に行動し、新しい時代を拓く児童の育成に向け、学校教育目標や目指す児童像等の具現化を図る。
- イ 基礎・基本の徹底と言語活動の充実に努め、学力の充実・向上と個性を伸ばす教育を推進する。
- ウ 規範意識やコミュニケーション能力を高め、豊かな人間性をはぐくむ教育を推進する。
- エ 教職員の連携・協働体制を確立し、児童が「包み込まれているという感覚」を実感できる教育活動の基盤づくりを推進する。
- オ 家庭や地域社会とつながり、信頼される学校づくりを目指す。
- カ ICT の積極的な活用により、個別最適な学び・協働的な学びを充実させる。

(6) 本年度の努力点

- ア 学習指導要領の趣旨に基づく教育活動の充実
授業改善を通して、主体的・対話的で深い学びを目指した取組を進める。
- イ 児童が思いを豊かに表現し合い、学びを深められる指導についての研究・実践
学習意欲を高め、各教科において、聴く・話す・話し合う力の向上を目指し、学びを深

- められるような実践を推進する。
- ウ 人権教育・道徳教育の推進
あらゆる教育活動を通して、規範意識や基本的人権を尊重する心を育て、将来を展望する力の育成に努めるとともに、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
- エ 特別支援教育の推進
発達障害等のある児童が学びやすい授業は、結果的に全ての児童にとってわかりやすい授業であるという視点を持ち、授業改善を図る。さらに、特別な支援が必要な児童の個々の課題、ニーズに応じた指導の充実を図る。
理解教育および校内研修を計画的に実施するとともに、関係機関との連携を密にした取組を推進する。
- オ ICT の積極的活用
ICT を効果的に授業の中で積極的に活用し、個別最適な学び、協働的な学びの充実を図るとともに、教職員及び児童のスキルアップを図る。

(7) 本年度の指導の重点

《基礎・基本の徹底による学力の充実・向上と個性を伸ばす教育の充実》

ア 学習指導

基礎学力の充実を図り、体験的な学習や問題解決的な学習などを通して児童自らが主体的に学ぶ意欲を育てるとともに、個に応じた指導など指導方法の工夫改善に努める。

- ① 学習状況の的確な把握と指導目標の明確化による授業改善に取り組み、基礎学力の充実に努める。各教科や各領域において話し合い活動の場を設け、言語活用能力の充実に努める。
- ② 児童一人一人のよさや可能性を伸ばす授業を追求する。
- ③ 授業研究を通じた研修の充実を図り、学力の充実・向上に向けた指導体制の確立を図る。
- ④ 読書活動を教育活動の中に適切に位置付け、読書活動の充実を図る。
- ⑤ 体力づくりを通して心身の健康の増進を図る。

イ 進路指導

望ましい職業観や勤労観を身に付け、自らの進路を主体的に切り拓く能力の基礎を培う。

- ① 人間としての生き方にかかわる指導を基盤にして、自己の特性に気付かせながら将来の希望を育てる。
- ② 児童一人一人が将来どのような社会人、職業人として生きるかを、教科、道徳、特別活動などあらゆる分野で意識させるようにする。
- ③ 進路に関する指導力を高めるための研修を推進する。

ウ 特別支援教育

障害のある児童個々の教育ニーズに応じた教育課程を編成し、教育実践を進め、心豊かでたくましく生きる力を培うとともに、すべての児童の社会性を養い、好ましい人間関係を育てるための交流教育を推進する。

- ① 特別支援学級の児童における個別の指導計画による個に応じた指導内容と指導方法の工夫改善を図る。
- ② すべての児童が障害のある人について正しく理解するため、相互理解に基づく交流を学校の教育活動全体の中に位置付けて進める。
- ③ 特別な教育支援を必要とする児童の理解を深め、校内体制の整備と個に応じた指導方法の工夫改善を図る。
- ④ 特別支援教育に関する教職員研修の充実を図るとともに、関係機関との連携による相談を重視した就・修学の指導に努める。

《豊かな人間性をはぐくむ教育の推進》

エ 道徳教育

生命を大切にする心、他人を思いやる心など豊かな人間性をはぐくむ「心の教育」のかなめとして、児童の実態を考慮しながら、教育活動全体を通じて道徳性の育成を図る。特に、人権教育との繋がりを図りながら、児童の道徳的な心情を豊かにし、判断力を高め、実践意欲と態度の向上を図ることによって道徳的実践力の育成に努める。

- ① 道徳教育の全体計画、学級における指導計画及び道徳の時間の年間指導計画に基づき、児童の心に響く指導の徹底に努める。
- ② 豊かな体験活動及び豊かな心を育てる読書活動などを展開し、児童の道徳性を育てる。
- ③ 授業公開などを通して、学校における道徳教育に対する保護者や地域社会の理解を深める。

オ 人権教育

教育活動全体に人権教育を適切に位置付け、児童の実態を的確に把握して基本的人権や同和問題をはじめとするさまざまな人権問題についての正しい理解や認識の基礎と、互いの個性や価値観の違いを認め、自己を尊重し他者を尊重する態度や実践力を育てる。

- ① 「新京都府人権教育・啓発推進計画」並びに京都府教育委員会並びに木津川市教育委員会の「学校教育の重点」を踏まえた人権教育推進計画を策定し、全校体制を整え、日常的な点検をしながら実践に努める。
- ② 人権教育の推進に当たっては、これまでの同和教育の中で積み上げられてきた成果と手法への評価を踏まえ、すべての人の基本的人権を尊重する心をはぐくむとともに、同和問題を人権問題の重要な柱として位置付け、あらゆる人権問題の解決に向けた実践的態様の育成を図る。
- ③ 個々の課題に即した指導による基礎学力の定着・向上に努めるとともに身近な問題について、自ら気づき、主体的に考え、解決しようとする態度を育成する。
- ④ 学校・家庭・地域が一体となった人権教育を進めるとともに、校種間の連携及び学校間の交流を強化し、児童の発達段階に即し、道徳の時間との繋がりを図りながら体系的・計画的な人権教育を推進する。
- ⑤ 研修は日常的・系統的に進め、認識の深化と指導力の向上に努める。

カ 生徒指導

人間の尊厳という観点に立ち、教育活動全体を通じて、児童の個性の伸長と社会性の育成を図り、よりよい人格の形成を促す。そのため、児童一人一人の生活実態の把握や内面理解に努め、個々の課題の解決を図るとともに、望ましい集団活動を通して、人間としての生き方を自覚して実践する力を育てる。

- ① 基本的な生活習慣を確立するとともに発達段階に応じた判断力や自律心を育成し、児童が自ら学校生活について考え、存在感や充実感をもった楽しい学校生活を送るための取組を進める。
- ② 学校行事や児童会の集会活動、ボランティア活動等を通じて心の触れ合いや信頼関係の大切さと集団の規律を自覚させ、自主性や社会性を育てる。
- ③ 不登校やいじめなどについては、教育相談機能を充実させるとともに、問題事象に対応する指導体制を確立し組織的に問題解決にあたる。また、問題事象の未然防止に努める。

キ 健康安全教育

生命の尊重を基盤とし、健康に関する総合的な認識を高めながら、基本的な生活習慣を確立させ、生涯を通じて心身ともに健康で安全に生きるたくましい実践力を身につけた児童を育成する。

- ① 健康安全教育の推進体制を機能させ、発達段階に応じた指導内容や指導方法を工夫し、系統的・総合的・組織的に取り組む。
- ② 喫煙・薬物乱用などの防止及び歯の健康や生活習慣病の予防についての理解を深め、食生活を自己管理する能力と態度を育成する。
- ③ 危機管理体制を整備・充実し、日常的な安全指導と安全管理を徹底し、校内及び登下校の安全確保と不審者対応の確立に努める。

《社会の変化に対応する教育の推進》

ク 国際理解教育

国際社会に主体的に生きる日本人としての基礎的資質を養うため、人権尊重の精神を基盤にして、我が国の文化と伝統等を尊重するとともに、諸外国の文化や伝統を理解し尊重する態度を育成する。

- ① 国際理解教育に関する年間指導計画を充実させ、教育活動全体を通じて組織的・計画的な実践に努める。
- ② 広い視野を持ち、自分や相手のよさを認めあい、異なる文化を持つ人々と共に生きていく資質や能力を育てる。
- ③ 自分の考えを持ち、相手に伝わるように表現する態度を養うとともに、外国の人々とのコミュニケーション能力の育成に努める。

ケ 環境教育

身近な環境や環境問題に関心を持ち、人間と環境とのかかわりについて理解を深め、環境の保全やよりよい環境の創造のために主体的に行動する実践的態様の育成に努める。

- ① 環境教育に関する各教科等の指導内容との関連を明確にした年間指導計画に基づき、教育活動全体を通じて計画的・総合的・系統的な指導に努める。
- ② 身近な環境に意欲的にかかわり、問題を見だし、考え、判断して、よりよい環境づくりや環境の保全にすすんで参加しようとする実践的態様を養う。

- ③ 環境教育関連活動として、特別活動や総合的な学習の時間での取組の充実を図るとともに、学校、家庭、地域社会等との連携を図り、循環型社会を目指した環境教育の推進に努める。

コ 情報教育

情報化社会の進展に伴い、情報及び情報手段を主体的に選択し、活用する能力と態度を育成する。

- ① 教育活動全体を通じて情報教育が推進できるよう、各教科等の関連性を図りながら、年間指導計画に位置づける。
- ② 児童の興味・関心に応じた主体的な学習を展開するなど、指導方法の工夫改善に努める。
- ③ 情報機器を身近な道具として慣れ親しみ、抵抗感なく使いこなせる能力と態度を育成するとともに、情報の価値についての理解を深め、情報モラルに関する指導に努める。

【重点研究】 「自ら課題を見つけ、友達と協働し、学びを深める児童の育成」
ー理科・生活科の学習を通してー

木津川市立梅美台小学校



梅美台小学校校歌

一 緑も豊かな 高台に

ゆかしく香る 梅の花

楽しく学ぼう 手をとりあつて

瞳がきらきら 明るい子

望みを高く 明日を拓き

さあ 未来へ 翔こう

二 小鳥もさえずる 学び舎に

うす桃色の 花水木

仲良く遊ぼう 肩くみあつて

いつでも輝く 元気な子

夢みる翼 大きく広げ

さあ 世界へ 翔こう

作詞 宇田 弘一
作曲 巽 稔史
森本 陽三郎

郵便番号 619-0215

所在地 京都府木津川市梅美台四丁目26番地

電話 (0774) 73-6421

FAX (0774) 73-6423

E-mail umemidai-es@kizu.ed.jp

HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/umemidai-es/>

I 沿革

平成

- 9. 4. 1 学研都市の建設に伴い「木津小学校梅谷分校」を廃し、旧分校校区と梅美台・州見台地域を校区として開校（児童数112名）
- 10. 5. 26 中国天津市児童使節団来校
- 11. 4. 1 京都府小学校教育研究会図書館教育の研究協力校（平成11年度～平成12年度）
5. 29 PTA発足に伴いPTA設立総会開催
- 12. 11. 16 京都府小学校教育研究会図書館研究大会を本校で開催
- 13. 4. 1 特別支援学級開設、「たんぽぽ学級」と命名
5. 28 中国天津市児童使節団来校
6. 24 読書活動の優秀実践校として文部科学大臣表彰受賞
- 14. 2. 8 木津町指定国際理解教育実践発表会を開催
9. 1 学校評議員設置
- 15. 2. 28 校歌制定
- 16. 11. 1 児童数の増加に伴い、仮設校舎（2階建て、普通教室5室）建設
- 17. 10. 26 京都教育大学現代GP「知的財産創造・活用力を育成する教員の養成」事業において実施する小学校における知的財産創造・活用力育成のための教材化モデル及び授業パッケージ開発のための研究協力校（先端技術領域）
- 18. 4. 1 児童数の増加に対応するため、多目的ホールを普通2教室に改装
11. 25 創立10周年記念行事開催
- 19. 3. 12 木津川市誕生に伴い、木津川市立梅美台小学校と改称
- 19. 4. 1 州見台小学校を分離（全11学級、児童数256名となる）
- 20. 9. 26 「やましろ地域学習推進研究協力校」（平成20年度・21年度）
11. 15 京都教育大学現代GP事業研究協力校最終年度発表
- 21. 4. 1 児童数増加に対応するため、プレハブを教室として使用
1. 14 京都府山城教育局指定「やましろ地域学習推進研究協力校」実践発表会
- 22. 2. 1 京都府山城教育局指定「育ちと学びをつなぐ実践交流会」実践発表
- 23. 4. 1 京都府総合教育センター「ユニバーサルデザイン授業」の研究協力校
- 24. 4. 1 児童数の増加に対応するため、6教室を増築
京都府総合教育センター「ユニバーサルデザイン授業」の研究協力校（2年次）
- 25. 4. 1 児童数の増加に対応するための新校舎4階建16教室増築に伴い、プレハブ校舎4教室を使用
- 26. 4. 1 新校舎4階建16教室使用開始、プレハブ校舎4教室解体
京都府教育委員会「教師力向上」教育実践力継承事業協力校
- 28. 5. 25 創立20周年記念航空写真撮影
- 30. 11. 6 京都府山城教育局主催「山城地方教育実践フォーラム」での公開授業

2 教育

(1) 学校教育目標

「豊かな心と優れた感性を持ち、心身ともに健やかに、ひとり立ちできる児童の育成」

(2) めざす児童像

- なかよく 優しく思いやりがあり 感謝できる子
- かしくく めあてを持ち すすんで学ぶ子
- たくましく 元気で くじけず やり抜く子

(3) 学校経営方針

ア 学力をはぐくみ、個性や能力の伸長を図る教育の推進

京都府教育振興プランの中で「生きる力」をより具現化した三つのはぐくみたい力（主体的に学び考える力・多様な人となつながら力・新たな価値を生み出す力）と本校のめざす児童像との関係を「主体的に学び考える力」＝「かしくく」、「多様な人となつながら力」＝「なかよく」、「新たな価値を生み出す力」＝「たくましく」とする。具体的には、木津川市教育振興基本計画にある「共に『学び』『喜び』『成長し』未来を生きる子ども」をはぐくむことを念頭に、いつも夢を持ち、自分や他者を大切に、どんな困難な状況にあっても、共に粘り強く対処し、未来を切り拓いていくことのできる「生きる力」にあふれた“うめっこ（梅っ子）”を育成する。また、児童の学力及び生活の実態を踏まえ、学級の安定化を図るとともに、指導方法の工夫改善を図ることにより学力の確実な定着及び向上を図る。

イ 規範意識や人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性の成長と多様性の尊重

すべての教育活動において道徳教育、人権教育を位置付け、自他ともに大切にするとともに、互いに協働し、それぞれの個性や社会の多様性を尊重し合う教育の推進を図る。

ウ 教職員の資質・能力の育成・向上

教職員の資質・能力の向上のために、「教師力」（学級経営力・授業力・生徒指導力等）の育成を目指した組織的な取組を推進する。

エ ユニバーサルデザインを意識した教育の推進

ユニバーサルデザインによる教育をさらに推し進めることにより、学習規律及び生活規律を確立するとともに、「学び方を学ばせる」教育を推進する。

オ 保護者・地域との連携推進

学校だよりやHPによる情報発信及び地域学校協働本部事業、「きずなプロジェクト」と連携することにより、保護者・地域社会との一層の連携を強め、期待に応える学校づくりを目指す。

- 豊かな学びの創造と確かな学力の育成
- 豊かな人間性の育成と多様性の尊重
- 健やかな身体の育成
- 学びを支える教育環境の整備
- 学校・家庭・地域の連携・協働と社会教育の推進
- 文化振興と文化財の保存・継承・活用

(4) 経営の重点

ア 豊かな学びの創造と確かな学力の育成

(ア) 基礎・基本の確実な定着

- 「一人1台端末」の効果的・効率的な活用により児童一人一人の学習意欲に応じた指導・支援を行う。
- 教科担任制（理科・外国語）を導入し、授業の質の向上を図る。
- 「全国学力・学習状況調査」「京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート」及び市統一学力テストにより、児童の学力実態を的確に把握、分析し、課題を明確化するとともに児童の実態に即した、より一層の授業改善に努める。

- 木津川市の授業スタンダードの定着を進めるとともに主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。
- 「家庭学習の手引き」を基に 学び方を学ばせ、家庭学習の習慣化を図る取組を行う。
- 月 1 回家庭学習の日を設け、自主学習の充実を図る。
- 読書の取組等を充実させ、言語能力の育成を図る。

(イ) 活用力・対応力の育成

- 教科及び領域において適切に話し合い活動を設定し、児童の学習に対する主体的な態度の育成と学力向上を図る。
- ICT機器やデジタル教材等を活用するとともに、新聞やインターネット書籍等より、児童に必要な情報を取捨選択する情報活用能力を育む取組を行う。また、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりを推進する。

(ウ) 学ぶことの意義や楽しさを感じられる多様な学び

- デジタル教科書等、デジタル教材や音声教材の効果的活用を推進する。
- 市立・府立図書館と連携し、調べ学習や読書を支援する取組を充実させる。
- 特別活動等の異年齢集団での取組により、児童間の好ましい人間関係を築く取組を行う。

(エ) 京都と日本を知り、世界に通用するグローバル人材の育成

- 外国語教育を通して異文化を理解・尊重する資質やコミュニケーション能力の育成を図る。
- シンガポールの日本人学校と連携し、国際理解教育を推進する。

イ 豊かな人間性の育成と多様性の尊重（規範意識や人を思いやり尊重する心など）

(ア) 人権教育の推進

- 教育活動全体のあらゆる機会に人権教育を適切に位置付け、一人一人を大切にされた教育の推進を図る。
- 人権尊重の理念や同和問題（部落差別）等、様々な人権問題に関する学習及び多様性を尊重する学習を充実させる。
- 教職員一人一人が、インターネット社会の中で多様化・複雑化する人権問題についての理解と認識を深め、教職員の人権感覚を育むとともに、実践力指導力を向上させるための研修を行う。また、児童と教職員の信頼関係づくりに努める。
- 社会情勢の変化に伴い多様化・複雑化する人権問題の解決に向けて、主体的に行動できる力を育成する人権学習の充実を図る。

(イ) 豊かな心を育む道徳教育と読書活動

- 特別の教科道徳では、教科書や効果的な資料の活用及び体験活動を通して、多様な他者を尊重する態度を育て、自己肯定感を高める指導の充実を図る。また、児童の心に響く授業を展開することにより、道徳的な心情、道徳的判断力、実践意欲と態度を養い、道徳的实践力の醸成に努める。
- 児童の実態に即した資料等を活用し、児童の内面に迫る道徳授業を実践する。
- 日々の読書活動及びボランティアによる読み聞かせ等をはじめ、読書活動を通じた想像力や表現力の育成に取り組む。
- 府立図書館の「学校支援セット」を活用し、調べ学習や読書の機会を充実させる。

(ウ) 自立と社会参加に向けた特別支援教育

- 授業のユニバーサルデザイン化を推進する。
- 「ことばの教室」を開設し、専門的な知識を持つ教員による通級指導を充実させる。
- 配慮を必要とする児童の個別の指導計画や支援計画等を作成し、個々のニーズにあった教育を行う。
- ICT を活用し、様々な障害に対して適切な指導が展開できるよう工夫を図る。

(エ) 人格形成の基礎を培う幼児教育との接続

- 就学支援に関する保護者への啓発を適切に行う。
- 保幼小接続カリキュラムを作成するとともに、連絡会等での情報交流、幼児と児童の交流活動を実施し、円滑な接続に努める。

(オ) いじめや暴力行為の防止対策の充実

- 学校いじめ防止基本方針に基づき、「学校いじめ対策会議」を配置し、いじめの未然防止の取組を進めると共に日常の情報交換等によるいじめ等の問題事象の早期発見・早期対応及び未然防止に向けた取組を推進する。
- 教職員間の共通理解の徹底を図るとともに、生徒指導の 3 機能を活かした教育活動を行う。

(カ) 不登校児童に対する学びの保障

- 「心の居場所サポーター」の活用による、居場所づくり及び支援を充実させる。
- 「スクールカウンセラー」や「まなび・生活アドバイザー」等と連携した教育相談を実施する。
- 「木津川市教育支援センター」と連携した取組の充実に努める。

ウ 健やかな身体の育成

(ア) 学校や地域におけるスポーツの機会の充実

- 「体力テスト」の結果分析を行い、児童の実態を踏まえた体育科の授業や行事等を行う。また、学校保健会を開催し、学校三師や保護者からの助言や意見を踏まえ、計画・実践する。
- 健康な体づくりに意欲を持たせ、体育的行事やクラブ活動（地域の大会）などへ積極的に参加する児童の育成に努める。

(イ) 健康的な生活習慣の確立と健康課題への対応

- 家庭と連携した生活習慣の確立を進める。
- 食に関する指導を通して、望ましい食習慣の形成や食文化の理解を深める取組を推進する。
- 計画的な保健指導の実施に努める。
- 薬物乱用防止教育をはじめ、多様化・深刻化する健康課題に対応する組織体制及び取組の充実に努める。
- 自ら安全な行動がとれる能力と態度、危機予測能力の育成に努める。

エ 学びを支える教育環境の整備

(ア) 安心・安全を守る学校危機管理

- 消防署や警察署等と連携し、防災・防犯の教育及び避難訓練を充実し、児童の安全意識・能力の向上を図る。
- 安全ボランティアや PTA の協力による安全な登下校のための取組を推進する。
- 危機管理マニュアルを見直し、様々な危機に備えるとともに、不審者の構内侵入を防ぐための危機意識を一層充実させる。

(イ) 多様な子どもたちを包み込む学びのセーフティネットの構築

- 児童の実態を踏まえ、本校独自のユニバーサルデザインの教育の発展、継承を行う。
- 日本語指導が必要な児童に対して、支援員を配置し、指導の充実に努める。
- 就・修学支援制度の紹介を適切に行う。
- 個別補充学習（ホップアップ学習等を含む）を実施し、児童のつまづき等を克服する学習支援を行う。
- 児童虐待について、早期発見・早期対応に努めると共に、関係機関との連携を推進する。

(ウ) 優れた教員の確保と資質能力の向上

- 教職員一人一人が公務員としての高い倫理観を持ち、社会的責任を自覚したコンプライアンス行動実践の取組を推進する。
- 「主体的に考える力」「多様な人となつがる力」「新たな価値を生み出す力」を念頭に置いた指導・自薦の展開を図る。また、そのための研修の充実に努める。

(エ) 教職員がいそいそと子どもに向き合える環境づくり

- 業務支援員を配置し、教員の事務負担軽減を図る。
- 衛生委員会を開催し、職場環境改善・働き方改革に努める。
- ICT 支援員を配置し、ICT に関する児童への指導、教員への助言、環境の整備を行う。
- 3年生以上での教科担任制を実施し、持ち時間の軽減を図る。

オ 学校・家庭・地域の連携・協働と社会教育の推進

(ア) 家庭の教育力の向上

- 「スクールカウンセラー」や「まなび・生活アドバイザー」を配置し、保護者に対して適切なアドバイスをを行うことができる体制を整備する。
- PTA 主催の「親のための応援塾」に協働し、新入児の保護者との交流会を開催する。

(イ) 地域の教育力の向上と地域とともにある学校づくり

- 地域学校協働本部事業及び「きずなプロジェクト」との連携を推進し、地域人材・施設及び地域資源の積極的な活用を図る。
- 登下校時の安全見守りボランティアと協働した児童の登下校の安全確保に努める。
- 義務教育 9 カ年を見据え「きずなスタンダード」（あいさつ・学習・時間・掃除）を意識し、小小連携及び、

小中連携を充実させる。

(ウ) 社会の担い手として生きる力をはぐくむ教育

- 児童の発達段階に応じた勤労観や職業観を育てるための体験的な学習を実施する。
- キャリアパスポートの適切な活用を図る。
- 教育活動全体を通して、豊かな心や公共の精神等の道徳性など、社会参画への意識高揚に努める。
- 身近な環境や環境問題に関心を持ち、理解を深める教育を推進する。

(エ) 生涯学習の振興と社会教育施設との連携

- 山城郷土資料館の施設利用を通して、地域の文化を身近に感じる取組を進める。

カ 文化振興と文化財の活用

(ア) 京都の伝統文化を守り、新たな文化を創造する感性の育成

- 木津川市にある文化財に係る催しを積極的に紹介する。

(イ) 文化芸術に親しむ環境づくり

- 芸術館紹介を実施し、豊かな感性や創造性をはぐくむ。

(ウ) 世界に誇る文化財の活用

- 4年生の郷土学習や6年生の歴史学習において、木津川市や京都府に残る歴史的な文化財等に関心を高める学習を展開する。

木津川市立州見台小学校



州見台小学校校歌

作詞 尾崎 昌功
作曲 森本 陽三郎

一 光さす 色あざやかな 学び舎に
笑顔と元気が 満ちあふれ
州見の丘に はずんでる
やさしさ ぬくもり
みんなで 広げよう
今 心の歌を 奏でよう

二 風が吹く 緑も豊かな 学び舎に
夢と希望が 満ちあふれ
州見の空に 届いてる
未来の 扉を
みんなで 開こう
今 心の歌を 響かせよう

郵便番号 619-0216
所在地 京都府木津川市州見台一丁目32番地
電話 (0774) 72-9237
FAX (0774) 72-9244
E-mail kunimidai-es@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/kunimidai-es/>

1. 沿革

平成19年 4 月	木津川市立木津小学校・梅美台小学校から分離し、 独立校として開校
平成20年 3 月	第 1 回入学式（入学生114名 全17学級 児童数510名） 校歌制定
平成20年 4 月	第 1 回卒業証書授与式（卒業生 62名） 第 2 回入学式（入学生138名 全19学級 児童数600名） 親のための応援塾開催
平成21年 3 月	第 2 回卒業証書授与式（卒業生 62名）
平成21年 4 月	第 3 回入学式（入学生134名 全23学級 児童数659名）
平成22年 3 月	第 3 回卒業証書授与式（卒業生 79名） 児童数増加に伴い、新校舎（2階建普通教室 6 室）建設
平成22年 4 月	第 4 回入学式（入学生135名 全26学級 児童数719名）
平成23年 3 月	第 4 回卒業証書授与式（卒業生 98名）
平成23年 4 月	第 5 回入学式（入学生118名 全27学級 児童数745名） 中校舎にエレベーター設置 京都府小学校教育研究会情報教育研究部研究協力校
平成24年 3 月	第 5 回卒業証書授与式（卒業生102名）
平成24年 4 月	第 6 回入学式（入学生144名 全27学級 児童数796名）
平成24年11月	京都府小学校教育研究会情報教育研究部研究協力校 中間発表会
平成25年 3 月	第 6 回卒業証書授与式（卒業生122名）
平成25年 4 月	第 7 回入学式（入学生118名 全27学級 児童数785名）
平成25年11月	京都府小学校教育研究会情報教育研究部研究協力校 研究大会
平成26年 3 月	第 7 回卒業証書授与式（卒業生137名）
平成26年 4 月	第 8 回入学式（入学生153名 全27学級 児童数810名）
平成27年 3 月	第 8 回卒業証書授与式（卒業生137名）
平成27年 4 月	第 9 回入学式（入学生137名 全27学級 児童数810名）
平成28年 3 月	第 9 回卒業証書授与式（卒業生 137名）
平成28年 4 月	第10回入学式（入学生104名 全26学級 児童数775名）
平成29年 3 月	第10回卒業証書授与式（卒業生 123名）
平成29年 4 月	第11回入学式（入学生127名 全27学級 児童数782名）
平成30年 3 月	第11回卒業証書授与式（卒業生 140名）
平成30年 4 月	第12回入学式（入学生92名 全27学級 児童数729名）
平成31年 3 月	第12回卒業証書授与式（卒業生 121名）
平成31年 4 月	第13回入学式（入学生105名 全26学級 児童数712名）
令和 2 年 3 月	第13回卒業証書授与式（卒業生 148名）
令和 2 年 4 月	第14回入学式（入学生111名 全24学級 児童数671名）
令和 3 年 3 月	第14回卒業証書授与式（卒業生 134名）
令和 3 年 4 月	第15回入学式（入学生77名 全24学級 児童数620名）
令和 4 年 3 月	第15回卒業証書授与式（卒業生 100名）
令和 4 年 4 月	第16回入学式（入学生88名 全27学級 児童数613名）
令和 5 年 3 月	第16回卒業証書授与式（卒業生 127名）
令和 5 年 4 月	第17回入学式（入学生64名 全25学級 児童数557名）

2. 教育

(1) 経営方針

学習指導要領、第2期京都府教育振興プラン、木津川市教育振興基本計画の趣旨を踏まえ、保護者・地域の願いや児童の実態を把握し、家庭や地域社会との連携、協働を深めながら学校教育目標の実現をめざす。

- ア 基礎・基本の定着及び主体的で対話的な深い学びの充実
- イ 人権感覚、自尊感情(自己効力感、自己有用感)を育成し望ましい人間関係の構築
- ウ 基本的生活習慣の確立と望ましい食習慣の形成及び安全に関する意識の向上
- エ 家庭や地域との連携や校種間の円滑な接続を推進し、特色のある教育活動の展開
- オ 学校評価や自己評価等を活かし、社会のニーズに応じた教職員の資質・能力の向上

(2) 経営方針の柱

全教職員の協働体制のもと、「理解」「主体」「協働」を重視し、一人一人を大切にする教育活動を推進する。

- ア 理解:児童の実態、保護者や地域の願い、環境や社会、必要な資質・能力に対する理解に努める。
- イ 主体:本校教員としての自覚と誇りを持ち、指導力を高めるために自ら学び判断し実践し続ける。
- ウ 協働:『全校児童を、全ての教員で見る』という認識のもと、学年集団を核として、組織的な関わりと連携を大切にする。

(3) 教育目標

「学び合い、つながり合い、高め合う児童の育成」

「自ら進んで学び、優しい心と豊かな感性を持ち、人との関わりの中でよりよく生きようとする児童の育成」

- かしこく …… めあてを持ち、進んで学ぶ子ども
- やさしく …… 優しく思いやりがあり、感謝できる子ども
- すこやかに …… 元気で、くじけず、やり抜く子ども

(4) 本年度の分野別指導観点

ア 確かな学力を身につけ、主体的、協働的に学べる児童の育成

- (ア) 自分の考えを持ち、他者の考えとつなげ合いながら学びを深める授業を創造する。
- (イ) 基礎・基本の定着や学習習慣の確立を図り、学力の土台づくりを推進する。〔学力診断テスト等(学びのパスポート)の分析と活用の活性化を図る。やれることは最後までやりきらせる。(粘り強さ、根気強さの育成)〕
- (ウ) 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する。(指導と評価の一体化)
- (エ) ことばの力をはぐくむため、全教育活動を通して言語活動を充実させる。
- (オ) 児童がICTを「文房具」として自由な発想で活用できるよう環境を整え、自らの学習を調整しながら学んでいけるようにする。(自己調整学習)

イ あたたかい居場所と自主性、主体性のある学校・学級づくり

- (ア) 児童一人一人の多様性を尊重し、公正、公平に指導する。
- (イ) 自己と他者の「心と体」を傷つける言動や行動は許さない指導を徹底する。
- (ウ) 学校や学級生活のきまりごとを習慣化し、学習や生活の手順を見える化して「やらなければならないこと」を明確化する。その際、ルールを守ることの心地よさを体感させる。
- (エ) 教師の適切な指導の下、児童の自主的、主体的な活動を活性化させる。(特別活動の充実)

ウ 道德教育の充実

- (ア) 道德教育の要となる道德科における授業改善を推進する。
- (イ) 家庭や地域との連携を深めながら、道德的実践の場としての体験的な活動や奉仕活動を活発に行う。
- (ウ) 異年齢集団との関わりやボランティア活動を通して、多くの人と関わりを持ち、自己効力感や自己有用感を高めることで自尊感情の育成を図る。
- (エ) 読書活動や植物の栽培などの実践活動、季節感や学びにつながる学校環境を整えることを通して、豊かな創造力や命を大切にする心の育成を図る。

エ 特別支援教育の充実

- (ア) 個々の児童の特性や特別支援教育についての正しい理解や認識を深め、指導の充実を図る。
- (イ) 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や、必要な支援を行うための校内体制の整備充実、活用を図る。
- (ウ) 障がいのある児童等に対する個別の指導計画や教育支援計画の活用と指導方法の工夫改善を図る。

オ 人権教育の推進

- (ア) 教育活動全体に人権教育を適切に位置づけ、児童の実態を的確に把握し、教育の機会均等を図り、学力の充実・向上や進路保障に努めるなど、一人一人を大切にした教育の推進を図る。
- (イ) 部落差別や障がい者差別、ヘイトスピーチ、コロナ感染など様々な人権問題についての正しい理解と認識を深め、自己や他者を尊重する態度や実践力を培う。

カ 生徒指導の充実(3機能をしっかりと働かせる)※自己存在感・共感的人間関係・自己決定

- (ア) 「あいさつをする」「時間を守る」「場をきれいにする」などの基本的な社会性を身につけさせ、児童の実態に応じた積極的で計画的な生徒指導を推進する。
- (イ) 児童の発達の段階や成育歴、環境等を理解し、鋭い人権感覚を持ち、共通理解の下、徹底した丁寧な指導を心がける。(改訂された生徒指導提要の活用)

- (ウ) 不登校やいじめの問題については、教育相談やアンケート等を積極的に活用し、未然防止、早期発見、早期対応に努める。また、問題事象には報告、連絡、相談を徹底し、組織的かつ迅速に対応する。
- (エ) 家庭や地域社会、関係諸機関との連携を密にし、児童のボランティア活動への参加を促すなど、地域総がかりで子どもの健全な育成をめざす。

キ 健康安全教育の推進

- (ア) 心身の健康の基礎となる基本的な生活習慣を形成する能力と態度を育成する。
- (イ) 身の回りの危険に気付き、自ら安全な行動がとれる能力と態度を育成する。
- (ウ) 学校における児童の安全確保を図るため、施設・設備の安全点検、安全指導及び職員研修等に関する学校安全計画を策定し実施する。また、「危機管理マニュアル」の検証と改善に努める。
- (エ) 望ましい食習慣を身に付けた健康的な生活を、自ら実践する能力と態度を育成する。
- (オ) 食物アレルギーに対する正しい認識と児童の実態を把握し、日常から連絡、調整、確認を密におこない迅速に対応する。

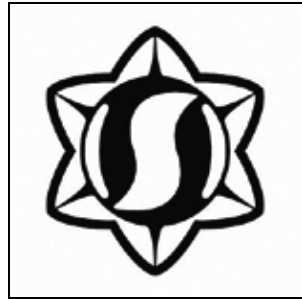
ク 国際理解教育・外国語活動・外国語科の推進

- (ア) 我が国の文化と伝統を理解し尊重すると共に、他の国の文化を理解し尊重する態度を育成する。
- (イ) 外国語活動及び外国語科を充実させ、コミュニケーション能力の素地の育成を図る。

ケ ICTの効果的な活用及びプログラミング教育の推進

- (ア) タブレット等ICT機器を効果的に活用し「わかる」「できる」授業の創造につなげる。
- (イ) ICTの活用を通して、児童の情報リテラシーを向上させると共に、プライバシーの保護や著作権などの基礎的な情報モラルやマナーを育成する。
- (ウ) 児童だけでなく、教師も興味をかき立てられるプログラミング教育を推進し、プログラミング的思考力の向上を図る。

木津川市立城山台小学校



城山台小学校校歌

作詞 安倉晃一
作曲 内海貞嘉

一

大空ひろき みのりの丘に
明日を照らす 溢れる笑顔
交わす言葉も 晴れやかに
喜び満ちて 育ちゆく
城山台 輝いて

二

遠くに望む 泉の流れ
真理を求め 見つめる瞳
夢と希望を 膨らませ
仲間を信じ 進みゆく
城山台 羽ばたいて

三

風爽やかな 鹿背の山並み
共に鍛えし 心と身体
確かな未来 切り拓き
新たな歴史 創りゆく
城山台 永遠に

郵便番号 619-0218

所在地 京都府木津川市城山台六丁目1番地1

♣よつば学舎

電話 (0774) 71-3900

FAX (0774) 71-3901

フたば学舎

電話 (0774) 74-8867

FAX (0774) 71-0066

E-mail shiroyamadai-es@kizu.ed.jp

H P <http://www.kizu.ed.jp/shiroyamadai-es/>

I 沿革

平成

- 26. 4. 4 開校式
- 26. 4. 8 平成26年度入学式
- 27. 3.20 平成26年度卒業証書授与式
- 27・28 年度京都府学力向上システム開発校指定
- 27 年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 27. 4. 7 平成27年度入学式
- 28. 2. 9 京都府学力向上システム開発校1年次発表
- 28. 3.18 平成27年度卒業証書授与式
- 28 年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 28. 4. 7 平成28年度入学式
- 28.11.1 京都府学力向上システム開発校2年次発表
- 29. 3.17 平成28年度卒業証書授与式
- 29 年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 29. 4. 7 平成29年度入学式
- 30. 2. 9 第3回研究発表会
- 30. 3. 20 平成29年度卒業証書授与式
- 30 年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 30. 4. 9 平成30年度入学式
- 30.11.8 第4回研究発表会
- 31. 3. 20 平成30年度卒業証書授与式
- 令和元・2 年度京都府学びの深化プロジェクト実施校指定
- 令和元年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 31. 4. 9 平成31年度入学式

令和

- 2. 1. 31 第5回研究発表会
- 2. 3. 19 令和元年度卒業証書授与式
- 元・2 年度京都府学びの深化プロジェクト実施校指定
- 2 年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 3. 2. 9 第6回研究発表会
- 3. 3.26 ふたば学舎新設
- 3. 4. 6 よつば学舎(既設校舎)で4・5・6年生始業(1年生は7日から)
ふたば学舎で2年生・3年生始業
学校三師それぞれ学舎に配置
- 3. 4.15 城址公園での体育科学習開始(高学年)
- 3 年度 木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 4. 2. 2 第7回研究発表会(まん延防止等重点措置発令のため校内研として実施)
- 4. 3.29 ひだまりホール新設
- 4年度 木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 5. 2. 1 第8回研究発表会
- 5. 3.27 ふたば学舎増設

2 教育

学校教育目標

豊かな感性と知力を培い、意欲的に生きる子どもの育成

目指す児童像

明るい子（明るく素直な心）

考える子（主体的な行動力）

たくましい子（心と体）

重点研究テーマ

主体的に学びに向かい、思考を深める授業づくり

～自ら学ぶことを楽しむ～

学校経営方針

安心安全の確保・充実

超大規模校となり、教育環境が日々変化する中にあっても、児童が安心安全な学校生活を送り、充実した教育活動を円滑に展開できるよう最大限に努める。

学力の充実と向上

児童の思考スキルを高め、「主体的・対話的で深い学び」を充実させる研究活動を柱に、「確かな学力」の育成に向けて ICT 等を活用した授業改善を学校体制で推進する。また、個に応じた指導の充実による基礎・基本の確実な定着と活用力・対応力の育成を図る。

個別最適な学びの充実

多様な子どもたち一人一人を大切にし、誰一人取り残すことなく、個別最適な学びを充実させ、個性や能力を最大限に伸ばす教育を推進する。

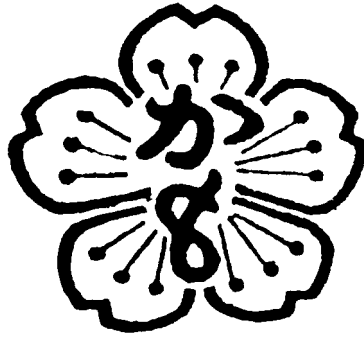
豊かな心の育成

児童の「非認知能力」を高めることを意識し、「包み込まれているという感覚」を実感させながら、相手を思いやる温かな心と豊かな人間性をはぐくむ教育を推進する。

組織的な協働体制の確立

教職員の働き方改革を推進し、ICT 等を活用した負担軽減・職場環境の改善に積極的に取り組む。教職員一人一人の能力や特性を活かしながら、「よつば学舎」と「ふたば学舎」の協働体制で教育の質の向上を図る。

木津川市立加茂小学校



加茂小学校校歌

桜井 武雄 作詞作曲

一

加茂の子どもは明るい子
なかよくすなおなよい子ども
鹿背山木津川友として
学びにはげむ小学生
ぼくたち加茂の小学生

二

加茂の子どもは元気な子
教えの庭のあたたく
山ふところにいだかれて
ゆたかにのびる小学生
わたしら加茂の小学生

三

加茂の子どもは日本の子
日本の子どもは世界の子
みんなでつくるよい国の
平和な町の小学生
ぼくたち加茂の小学生

郵便番号

6 1 9 - 1 1 5 2

所在地

京都府木津川市加茂町里西上田 1 1 番地 1

電 話

(0 7 7 4) 7 6 - 2 1 0 2

F A X

(0 7 7 4) 7 6 - 8 0 0 2

E-mail

kamo-es@kizu.ed.jp

HP・URL

<http://www.kizu.ed.jp/kamo-es/>

1 沿革

明治	8年	2月	加茂町大字里に里村小学校として創立
	20年	7月	加茂尋常小学校と改称
	21年	8月	相楽郡第四高等小学校併設
	32年	5月	加茂町尋常高等小学校と改称
	36年	10月	加茂町大字里小字東上田一番地に校舎新築
昭和	16年	4月	国民学校令により加茂国民学校と改称
	22年	4月	法律並びに文部省令により加茂町立加茂小学校と改称
	29年	10月	中校舎、木造二階建8教室改築竣工
	31年	9月	南校舎、木造二階建8教室改築竣工
	34年	2月	校旗、児童会旗新調、新校歌制定
		8月	給食調理室竣工、9月より完全給食実施
	35年	11月	京都府より昭和35年度健康優良特選校受賞
	37年	12月	京都府より昭和37年度健康優良校受賞
	38年	3月	京都府より昭和37年度安全優良校受賞
		8月	毎日放送より学校教育テレビ協力感謝状受賞
		9月	学校給食優良校として文部大臣表彰受賞
		10月	育友会活動優良に付き京都府PTA協議会長、全国PTA協議会長、文部大臣表彰受賞
		12月	昭和38年度健康優良校として京都府及び朝日新聞社より受賞
	40年	4月	障害児学級併設
		11月	学校図書館優良学校として文部大臣表彰受賞
	41年	3月	学校基本調査優良学校として文部大臣表彰受賞
	42年	10月	小学校教育課程、国語科京都府実践学校の指定をうけ研究発表
		11月	学校図書館優良学校受賞 全日本歯の優良校受賞
	44年	10月	学校給食京都府実践学校の指定をうけ研究発表
	45年	10月	学校給食京都府実践学校として44年度に引き続いて指定をうけ研究発表 同和補習学級開設
	47年	3月	本館、並びに体育館改築竣工
	49年	3月	創立百周年記念行事を行う
	54年	2月	京都小学校お話コンクール、最優秀学校賞受賞
	56年	12月	京都小学校社会科研究大会を行う
	58年	6月	現在地に新校舎新築移転、プール竣工（7月）運動場整備（8月）
	60年	9月	よい歯の学校特別表彰
	62年	3月	学校農園設置
	63年	11月	優良子ども銀行で大蔵大臣・日銀総裁表彰を受ける
平成	元年	1月	府小教研・府教育実践校、特別活動研究発表会開催
		7月	中庭整備
	3年	1月	視聴覚室整備 京都府小学校視聴覚教育研究大会開催
		5月	京都府交通安全優良学校として受賞

	8月	観察池設置
4年	5月	校長室エアコン設置
6年	3月	研究紀要「かもの教育」第1号発刊 職員室・保健室エアコン設置
	11月	創立120周年記念行事を行う
7年	3月	研究紀要「かもの教育」第2号発刊
	11月	学校給食優良校として文部大臣表彰受賞
8年	1月	学校給食優良校として京都府教育長表彰受賞 学校給食優良校文部大臣・京都府教育長表彰受賞記念式典を行う
	3月	研究紀要「かもの教育」第3号発刊
	4月	平成8、9年度統計教育研究指定
9年	3月	研究紀要「かもの教育」第4号発刊
	4月	平成9、10年度小学校教育課程研究指定校（文部省）
10年	3月	研究紀要「かもの教育」第5号発刊
	10月	平成9、10年度小学校教育課程研究発表会開催
11年	3月	研究紀要「かもの教育」第6号発刊
	4月	社会福祉協力校指定
12月	3月	研究紀要「かもの教育」第7号発刊
	4月	平成12、13、14年度食生活に関する教育実践事業指定校（文部省）
	9月	耐震補強工事、コンピュータ教室完成
13年	3月	研究紀要「かもの教育」第8号発刊
	11月	平成12、13年度食生活に関する教育実践事業研究発表会開催
15年	3月	研究紀要「かもの教育」第9号発刊
	4月	障害児学級（情緒）併設
17年	4月	文部科学省より3年間の学力向上拠点形成事業の指定を受ける
19年	3月	木津川市誕生に伴い、木津川市立加茂小学校と改称
	4月	木津川市教育委員会より「教育実践研究校」の指定を受ける
	11月	文部科学省指定「学力向上拠点形成事業」・木津川市教育委員会指定「教育実践研究校」の研究発表会開催
22年	3月	新校舎増築
23年	4月	センター給食開始（木津川市立加茂学校給食センター（現）木津川市立第二学校給食センター）
24年	11月	優良PTA文部科学大臣表彰受賞
27年	11月	相楽地方小学校駅伝（持久走）大会優勝
30年	4月～	京都府小学校教育研究会体育科研究部研究協力校を委嘱される（3カ年） 研究テーマ「児童が教え、認め、高め合う中で運動する充実感と自己肯定感が高まる体育授業を目指して」
令和元年	10月	京都府小学校教育研究会体育科2年次研究協議会開催
	2年	11月 京都府小学校教育研究会体育科教育研究大会開催
	3年	4月 京都府教育委員会「絆の作り手育成プログラム研究校」の指定を受ける (3カ年)

2 教育

(1) 教育目標

生きる力をはぐくみ、幸せな未来を拓く児童の育成

ア 主体的に学び考える力・多様な人となつながら力・新しい価値を生み出す力の育成を図り、かけがえのない生命や基本的人権を尊重する人間性豊かな児童を育成する。

イ 個性の伸長を図り、基礎学力を充実させ、生涯にわたり主体的に逞しく生き抜く児童を育成する。

(2) 目指す児童像

かしこく やさしく たのめしく

【児童のめあて】

- ・ 進んで勉強する子
- ・ 友達と仲良くする子
- ・ 最後までがんばる子
- ・ 命を大切にすること

(3) 目指す学校像

「一人一人が大切にされる、一人一人を大切にできる 加茂小学校」

(4) 目指す教師像

ア 児童一人一人を深く理解し、寄り添った指導ができるよう、小さな変化にも気付くことができる教師

イ 豊かな人間性と高い専門性に基づく優れた指導力を有し、児童一人一人が豊かな未来を切り拓いていけるよう、それぞれの個性や能力を最大限に伸ばすことができる教師

ウ 探究心や自立的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を高めながら、諸課題の解決に向け、挑戦することができる教師

エ 他の教職員、保護者や地域社会、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担しながら、組織的・協働的に諸課題を解決するため、チームの一員としてつながることができる教師

オ 次代を担う人材に必要な学びを提供できるよう、広い視野で時代や社会、環境の変化を的確につかみ取り、未来を展望することができる教師

(5) 学校経営方針

第2期京都府教育振興プラン・学校教育の重点、木津川市教育振興基本計画・学校教育の重点に則り、基礎基本の徹底、個性や能力を伸ばす教育の充実を図るとともに、変化の激しい社会に主体的に対応できる人間性豊かな児童の育成

- ・ 生涯にわたり主体的に学んでいける児童の育成
- ・ 何事にも一生懸命努力する人間性豊かな児童の育成
- ・ 地域に開かれ、地域とともに成長する開かれた学校の創造
- ・ 豊かな人間性と広い社会性、高い専門性を持った教師集団の育成

(6) 経営方針の柱

全教職員の協働体制のもと一人一人を大切にする教育活動を推進する。

◎ キーワード 「理解」「主体」「協働」

- ・ 理解とは：児童の実態と願い、保護者や地域の願い、環境や社会、必要な資質・能力に対する理解に努める。
- ・ 主体とは：本校教員としての自覚と誇りを持ち、指導力を高めるために自ら学び判断し実践する。
- ・ 協働とは：加茂小の子は、全ての教員で見るという認識のもと、学年集団を核として、組織的な関わりと連携を大切にする。

(7) 具体的方針

ア 確かな学力をはぐくむ

- (ア) 自分の考えを持ち、他者の考えとつなげ合いながら学びを深める授業を創造する。
 - ・ 分かる喜びやできる喜び、学ぶ楽しさを実感させる。
- (イ) 基礎・基本の定着や学習習慣の確立を図り、学力の土台づくりを推進する。
 - ・ 学力診断テスト等の分析と活用の活性化を図る。
 - ・ やれることは最後までやりきらせる。(粘り強さ、根気強さの育成)
- (ウ) 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する。(指導と評価の一体化)
- (エ) ことばの力をはぐくむため、全教育活動を通して言語活動を充実させる。
- (オ) 児童が ICT を「文房具」として自由な発想で活用できるよう環境を整え、自らの学習を調整しながら学んでいけるようにする。(自己調整学習)

イ 豊かな心と規範意識をはぐくむ

- (ア) あたたかい居場所と自主性、主体性のある学校・学級づくり
 - ・ 児童一人一人の多様性を尊重し、公正、公平に指導する。
 - ・ 自己と他者の「心と体」を傷つける言動や行動は許さない指導を徹底する。
 - ・ ルールを守ることの心地よさを体感させながら、学校や学級生活のきまりごとを習慣化する。
 - ・ 学習や生活の手順を見える化して「やらなければならないこと」「どうなりたいか」(目的・目標)を明確化する。
 - ・ 教師の適切な指導の下、児童の自主的、主体的な活動を活性化させる。
(特別活動の充実)
- (イ) 「特別の教科 道徳」を要として、組織的・系統的及び計画的に道徳教育を推進する。
 - ・ 授業力向上の研修を組織的、計画的に行う。
 - ・ 道徳教育の重点目標に迫る実践を行う。
 - ・ 別葉を活用し、教育活動全体を通して道徳的価値の理解に努める。
- (ウ) 生徒指導の充実(3機能を確実に果たさせる)
 - ※自己存在感・共感的人間関係・自己決定
 - ・ 「みそあじ運動」の徹底を通して、正義が大切にされる雰囲気醸成を図り、児童の実態に応じた積極的で計画的な生徒指導を推進する。
 - ・ 児童の発達の段階や成育歴や環境等を理解し、鋭い人権感覚を持ち、共通理解の下、徹底した丁寧な指導を心がける。
 - ・ 不登校やいじめの問題については、教育相談やアンケート等を積極的に活用し、未然防止、早期発見、早期対応に努める。また、問題事象には報告、連絡、相談を徹底し、組織的かつ迅速に対応する。
 - ・ 家庭や地域社会、関係諸機関との連携を密にし、児童のボランティア活動への参加を促すなど、地域総がかりで子どもの健全な育成をめざす。
- (エ) 自然に触れる体験活動や文化に親しむ機会を設定し、豊かな感性や情緒をはぐくむ。
- (オ) 読書に親しむ機会の充実に努める。

ウ 健やかな身体をはぐくむ

- (ア) 心身の健康の基礎となる基本的な生活習慣を形成する能力と態度を育成する。
- (イ) 身の回りの危険に気付き、自ら安全な行動がとれる能力と態度を育成する。
- (ウ) 学校における児童の安全確保を図るため、施設・設備の安全点検、安全指導及び職員研修等に関する学校安全計画を策定し実施する。また、「危機管理マニュアル」の検証と改善に努める。

- (エ) 望ましい食習慣を身に付けた健康的な生活を自ら実践する能力と態度を育成する。
- (オ) 食物アレルギーに対する正しい認識と児童の実態を把握し、日常から連絡、調整、確認を密に行い迅速に対応する。
- (カ) 楽しく、安心して運動に取り組める教育環境を整備し、体力の向上に努める。
- (キ) 喫煙、飲酒、薬物乱用等の防止教育を行い、生涯にわたっての健康の保持・増進に努める。

エ 一人一人の個性を伸ばし、社会の形成者としての資質をはぐくむ

- (ア) 共生社会の実現を目指した人権教育を推進する。
 - ・ 互いの個性や価値観の違いを認め、自分と他者の人権を大切にする教育を推進する。
 - ・ 人権問題について正しい理解と認識を深める人権学習を推進する。
 - ・ 人権問題を自分自身の課題として捉え、解決に向けて実践する意識、意欲、態度の育成に努める。
- (イ) 一人一人の自立や社会参加を目指した特別支援教育を推進する。
 - ・ 児童個々の課題に応じた支援の充実を図る。
 - ・ 支援の必要な児童への方策の明確化と改善を図る。
 - ・ 支援体制と校内委員会の充実を図る。
- (ウ) 夢を追い求め、将来を展望できるキャリア教育を推進する。
 - ・ 特別活動を要としつつ、教育活動全体を通して、組織的かつ計画的な指導を展開する。
 - ・ 自分の持ち味（好きなこと、みとめられること、心地いいことなど）に気付ける機会を充実させる。
 - ・ 「キャリア・パスポート」を活用し、継続的・連続的な指導を展開する。
- (エ) 幼児期の教育・保育との円滑な接続を推進する。

オ 社会の変化に対応し、未来をたしかに生きる力をはぐくむ

- (ア) 情報リテラシーの向上を図る指導を推進する。
- (イ) 環境問題や環境保全についての理解と実践力をはぐくむ。

カ 魅力ある・信頼される学校をつくる

- (ア) 学校の組織力と教職員の資質向上のための研究・研修に努める。
- (イ) カリキュラム・マネジメントの充実努める。
 - ・ 学校教育目標の実現に向けて、すべての教職員が校務分掌に基づいた役割を分担しつつ、相互に連携しながらカリキュラム・マネジメントを行う。
- (ウ) 地域とともにある学校づくりに向けた取組を推進する。
- (エ) 近隣の保育園・小学校・中学校と連携を図り、連続性を重視した教育活動を推進する。（加茂学園構想の推進）
- (オ) 安全・安心なよりよい教育環境の整備に努める。
 - ・ 安全管理や危機管理への対策を徹底する。
 - ・ 危機対応能力を身に付けさせるための安全教育を推進する。

キ 地域の力を活かして子どもをはぐくむ

- (ア) 「木津川市地域で支える学校教育推進事業」を適切に活用する。
- (イ) 親の学びや子育てのための支援と相談体制の充実努める。
- (ウ) 地域のボランティアの協力のもと、子どもの安全対策に取り組む。

ク 地域を学び、郷土を大切にする心をはぐくむ

- (ア) 地域に貢献する態度をはぐくむために、地域資源を活用した教育活動を推進し、年間計画に適切に取り入れる。（絆の作り手育成プログラムの推進）
- (イ) ふるさとを学ぶ教材（地域の自然・文化・歴史・産業等）をとおして、地域の強みを理解し、豊かな未来につなげられるようにする。

木津川市立恭仁小学校



恭仁小学校校歌

作詞 辰巳 利治
作曲 中原 郁男

一、みどりの山を めぐらして
風さわやかな ふるさとは
恭仁の京の 宮どころ
昔しのんで 学ぶ子の
楽しい恭仁の 小学校
希望が窓に あふれてる

二、泉の流れ 清らかに
ふたぎの野辺を ゆくほとり
心ゆたかに ほがらかに
いつも元気に はげむ子の
明るい恭仁の 小学校
大きな夢を そだててる

三、さやかに晴れた 山川の
歴史はかおる みかの原
ここに巣立って たくましく
あすをになって 進む子の
仲よし恭仁の 小学校
かがやく未来 待っている

郵便番号
所在地
電話
FAX
E-mail
HP・URL

6 1 9 - 1 1 0 6
京都府木津川市加茂町例幣中切 3 1 ・ 3 2 番地
(0 7 7 4) 7 6 - 2 1 0 3
(0 7 7 4) 7 6 - 8 2 3 0
kuni-es@kizu.ed.jp
<http://www.kizu.ed.jp/kuni-es/>

1. 沿革

明治 6 年 5 月 1 日	創立 相楽瓶原小学校と称す 教科課程を上等下等の二等とする
〃 6 年 8 月	恭仁小学校と改称
〃 14 年	教科課程を初等中等高等の三等に改める
〃 20 年 7 月	恭仁尋常小学校と改称、高等科は加茂当尾両村と合併、加茂尋常小学校の一部をこれにあて、相楽郡第四高等小学校と称する
〃 22 年 11 月	相楽郡第四高等小学校の分教室を併置
〃 24 年 4 月	尋常小学校の分教室を併置
〃 24 年 8 月	尋常小学校の終業年限を 4 年と定める
〃 25 年 10 月	恭仁高等小学校を併置す 11 月同校の終業年限を 4 年に定める
〃 32 年 3 月 8 日	全校舎落成移転（小字 中切）
〃 32 年 6 月	恭仁尋常高等小学校と改称
〃 37 年 3 月	校章制定
〃 39 年 8 月 15 日	校章改訂並びに校旗新調
大正 12 年 5 月 1 日	創立 50 周年記念式を挙行 以後 3 月 1 日の改築記念日を廃し、5 月 1 日を創立記念日に制定する
昭和 11 年 3 月 20 日	校地拡張 現在地に全校舎を改築
〃 22 年 4 月 1 日	法律並びに文部省令により瓶原村立恭仁小学校と改称
〃 22 年 4 月	恭仁育友会設立
〃 26 年 4 月	町村合併により加茂町立恭仁小学校と改称
〃 28 年 8 月	講堂拡張
〃 29 年 6 月	学校放送施設完成
〃 30 年 4 月	2 教室増築
〃 31 年 10 月	新校歌制定
〃 34 年 10 月	給食室・手洗場新設、学校給食を開始
〃 43 年 9 月	水泳プール竣工
〃 46 年 12 月 10 日	府より特別教育活動研究の指定をうけ研究発表
〃 47 年 1 月 22 日	府教委・府学校保健委員会より安全教育協力校として表彰を受ける
〃 47 年 1 月 24 日	相楽地方学校保健委員会より安全教育の表彰を受ける
〃 47 年 4 月 23 日	京都府交通安全優良校として表彰を受ける
〃 48 年 1 月 6 日	府教委・府学校安全会より安全教育優良校として表彰を受ける
〃 49 年 5 月 5 日	創立百周年記念式典を挙行
〃 52 年 8 月 9 日	交通安全子ども自転車全国大会参加（京都府代表）
〃 53 年 3 月 10 日	家庭科教室兼視聴覚教室改造
〃 53 年 9 月 16 日	総合遊具新設
〃 55 年 5 月 15 日	相楽郡交通安全協会より表彰をうける（児童会）
〃 57 年 4 月 15 日	財団法人京都府交通安全協会より表彰を受ける（児童会）
〃 62 年 1 月	府教委、日本体育学校健康センターより学校安全協力校として表彰を受ける
平成 元 年 5 月 1 日	京都府より、依頼を受け、「恭仁・緑の少年団」を発足する
〃 元 年 5 月 1 日	算数科の研究に取り組む（加茂町指定）（2 年間）
〃 3 年 4 月 1 日	京都府教育委員会小・中学校教育実践推進校（社会科）の指定を受ける（2 年間）
〃 3 年 5 月 26 日	恭仁緑の少年団、全国植樹祭に参加
〃 3 年 5 月 26 日	京都府より「学校緑化推進校」の表彰を受ける
〃 3 年 8 月 31 日	校舎南側窓枠アルミ製窓に取替
〃 4 年 8 月 25 日	社会科資料室新設
〃 4 年 8 月 30 日	運動場東側校門改修
〃 4 年 8 月 31 日	校舎北側窓枠アルミ製窓に取替改修

〃 4 年 9 月 3 0 日	社会科資料「加茂町みかの原」発行
〃 4 年 1 1 月 2 7 日	京都府教育委員会小・中学校教育実践推進校（社会科）研究発表
〃 5 年 8 月 3 1 日	講堂窓枠アルミ製窓に取替改修、用務員室倉庫屋根葺替
〃 5 年 1 1 月 6 日	創立 1 2 0 周年記念式典を挙行
〃 8 年 4 月 1 日	京都府社会福祉協議会福祉協力校の指定を受ける（3 年間）
〃 1 0 年 4 月 1 日	いづみ学級を開設
〃 1 0 年 8 月	コンピュータを各教室に導入（1 6 台）
〃 1 1 年 8 月	家庭科室改修
〃 1 2 年 4 月	西校舎 2 教室を 3 教室に改造して留守家庭児童会室を設け開始される
〃 1 3 年 4 月	京都府教育委員会小・中学校教育実践パイロット校（総合的な学習の時間）の指定を受ける（2 年間）
〃 1 3 年 8 月	校舎 2 階屋根葺替
〃 1 4 年 8 月	ノートパソコンを 2 階和室に導入（1 5 台）、2 階特別教室に転落防止用手すりを設置
〃 1 4 年 1 2 月	京都府教育委員会小・中学校教育実践パイロット校（総合的な学習の時間の研究発表）
〃 1 5 年 1 1 月	創立 1 3 0 年周年記念行事を行う（2 8 0 名集まる）
〃 1 9 年 2 月	東トイレの新築水洗化及び校地周囲のフェンスの新設
〃 1 9 年 3 月	木津川市誕生に伴い木津川市立恭仁小学校と改称
〃 2 2 年 3 月	いづみ学級を閉級
〃 2 3 年 4 月	給食が自校炊飯方式からセンター方式に変更となる
〃 2 5 年 1 1 月	創立 1 4 0 周年記念行事を行う
〃 2 6 年 4 月	いづみ学級を開設
〃 2 8 年 3 月	校舎耐震工事 1 期・2 期工事終了
〃 2 9 年 3 月	校舎耐震工事完了
〃 3 0 年 4 月	2・3 年生が複式学級となる
〃 3 1 年 4 月	複式学級を解消
令和 2 年 4 月	いづみ学級 2 組を開設
〃 3 年 3 月	いづみ学級 1 組を閉級
〃 3 年 4 月	京都府教育委員会「絆の作り手 育成プログラム研究校」の指定を受ける（3 年間）
〃 4 年 4 月	3・4 年生が複式学級となる
〃 5 年 4 月	4・5 年生が複式学級となる

2. 教育

1 学校教育目標

「生きる力をはぐくみ、幸せな未来を拓く児童の育成」
主体的に社会や他者とつながりながら、幸せを感じる未来を切り拓いていける
児童を育てていくことを目指す。

めざす児童像

かしこく・・・（知）
やさしく・・・（徳）
たのもしく・・・（心・体）

2 学校経営方針

第2期京都府教育振興プラン及び木津川市教育振興基本計画を踏まえて、以下の目標を設定する。

- (1) 義務教育9年間を見据えた幸せな未来を拓く確かな学力の育成
- (2) 人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性の育成
- (3) 小規模校の利点を生かした魅力ある学校づくり
- (4) 地域を学び郷土を大切にする心の育成
- (5) 児童を中心に据えた保護者と地域との連携と協働
- (6) 組織力やチーム力で高める教職員の資質能力や指導力

3 重点目標

- (1) 確かな学力の育成（思考・判断・表現力）
- (2) 豊かな心の育成（道德教育、生徒指導、特別活動）
- (3) 魅力ある・信頼される学校づくり（小規模校の利点を生かした教育・複式学級の指導の充実）
- (4) 働き方改革の推進（連携・協働、業務改善）

4 各重点目標における観点と具体的方策

(1) 確かな学力の育成

ア 活用する力（思考・判断・表現力）を育成する授業改善による学力向上
・算数科の特質を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」のある授業展開の工夫

(2) 豊かな心の育成

ア 学級経営の充実
・生徒指導の3機能を生かした学級経営
・一人ひとりの児童との対話を重視した内面理解

(3) 魅力ある・信頼される学校づくり

ア 小規模校の利点を生かした教育
・全校、異学年合同学習や校内交換・専科指導の推進
・小小連携学習の推進

- ・複式学級の充実に向けた全教員による指導体制の構築

(4) 働き方改革の推進

ア 教育活動の焦点化

- ・将来を展望できる「学力向上」を要とした教育活動の推進

イ 業務改善の推進

- ・効率のよい運営に向けた各分掌での取組

ウ 適正な勤務時間の設定

- ・19 時までの退勤と超過勤務 45 時間以内の達成

エ 働き方に関する意識改革の推進

- ・毎月の超過勤務時間を知り、働き方の自己目標を設定

木津川市立南加茂台小学校



南加茂台小学校校歌

作詞 久保田 ツギエ
作曲 吉 中 俊 道

一

いずみの流れ清らかに
稔り豊かな加茂の里
希望の窓につどう友
強くやさしくたくましく
手を取り学ぶ丘の上
ああ 南加茂台小学校

二

歴史も古きゆかりの地
風さわやかな大空に
両手をのばしすこやかに
きたえしわざと心持ち
未来に向けてはばたこう
ああ 南加茂台小学校

郵便番号	6 1 9 - 1 1 2 7
所 在 地	京都府木津川市南加茂台 1 2 丁目 1 1 番地
電 話	(0 7 7 4) 7 6 - 3 4 0 0
F A X	(0 7 7 4) 7 6 - 8 2 3 2
E-mail	nagamo-es@kizu.ed.jp
HP・URL	http://www.kizu.ed.jp/nagamodai-es/

1 沿革

昭和57年	4月	1日	京都府相楽郡加茂町立南加茂台小学校として開校	
57年	4月	6日	第1学期始業式	(児童数 158名)
57年	4月	7日	第1回入学式 新入児46名	
57年	6月	7日	図書館開館(蔵書3, 500冊)	
57年	8月	1日	校旗制定	
58年	1月14日		校歌制定	
58年	3月19日		第1回卒業式	
58年	4月	7日	第2回入学式 新入児105名	(児童数 611名)
59年	4月	6日	障害児学級開設	
59年	4月19日		育友会発足	
61年	4月	8日	第5回入学式 新入児210名	(児童数 1068名)
61年	8月31日		普通教室6教室増築 運動場拡張	
62年	8月31日		普通教室6教室(プレハブ)増築(一時使用)	
63年	4月	7日	第7回入学式 新入児212名	(児童数 1314名)
平成元年	3月30日		高学年用図書室増設(一時使用)	
元年	4月	7日	第8回入学式 新入児212名	(児童数 1413名)
元年	8月	1日	低学年用プール増設	
2年	4月	7日	第9回入学式 新入児209名	(児童数 1369名)
3年	4月	8日	第10回入学式 新入児203名	(児童数 1338名)
3年	5月20日		増築教室に冷房設備設置	
4年	2月22日		創立10周年記念式典実施(記念下敷配付、記念誌発行)	
4年	4月	7日	第11回入学式 新入児155名	(児童数 1231名)
5年	4月	7日	第12回入学式 新入児127名	(児童数 1140名)
6年	3月31日		中庭プレハブ教室解体	
6年	4月	7日	第13回入学式 新入児113名	(児童数 1031名)
7年	4月	7日	第14回入学式 新入児92名	(児童数 897名)
8年	4月	1日	ティーム・ティーチング教員配置	
8年	4月	8日	第15回入学式 新入児85名	(児童数 766名)
8年11月14日			創立15周年記念航空写真撮影	
9年	4月	8日	第16回入学式 新入児62名	(児童数 621名)
10年	3月	5日	児童会空き缶回収で加茂きはだ園へ車椅子寄贈	
10年	4月	7日	第17回入学式 新入児76名	(児童数 537名)
11年	4月	1日	情緒障害児学級開設	
11年	4月	7日	第18回入学式 新入児51名	(児童数 459名)
11年	5月20日		情報教育室(コンピュータ室)設置	

11年	7月	学童保育室移転設置
12年	4月 7日	第19回入学式 新入児54名 (児童数 409名)
12年	4月	京都府社会福祉協議会 福祉協力の指定を受ける(平成12～14年度)
13年	3月14日	学校だより「さかみち」地域広報版を配付
13年	4月 7日	第20回入学式 新入児37名 (児童数 358名)
13年11月17日		創立20周年記念事業(記念下敷配付、記念誌発行)
14年	4月 9日	第21回入学式 新入児46名 (児童数 321名)
15年	4月 8日	第22回入学式 新入児35名 (児童数 292名)
16年	4月 7日	第23回入学式 新入児44名 (児童数 265名)
17年	4月 7日	第24回入学式 新入児47名 (児童数 262名)
18年	4月 7日	第25回入学式 新入児35名 (児童数 252名)
19年	3月12日	木津川市誕生に伴い、木津川市立南加茂台小学校と改称
19年	4月 1日	特別支援学級(情緒)再開設
19年	4月 7日	第26回入学式 新入児43名 (児童数 260名)
19年	4月	京都府小学校教育研究会生徒指導研究部研究協力校の委嘱を受ける(平成19～21年度)
20年	4月 7日	第27回入学式 新入児43名 (児童数 260名)
21年	4月 7日	第28回入学式 新入児23名 (児童数 236名)
21年	6月26日	京都府小学校教育研究会生徒指導研究部研究大会
22年	4月 7日	第29回入学式 新入児45名 (児童数 238名)
23年	4月 7日	第30回入学式 新入児37名 (児童数 228名)
23年11月 6日		開校30周年学校公開、総合遊具寄贈設置、記念下敷き配付
24年	4月 1日	当尾小学校との統合 通学車両運行
24年	4月 9日	第31回入学式 新入児35名 (児童数 236名)
25年	4月 9日	第32回入学式 新入児35名 (児童数 228名)
26年	4月 8日	第33回入学式 新入児31名 (児童数 214名)
27年	4月 7日	第34回入学式 新入児37名 (児童数 222名)
28年	4月 7日	第35回入学式 新入児18名 (児童数 200名)
29年	4月 7日	第36回入学式 新入児30名 (児童数 182名)
30年	4月 9日	第37回入学式 新入児26名 (児童数 172名)
31年	4月 9日	第38回入学式 新入児27名 (児童数 167名)
令和 2年	4月 7日	第39回入学式 新入児21名 (児童数 159名)
3年	4月 7日	第40回入学式 新入生19名 (児童数 139名)
4年	4月 7日	第41回入学式 新入生14名 (児童数 139名)
5年	4月 7日	第42回入学式 新入生18名 (児童数 126名)

2 教育

(1) 学校教育目標

～加茂地域 小中一貫教育～

〔教育目標〕 生きる力をはぐくみ、幸せな未来を拓く児童生徒の育成

〔目指す児童生徒像〕かしこく(知) やさしく(徳) たのもしく(心・身体)

児童が楽しいと思える学校・保護者と地域が温かく見守り、
協力したい(して良かった)と思える学校づくり

目指す児童像

体験を学びに変える事の出来る子(主体的に学びに向かえる力)

気持ちの伝わるあいさつのできる子(つながりを持てる力)

感謝の気持ちを表現して伝えることができる子(大切にされている感覚)

～地域や外部の人材・環境の積極的な活用による豊かな体験。育みたい力の育成～

楽しい授業へ【主体性・多様な人とつながる・新たな価値を生み出す力】

(2) 学校経営方針

《基本的な考え方》

- (1) 新学習指導要領及び第2期京都府教育振興プラン並びに、木津川市教育振興基本計画や学校教育の重点を踏まえ、教育目標と学校経営方針を明確にし、社会に開かれた教育課程を編成する。
- (2) 育成すべき資質・能力を明確にし、学習活動をはじめとする教育活動全般の充実を図り、知・徳・体の調和のとれた児童の育成を目指して、保護者や地域の信頼に応える教育活動を推進する。

《経営目標》

- (1) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の工夫改善を図ることで、基礎的・基本的な知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学ぶ態度を養う。
- (2) 体験活動や表現活動を充実させることで、豊かな心や創造性の涵養を目指し、他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性や健康・安全で活力ある生活を送るための基礎となる体力を養う。
- (3) 教職員の資質の向上を図り、共通理解・協働のもと、児童との信頼関係、児童理解を大切にして、児童とともに学び高め合う学校づくりを進める(資質の向上を図る時間を作る・子どもと向き合う)。働き方改革を意識した校務等の整理。
- (4) カリキュラムマネジメントを充実させ、創意と熱意ある積極的な教育活動を展開し、保護者や地域から信頼される開かれた学校づくりを進める。

3 育成すべき資質・能力

第2期京都府教育振興プランの3つの具体的「はぐくみたい力」として表した、主体的に学び考える力、多様な人とつながる力、新たな価値を生み出す力の調和を大切にした教育を軸に、本校の児童一人一人に育成すべき資質・能力を以下のとおりとする。

- ① 体験を学びに変える力 【主体性・意欲・応用力】
- ② つながりを持てる力 【自己肯定感・挑戦力】
- ③ 感謝の気持ちを表現して伝える力【包容力・コミュニケーション力・展望力】

4 本年度の重点目標

(1) 学力の向上・充実

- ① 知識・技能の定着
 - ・ 総合学習等における「課題解決型の学習」の充実と授業者のスキルアップ(研究・研修)
- ② 学習意欲の向上
 - ・ 学ぶ目的を明確に持たせる「めあて」の工夫
 - ・ 主体的に学習に向かう習慣を身に付けさせる家庭学習の推進
 - ・ 地域の人材や教材、専門家を積極的に活用した体験活動の充実
- ③ 思考力・判断力・表現力等の育成を基盤としたコミュニケーション能力の向上
 - ・ ICT活用推進と「見方・考え方」の提示等による学び方の習得
 - ・ 「課題解決型の学習充実」に向けたペア学習・グループ学習等の充実

- ・ 学びを深める「振り返り」の充実
- ・ 主体的に伝え合おうとする力の素地を養う外国語活動
- ④ キャリア教育の推進
 - ・ 指導計画の改善、校内研修の充実等による発達の段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の実施（キャリアパスポート）と外部講師の活用
- ⑤ 研究・研修による、プログラミング教育の充実
- ⑥ CBTの活用（問題の意味を理解する力をつける）

(2) 児童一人一人の個性や能力の伸長と豊かな心や創造性の涵養、健康や体力の向上

- ① 心の教育の推進
 - ・ 「こころあっぷタイム」メンタルヘルス予防教育プログラムを活用した指導の充実
- ② 道徳科の指導・評価・研修(授業公開)の充実による道徳教育の推進
- ③ 人権教育の推進
 - ・ 差別を許さない心や思いやりを尊重する心の育成(同和教育)
- ④ 豊かな心の育成と個性の伸長
 - ・ 伝統文化に触れる体験活動等の充実と文化的行事への積極的な参加
- ⑤ 社会的資質・能力・態度の育成
 - ・ 生徒指導の機能を活かした組織的な指導の充実
- ⑥ 体力・運動能力の向上
 - ・ 体力テスト等の結果分析に基づいた体力向上の取組や行事等の充実

(3) 地域や保護者から信頼される、特色ある学校づくり

- ① 魅力ある学校づくり
 - ・ キャリア教育の視点から体験活動を重視する特色ある学校づくりの推進
 - ・ 教育活動の地域への積極的な発信(学校だより、HP、学校地域公開)
- ② 地域の教育力を活かした教育環境の整備
 - ・ 学校支援地域本部事業、学校ボランティア等を活用した取組の充実
 - ・ 学校開放による地域とのつながりの構築(放課後子ども広場等)

5 その他

- ① 総合学習(ふるさと絆学)や地域3小学校合同授業などの小小・小中連携
- ② アレルギー対応
- ③ 体育及び英語科の専科に係る対応
- ④ ウイズコロナの生活様式の構築と新たな人権課題や生徒指導・教育相談に係る指導

木津川市立上狛小学校



上狛小学校 校歌

作詞 酒井 雨虹
作曲 杉本 秀治

一 見よ 大川の 水の面は

円かなる 月影やどし

天地のわけを さながらに

小さき目にも 教うなり

おお 狛の河原のなでしこと

咲けよ朝夕 我等学び子

二 聞け 城山の 松風は

学び舎の 窓の辺訪いて

尊きさとし さながらに

小さき耳に ささやけり

おお 狛の河原のなでしこと

学べたゆまず 我等学び子

郵便番号 6 1 9 - 0 2 0 4
所 在 地 京都府木津川市山城町上狛学校 1 番地
電 話 (0 7 7 4) 8 6 - 2 0 0 2
F A X (0 7 7 4) 8 6 - 5 5 0 0
E-mail kamikoma-es@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/kamikoma-es/>

1 沿革

明治 6年 上狛小学校創立（4月13日）

20年 上狛尋常小学校発足

25年 上狛高等小学校が併設

32年 組合立上狛尋常高等小学校と改称

大正 7年 実業補習学校附設

昭和 9年 校歌制定

16年 組合立上狛国民学校と改称

22年 上狛町、高麗村組合立上狛小学校と改称

23年 育友会発足

31年 町村合併により山城町立上狛小学校と改称

40年 育友会文部大臣表彰受賞、プール完成

41年 鉄筋2階建て北校舎完成

42年 給食センター完成 給食開始

中庭に庭園と池が完成

45年 中庭に飼育小屋が完成

46年 運動場拡張

49年 山城地方給食指導研究会開催 学校給食優良校として文部大臣表彰受賞

50年 学校優良校として、京都府教育委員会より表彰

52年 日本水泳連盟より学童水泳優良校受賞

53年 鉄筋3階南校舎改築完成、運動場拡張

54年 校舎前庭園完成

57年 体育館改築完成

59年 山城地方社会科教育研究発表会開催

63年 第43回国民体育大会京都国体（成年女子ソフトボール会場）

平成 2年 京都府教育委員会・山城町教育委員会教育実践推進校（算数科）

＜指定2年 平成3年発表＞

3年 第36回「才能開発実践教育賞」受賞

5年 京都府社会福祉協力校指定（3年間）

人権擁護ポスターコンクール学校賞受賞

120周年記念講話会

6年 京都府小学校教育研究会保健安全研究会

8年 京都府教育委員会教育実践パイロット校・山城町教育委員会指定（図画工作科）

＜指定2年 平成9年発表＞

11年 コンピュータ教室整備 コンピュータ設置

13年 京都府学校安全協力校として京都府教育委員会より表彰

門扉・フェンスの設置

14年 配膳室設置、給食センター改築（椿井地域へ移転）

15年 創立130周年記念植樹

16年 京都府教育委員会環境教育推進校「京のエコ・スクール」

山城町教育委員会指定（指定2年 平成17年発表）

18年 特別支援教育充実事業に係る研究実践校（「やましろ未来っ子」研究推進校）

19年 特別支援教育充実事業に係る研究実践校（「やましろ未来っ子」研究推進校継続）

京都府交通安全協会より交通安全表彰受賞（5月）

「みんなで読もう1000万冊読書キャンペーン」京都新聞社賞受賞

- 20年 「やましろ地域学習推進事業」平成20年度やましろ地域学習推進研究協力校
- 21年 「やましろ地域学習推進事業」平成21年度やましろ地域学習推進研究協力校
コンピュータ教室整備（機器交換）
- 22年 文部科学省委託「栄養教諭を中核とした食育推進事業」実践中心校
南校舎耐震補強工事完了
- 23年 文部科学省委託「栄養教諭を中核とした食育推進事業」本発表
南校舎屋上防水工事完了
- 24年 南校舎南側花壇新設
- 25年 理科・図工室を南校舎に移転
- 27年 教育用・公務用コンピュータ、デジタル教科書整備
洋式トイレ設置、校門時計更新
- 28年 北館完成（図工室・図工準備室の設置）
児童クラブの移転・新築
- 29年 電子黒板全学級設置完了
- 30年 普通教室エアコン設置完了
- 令和 元年 放課後なでしこ広場開設
- 2年 コミュニティ・スクール準備・開設
- 3年 国立教育政策研究所指定 教育課程実践検証協力校事業
「E-Assessment に関する研究（A 枠）・国語」協力校

2 教育

(1) 学校教育目標

「つながりを大切に 主体的に学ぶ 未来を拓く子の育成」

めざす児童像

なかまを大切にする子
ともに学び合う子
あきらめずに挑戦する子

(2) 学校経営方針

府学校教育の重点・市教育振興基本計画を踏まえ、児童に確かな学力の充実と向上、豊かな心・たくましい体の育成などの「生きる力」や3つの「はぐくみたい力」を身に付け、変化する社会に柔軟かつ的確に対応する能力や資質の育成に努める。

ア 確かな学力の充実と向上

- ・学習習慣や生活習慣を確立し、児童が学びに向かう土壌を整え、基礎・基本を徹底することで学力の充実と向上を図る。

イ 豊かな心・たくましい体の育成

- ・人権教育を基盤として人とのつながりを重視し、集団活動や体験的学習を通して、互いに認め合い高まり合う教育活動を推進する。
- ・さらに、たくましく生きるための健康や体力の向上につながる教育活動を推進する。

ウ 地域に根ざし開かれた学校づくり

- ・コミュニティ・スクールとして、地域総がかりで子どもを育てる基盤を固める。
- ・学校と家庭・地域がパートナーとして連携・協働による取組を進めるために目標やビジョンを共有し、つながりを大切にした教育を創造していく。

(3) 本年度の重点目標

ア 確かな学力の充実と向上

- ・児童が見通しをもって自ら学び、わかる楽しさ・できる喜びを実感できる授業づくりを進める。
- ・言語活動を充実し、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るとともに、自分の考えを伝え合うことでより確かな学力を身に付けさせる。
- ・タブレット等の ICT 機器やデジタル教材等を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指す。

イ 豊かな心・たくましい体の育成

- ・人権学習を充実し、多様な価値を認めた上で自ら考え、他者と対話し協働しながら、よりよく生きる心情を育てる。
- ・通学班や委員会活動、異年齢集団（なでしこ班）活動を通して、望ましい集団づくりの推進を図り、仲間を大切にする気持ち、主体性や協調性を養う。
- ・気持ちのよいあいさつを介して、気持ちのよい人間関係を築く。

ウ 地域に根ざし開かれた学校づくり

- ・社会の変化に対応し、主体的に生きていけるよう自己の生き方を深く見つめさせる取組を推進する。
- ・体験活動や地域交流等の実施により、地域の方々に学び、ふれあう機会を大切にし、「ふるさと上粕」を愛する心や感謝する気持ちを育てる。
- ・家庭・地域社会・関係機関との連携に努め、家庭・地域社会と一体となって教育活動の充実に努めるとともに、開かれた学校づくりを進め、信頼される学校づくりを推進する。また、地域社会とともに子どもを守り育てる活動を推進する。
- ・「コミュニティ・スクール」としての運営及び活動を推進する。

(4) 指導の重点

ア 確かな学力をはぐくむ

- (ア) 学習意欲の向上と学習習慣の確立
 - ・授業の工夫により学習に対する意欲を向上させる。
- (イ) 基礎的・基本的な知識技能の習得
 - ・学力テスト等の結果分析からの確に状況を把握し、学力の充実・向上を目指す取組を推進する。特に課題のある児童に対しては、個に応じた指導・支援を行う。
 - ・家庭と連携して家庭学習を習慣化し、学力の向上につなげる。
- (ウ) 活用する力の育成
 - ・表現力を高めるために様々な場面で活用する力の育成を図る。

イ 豊かな心と規範意識をはぐくむ

- (ア) 道徳教育の推進
 - ・児童の心に響く魅力的な教材を活用しながら道徳的価値の自覚を深め、道徳的実践力を育成する。
 - ・授業公開等を通して、学校における道徳教育に対する保護者の理解を一層深める。
- (イ) 教育相談の充実
 - ・児童の内面を深く理解し、信頼関係に基づいた指導を行うとともに、教育相談活動を充実させ、いじめ・不登校等への適切な対応をする。
- (ウ) 生徒指導の充実
 - ・指導の方向、内容を明確にした全体計画を作成し、学校としての協力体制・指導体制を確立するとともに、指導の在り方について保護者との共通理解を図り、関係機関と連携を深める。
- (エ) 読書活動の推進
 - ・積極的な読書活動の取組を通して豊かな心をはぐくみ、個々の児童の個性、能力の伸長に努める。
 - ・家庭と連携して読書の取組をさらに進める。

ウ 健やかな身体をはぐくむ

- (ア) 健康の保持増進
 - ・基本的な生活習慣の確立を目指して、児童の実態把握に努め、家庭と連携した取組を推進し、自ら健康な生活を営むことができる望ましい行動への変容を図り、児童の実態に即した保健管理と保健教育を行う。
- (イ) 体力の向上
 - ・体力テストの結果をもとに個に応じた体力・運動能力の向上を図る。
- (ウ) 食育の推進
 - ・教育活動全体を通じた食育の推進を図り、食や健康への関心を高める。

エ 一人一人の個性を伸ばし、社会の形成者としての資質をはぐくむ

- (ア) 人権教育の推進
 - ・児童の理解や認識の実態を的確に把握しながら、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題の解決の視点を明確にした学習を行う。
 - ・さまざまな人権問題の正しい理解と解決のために行動できる技能や能力の育成を図る。
- (イ) 特別支援教育の推進
 - ・特別支援教育について全教職員が理解を深めるとともに、個々の障害の状態、発達段階及び特性等に応じた適切な支援を行う。
- (ウ) キャリア教育の推進
 - ・学級活動などにおいて、計画的にキャリア教育を行う。

オ 社会の変化に対応し、未来をたしかに生きる力をはぐくむ

- (ア) 情報教育の推進
 - ・情報機器を使い情報活用能力の育成に努めるとともに、情報モラルの指導の充実を図る。
- (イ) 国際理解教育の推進
 - ・外国語活動等を通して、コミュニケーション力の素地を養うとともに、異文化や日本文化を理解する。
- (ウ) 環境教育の推進
 - ・環境問題について関心を持ち、日常生活の中で生かせるようにする。

カ 魅力ある・信頼される学校・園をつくる

- (ア) 学校の組織力と教職員の資質向上
 - ・課題に対応できる機能的な組織・運営機構を構築するため、分掌相互の連携を図り開かれた組織運営を行う。
 - ・自校の課題に即した具体的な研究主題を設定し、方法や内容を明確にして研究・研修計画を策定する。
 - ・授業改善、指導力向上を図る研究や自校の課題解決のための研究を推進し、学力の充実・向上につなげる。
 - ・「教師力」や「授業力」の向上を図る取組を進める。
- (イ) 魅力ある学校づくり
 - ・教育目標、学校教経営計画や教育活動の状況について、積極的に情報発信するとともに情報収集に努める。
- (ウ) よりよい教育環境の整備
 - ・事故等の実態を把握し、交通安全・地震防災安全教育を含む安全管理と安全教育を進める。
 - ・児童を凶悪な事件から守るための防犯教育の充実を図り、安全確保に対する意識を高めるとともに、緊急時に適切な行動がとれるようにする。
 - ・学校施設・設備の整理、点検、環境の美化に努める。
 - ・学校安全計画に基づき、学校危機管理マニュアルを充実させ、全職員がその内容について理解を深めるようにする。

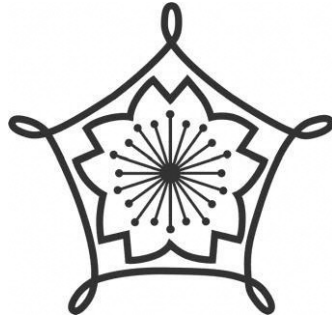
キ 地域の力を活かして子どもをはぐくむ

- (ア) 安全対策の充実
 - ・なでしこ安全推進会議、登下校見守りボランティア等との連携を図り、安心・安全な学校づくりを推進する。
- (イ) 地域ぐるみの子育て
 - ・地域のさまざまな行事、関係機関、人々と積極的にかかわりを持ち、連携を密にする。
 - ・PTA等の活動内容等について、十分な打合せを行うとともに、教職員は積極的にPTA活動等に参加する。

ク 地域を学び、郷土を大切に作る心をはぐくむ

- (ア) 自然・歴史についての学習の充実
 - ・地域学習をさらに推進し、地域の人々、関係諸機関と連携を図りながら、多様な学習活動を実践する。

木津川市立棚倉小学校



棚倉小学校校歌

作詞 中谷志津枝
作曲 杉本 秀治

一、大空めざし 伸びてゆく

光明山の わか竹に

まけず伸びよと 日はまねく

ああすくすくと 立ちあがる

光の子なり 我等みな

二、清き流れを のぼりゆく

泉の川の 若あゆに

まけず進めと 風はよぶ

ああひとすじに 学びゆく

励みの子なり 我等みな

三、湧き出の森の 大杉が

語る栄えの その歴史

うけつぎゆけと 枝は鳴る

ああ喜びに 勇み立つ

望みの子なり 我等みな

郵便番号 619-0201
所在地 京都府木津川市山城町綺田局塚14
電話 (0774) 86-2513
FAX (0774) 86-5698
E-mail tanakura.es@gmail.com
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/tanakura-es/>

1 沿革

明治	5 年	綾杉に綺田校創立（5 月 25 日）
	2 1 年	綺田尋常小学校発足
	2 5 年	棚倉高等小学校を綺田尋常小学校に設置
	3 2 年	棚倉高等小学校を廃して綺田尋常小学校に併置し、校名を綺田尋常高等小学校と改称
大正	3 年	大字綺田小字局塚 1 4 に移転改築 綺田尋常高等小学校を棚倉尋常高等小学校と改称 実業補習学校附設
昭和	1 1 年	奉安殿並びに校舎の落成式举行
	1 6 年	棚倉国民学校と改称
	2 2 年	棚倉村立棚倉小学校と改称
	2 3 年	棚倉小学校校歌制定
	2 8 年	講堂竣工式举行
	3 1 年	上粕村、高麗村、棚倉村が合併し山城町となる。校名を山城町立棚倉小学校と改称
	3 8 年	新校舎改築開始（普通教室 1 1、特別教室 5、管理室 3）
	4 0 年	新校舎落成竣工 プール竣工
	4 2 年	学校安全優良校として日本学校安全会より表彰 完全給食開始
	4 3 年	障害児学級開設
	4 4 年	緑地帯整備完工
	4 5 年	交通教室整備（模擬道路、自転車練習場設置）
	4 7 年	昭和 4 6 年度学校安全優良校表彰 昭和 4 7 年度学校安全文部大臣表彰 創立 1 0 0 周年記念行事実施 昭和 4 7 年度学校安全教育研究発表会
	4 8 年	昭和 4 7 年度全日本交通安全協会会長表彰、昭和 4 8 年度学校安全教育研究発表会
	4 9 年	障害児学級閉鎖
	5 0 年	児童増加に伴い、3 教室増築並びに体育倉庫増築
	5 3 年	運動場一部拡張 理科教室改装
	5 4 年	文部省、府教委小学校教育課程研究指定（図画工作科）～5 5 年
	5 5 年	小学校教育課程（図画工作科）研究発表会
	5 8 年	新校舎（特別教室）竣工（3 教室、便所、児童昇降口） 校地北西部の水田を買収し、大運動場完成（1 2, 9 1 1 平方メートル）
	6 0 年	運動場照明施設完成 体育館竣工（7 2 6 平方メートル）
	6 1 年	学校安全教育表彰（学校安全努力校） 第 4 3 回国民体育大会 京都国体開催

平成	元年	府小研体育研究大会	校舎大規模改造完成
	3 年	学校安全教育長表彰（学校安全努力校）	
	5 年	文部省・京都府教育委員会及び山城町教育委員会教育実践推進校体力づくり研究発表会	
	6 年	学校安全努力校表彰	全国学校体育研究校表彰
	8 年	障害児学級開設	福祉協力校指定（3 年間） 保健室・給食配膳室改修 公共下水道供用開始
	9 年	放送室・放送設備改修	
	1 1 年	コンピュータールーム開設	ふるさとふれあい推進校発表
	1 4 年	金銭教育研究発表会・金銭教育シンポジウム開催（2 月 8 日）	
	1 6 年	全日本学校関係緑化コンクール	学校林活動の部入選（国土緑化推進機構理事長賞） 「学力向上フロンティアスクール」「京都夢・未来校」研究発表会
	1 9 年	加茂町、木津町、山城町が合併し木津川市となる。木津川市立棚倉小学校と改称	放送設備改修 京の子ども夢・未来校「やましろ未来っ子」「学力向上プログラム開発校」研究発表会
	2 1 年	コンピュータールーム情報機器更新	
	2 2 年	特別支援教育充実事業に係る研究実践校（「やましろ未来っ子」）研究発表	栄養教諭を中核とした食育推進事業（2 年間）
	2 4 年	「学校林・遊々の森」全国子どもサミット i n 京都参加	学校支援地域本部事業発足 第 53 回交通安全国民中央大会交通安全荣誉賞表彰
	2 5 年	木津川市特色ある学校づくり推進事業指定（～令和元年継続中）	
	2 6 年	プール改修工事	
	2 7 年	棚倉小学校校舎改築工事始まる	
	2 8 年	新校舎完成	
	2 9 年	竣工式举行	京都府小学校教育研究会道德教育研究発表
令和	3 年	木津川市特色ある学校づくり推進事業指定（～令和 5 年継続中）	山城教育局 山城地方学校力向上トライアル校（～令和 5 年継続中）
	4 年	創立 1 5 0 周年記念行事実施	

2 教育

(1) 教育目標

「自分のよさを生かしながら、自立できる子どもの育成」

(2) 目指す児童像

◇学 び…よく聴き、考え、自分の言葉で表現できる子

自分で判断し、行動する子

◇つながり…気持ちのよいあいさつができる

相手の気持ちを考えて、仲良く協力できる子

◇きたえあう…体を鍛え、最後までやり抜く子

みんなのために働く子

(3) 学校経営方針

「学習指導要領」「京都府教育振興プラン」「木津川市教育振興基本計画」に基づき、変化の激しい社会に主体的に対応できる児童の育成を目指し、校長を主導とした学校体制の下で、日々の教育活動の充実を図る。

ア 主体的・対話的で深い学びの推進・確かな学力の向上

イ 豊かな人間性と道德の三要素（道德的な判断力・心情・実践意欲と態度）
の育成

ウ 健やかな体作りの推進

エ 地域に開かれ、地域に信頼される学校作り

オ 豊かな人間性と広い社会性、高い専門性を持った教職員集団の育成

(4) 重点目標

ア 児童一人ひとりの主体的に学ぶ力の育成と確かな学力の向上

（ア）基礎・基本の定着及び活用する力の育成を図る指導の工夫

（イ）言語活動と読書活動の充実

イ 道德教育の充実と心豊かな児童の育成

（ア）道德教育の推進と規範意識の育成

（イ）人権教育の推進

ウ 豊かで安心な学級経営につながる生徒指導の充実

- (ア) 生徒指導の実践上の4つの視点（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）を生かし、学校生活の基盤となる豊かな学級経営の実践
- (イ) 不登校やいじめの未然防止を目指し、きめ細かな日々の見取りと丁寧な教育相談活動の推進

エ 児童の健康や体力の向上と健康安全教育及び安全管理体制の充実

- (ア) 計画的な健康安全教育の推進
- (イ) 「体力づくり指導の手引き」を活用した、豊かで楽しい運動経験の充実
- (ウ) 食育の推進
- (エ) 定期的な施設点検の実施

オ 児童一人ひとりの教育的ニーズに応じた、自立を目指す特別支援教育の充実

- (ア) 校内委員会を中心とした特別支援教育の推進
- (イ) 学習支援員、ボランティアなどを活用した補習活動の推進

カ 地域・保護者と連携し、学校の顔が見える学校作りの推進

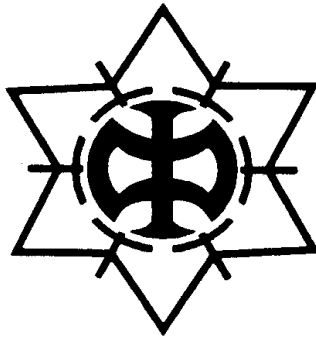
- (ア) 学校だより、学年・学級だより、ホームページ等の活用
- (イ) 感染症予防対策を行いながらの教育活動の公開
- (ウ) 感染症予防対策を行いながらのPTA・地域の各種団体・社会教育関係団体との連携

キ 教職員の資質向上と業務改善の推進

- (ア) 計画的な校内研修の実施
- (イ) 学校行事の精選と取組内容の見直し

(5) 重点研究テーマ

木津川市立木津中学校



木津中学校校歌

作詞 石山
作曲 吉中俊道

一 東の空にかぎろう 朝日子の
光をあびて この学園に
つどう若人 いのちは躍動る

二 木津川はその名清しき 泉川
永久に変わらぬ 流れこそ
木津中健児の たゆまぬ姿

三 青丹よし奈良のみやびを 近代の
文化に生かす 力こそ
われらの胸に たぎる血潮ぞ

四 天と地の寄り合うきわみに 万象の
生成力あり わが校の
集いに平和の 力こもれり

郵便番号 619-0222
所在地 京都府木津川市相楽高下4番地8
電話 (0774) 72-0007
FAX (0774) 72-0094
E-mail kizu-jhs@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/kizu-jhs/>

1. 沿革

昭和

22年	5月 3日	町立木津小学校南校舎を借用して開校式举行
23年	3月21日	木津南垣外に新校舎上棟式举行
	10月19日	新校舎へ移転
25年	6月18日	講堂竣工式举行
26年	4月 8日	町村合併に伴い相楽村出身生徒を編入
27年	6月 5日	相楽村との合併により現在地に本館竣工式举行
	6月30日	新校舎へ移転
28年	5月27日	南校舎を旧地から移転し、竣工式举行
	10月30日	生産教育研究発表会実施
29年	4月23日	講堂を旧中学校から移転、竣工式举行
30年	7月30日	プール竣工
	11月 8日	文部省指定産業教育研究発表会実施
31年	3月	木津小学校から2教室移築
	12月11日	同和教育研究発表会実施
32年	9月 1日	優良図書館表彰受賞
	11月21日	学校図書館研究発表会実施
34年	6月 1日	バックネット新設
	11月25日	道德教育研究発表会実施
35年	5月 1日	障害児学級開設
36年	2月24日	障害児教育研究発表会実施
	3月20日	進路指導研究発表会実施
	9月16日	第二室戸台風のため校舎一部倒壊
	11月21日	府教委指定「学級活動における進路指導」研究発表会実施
37年	6月29日	体育館竣工
	11月10日	特別教育活動研究発表会実施
39年	12月30日	鉄筋校舎竣工
40年	2月 2日	文部省指定道德教育研究発表会実施
	3月17日	学校安全努力校として表彰を受賞
42年	11月 6日	技術科研究発表会実施
43年	4月15日	学校給食開始
44年	2月24日	学校経営研究発表会実施
45年	4月28日	本館新築竣工
46年	2月25日	生徒指導研究（文部省推進校）発表会実施
	11月25日	生徒指導研究（文部省推進校）報告会実施
47年	11月13日	生徒指導研究（文部省推進校）発表会実施
50年	2月25日	自由研究「学級活動」発表
52年	1月21日	文部省指定道德教育研究（2年継続）発表実施
53年	11月 2日	郡中学校自主研究発表「集団を高めるために」
54年	3月 2日	鉄筋4階建校舎竣工
55年	3月20日	鉄筋4階建校舎増築竣工
57年	3月20日	クラブボックス完成
	12月10日	運動場防球ネット設置
59年	3月30日	運動場夜間照明設置
61年	10月15日	体育館大規模改修工事完了
62年	5月25日	校長室改装
63年	8月30日	南北校舎大規模改修工事完了

平成

2年	11月 6日	郡中学校自主研究発表「学習意欲を高める指導の充実」
3年	8月30日	職員室床面前面改修完了
	10月31日	プール新設竣工
	11月25日	自動車駐車場の新設
	12月10日	人権作文コンテスト感謝状受賞法務省局長賞
	12月25日	体育館ギャラリー手すり設置
4年	3月10日	武道場の新設竣工

	3月31日	バックネット新設竣工
	9月30日	コンピュータ教室完成
5年	8月31日	グラウンド大規模改修工事完了
6年	8月25日	職員室空調設備設置工事完了
7年	8月30日	放送設備全面改修
8年	1月21日	武道場進入通路舗装
	8月9日	文部省指定スクールカウンセラー活用調査研究委託事業
9年	4月5日	体育館東入口屋根完成
	5月3日	創立50周年記念式典実施
10年	4月5日	自転車置場増設
	11月22日	「さわやか賞」受賞
12年	4月1日	情緒障害児学級設置
	8月	下水道・室外トイレ改修
13年	4月1日	「児童生徒等歯・口の健康づくり推進事業」研究指定
14年	11月	受水槽改修
15年	7月30日	京都府中学校総合体育大会ソフトテニスの部優勝
	10月18日	山城地方中学校駅伝競走大会 男子優勝
	12月	コンピュータ室備品新規購入及び、光ファイバー、イントラネット整備
16年	2月	「児童生徒等歯・口の健康づくり推進事業」発表（於・東京）
	4月	スクールカウンセラー配置
		文部科学省指定「キャリア教育推進地域指定事業」（3ヶ年）
18年	4月	心の居場所相談員配置
		文部科学省指定「人権教育推進地域事業」（3ヶ年）
19年	3月12日	木津川市誕生に伴い、木津川市立木津中学校と改称
	10月20日	山城地方中学校駅伝競走大会 男子優勝(第29回近畿中学校駅伝競走大会出場)
	11月10日	「キャリア教育」文部科学大臣表彰受賞
	12月21日	木津中学校創立60周年を迎える(記念品配布)
20年	7月30日	京都府中学校総合体育大会サッカーの部優勝（近畿大会出場）
21年	1月20日	平成18・19・20年度文部科学省指定 人権教育総合推進地域事業「人権教育研究大会」
	3月	クラブボックス裏に自転車置き場増設
	7月30日	京都府中学校総合体育大会サッカーの部2年連続優勝（近畿大会出場）
	8月22日	全国中学校体育大会陸上競技選手権大会出場（男子:110mH、女子:100mH）
22年	7月30日	京都府中学校総合体育大会サッカーの3年連続優勝（近畿大会出場）
23年	4月1日	梅美台及び州見台地域の生徒増加に伴い木津川市立木津南中学校の開校により分離
23年	8月20日	全国中学校体育大会陸上競技選手権大会出場（男子100m、男子4×100R）
26年	3月12日	新校舎棟・体育館落成式
27年	3月27日	新グラウンド完成
28年	4月1日	京都府教育委員会指定「法やルールに関する教育」研究指定校
29年	4月1日	京都府教育委員会指定「法やルールに関する教育」研究指定校
令和		
	2年10月18日	全国中学校陸上競技選手権大会出場（男子:400m、女子:100mH）
	4年8月18日	全日本中学校陸上競技選手権大会出場（女子:200m）

2. 教育

(1) 学校教育目標

「心豊かでたくましく生きる生徒の育成」

(2) めざす生徒像

「強い人、考える人、あたたかい人」

- ・豊かな心と、たくましい身体を持った生徒
- ・自らの考えで、進んで実行する生徒
- ・他と協力し、助け合い励まし合う生徒

(3) 本年度の研究主題

「主体的に学習に取り組み、他者と協働しながら解決していける生徒の育成」
～ ICTを活用した確かな学力の育成 ～

(4) 教育目標を具現化するための努力点

ア 学力充実

- 基礎、基本の徹底による学力の充実
- 家庭学習の指導と家庭学習習慣の定着
- 探求的な学習の推進

イ 豊かな人間性の育成

- 人権教育（ヒューマンタイム）の計画的実施
- 体験的な学習の充実による主体的な生徒の育成
- 生徒のコミュニケーション能力の向上

ウ 生徒指導の充実

- いじめ防止の徹底（早期発見・早期対応）
- 不登校生徒への具体的対応の充実（早期発見・早期対応）

エ ICT の活用

- タブレットの活用による個別最適化学習の推進
- 授業における ICT の活用の推進
- 校務における ICT の効果的活用の推進

オ 信頼ある学校

- 生徒一人一人が活躍できる場面を意識し、自己有用感を育てる
- 生徒一人一人のニーズに応じた教育、進路指導の充実
- 適切な学校評価の実施と公開

木津川市立木津第二中学校



木津第二中学校校歌

作詞 中村 吉三
作曲 尾上 昭典

一 はるかなる 歴史の歩み 礎に

清き流れの 木津川を

見渡す丘の 学び舎に

英知を磨く 若人が

手を取り進む 未来には

清新の意気 たかまりて

あゝ 我が 木津第二中学校

二

友愛の 心豊かに 育くみて

四周の山の ふところ

礼節守る 学び舎に

身体を鍛え 若人が

手を取り進む 未来には

躍進の音 たからかに

あゝ 我が 木津第二中学校

郵便番号 619-0224
所在地 京都府木津川市兜台6丁目1番地
電話 (0774) 72-8734
FAX (0774) 72-8736
E-mail kizu2-jhs@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/kizu2-jhs/>

I 沿革

昭和61年	4月 1日	木津町立木津第二中学校開校（生徒数17名）
62年	3月13日	第1回卒業証書授与式举行（卒業生5名）
63年11月30日		京都府教育委員会・木津町教育委員会指定教育実践研究発表社会科
平成 元年	3月 9日	校歌発表会
	6月23日	アメリカ政府派遣高校生大使来校 交流会実施
	12月 4日	相楽郡中学校教育研究会指定研究発表 テーマ「国際理解教育」奈良県立高校留学生17名招校
4年	3月 7日	PTA設立総会（PTA発足）
5年	3月25日	新校舎竣工（普通教室9、図書室、第2音楽室、コンピュータ教室各1）
	4月 1日	府教育委員会教育実践推進校「指導方法の改善」研究指定
6年	4月 1日	府教育委員会より平成6・7・8年度国際理解教育推進モデル校に指定される。
	12月 1日	指導方法の改善「数学科におけるIT」研究発表会
7年10月22日		開校10周年記念式典举行
8年	2月23日	全国教育美術展学校表彰受賞
9年11月30日		京都府教育委員会より、『さわやか賞』受賞
11年	4月 8日	平成11・12年度京都府統計教育研究指定校指定
12年	4月 1日	障害児学級新設
13年	3月10日	第6回全国環境ポスターコンクール学校賞受賞
	4月 1日	スクールカウンセラー活用事業開始
14年12月19日		中学生税に関する作文コンクール学校賞受賞
15年	4月 1日	英語・数学での少人数指導の開始、情緒障害児学級の設置
	4月14日	木津町公園都市緑化協会によるビオトープ設置と植樹事業
16年	8月 2日	校内LAN整備
	9月	普通教室扇風機設置
17年11月25日		開校20周年記念式典
19年	3月12日	木津川市誕生に伴い、木津川市立木津第二中学校と改称
	4月1日～	平成19年度「キャリア教育実践プロジェクト」（文部科学省地域指定）の「キャリア・スタート・ウィーク」実施校として指定を受ける。 (8.23～28 職場体験学習実施2年)
	10月11日	内蒙古自治区教育訪問団来校 駐輪場設置
20年	4月 9日	校区再編成に伴い、木津川台小学校区の生徒が入学する。
	11月21日	相楽地方中学校教育研究会指定発表「キャリア教育」
	11月22日	「キャリア教育」文部科学大臣表彰
23年	3月	駐輪場増設
24年	4月	同志社大学との連携事業（「プロデュース能力」養成プログラムの開発）
	5月	プール改装
25年	4月	木津川市立小中学校情報教育研究指定
	10月	「木津川市地域で支える学校教育推進事業」木津第二中学校区学校支援本部設置
26年	2月	木津川市立小中学校情報教育研究指定公開授業
	5月	木津川市特色ある学校づくり推進校
27年	4月	開校30周年
	5月	木津川市特色ある学校づくり推進校
	10月	開校30周年式典
28年	4月	特別支援教育充実に係る研究実践校
	5月	木津川市特色ある学校づくり推進校
29年	4月	NIE実践指定校
30年	4月	NIE実践指定校

II 教育

令和5年度 学校教育目標

1 めざす生徒像(不変の目的)

『友愛』 他人に思いやりを持ち、ともに高めあう生徒 【社会の創り手となる生徒の育成】

『礼節』 礼儀と節度を守る生徒 【他者を価値のある存在として尊重できる生徒の育成】

『協力』 力を合わせ、よい校風をつくる生徒 【多様な人々と協働できる生徒の育成】

2 学校教育目標(長期経営目標)

生徒一人一人が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り拓く力を育み、社会の創り手となる生徒を育成する。

3 学校経営方針(中期経営目標)

- (1) 読解力・思考力・探求力の基盤的学力の定着のための「個別最適化の学び」と「協働的な学び」の実践による生徒の学びに向かう力の育成。
- (2) 誰もが自己有用感を感じ、他者と協働できる学校風土の構築による学びに向かう人間性の育成。

4 本年度の指導の重点(短期経営目標)

- 「学校に行くのが楽しい」で「そう思う」生徒を 70%にする。
- 「自分にはよいところがあると思う」で「そう思う」生徒を70%にする。
- 「先生は、悩みの相談にのってくれている」で「そう思う」生徒を 70%にする。

【具体的方策】

- (1) 学校生活の大半の時間を占める授業の、楽しく「わかった、次もがんばる」と思える工夫改善。
 - ・ 評価「C」がつかないためと、「B」から「A」へと伸ばす不断の個別の支援・アドバイス。
 - ・ 全教科による主体的・対話的で深い学びの手法の工夫改善と振り返り活動の充実。
 - ・ 指導と評価の一体化と新学習指導要領に準拠した評価規準・基準(ルーブリック)の見直し。
 - ・ 成績下位者への手立て。
- (2) 自己有用感(自尊感情)を醸成し、他者を尊重する心の育成。
 - ・ 授業を含むすべての教育活動において、生徒指導の三機能「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育てる」ことを意識した取組の徹底。
 - ・ 授業のユニバーサルデザイン化の徹底(番組表使用の徹底)。
 - ・ 生徒の「振り返り」の共有化を図ることでの他者理解の促進。
 - ・ 生徒指導と特別活動が連携した生徒の主体性を育む開発的生徒指導の展開(主に成功体験を主眼として)。
- (3) 生徒が「つつみこまれている」感覚が持てる組織体制の充実。
 - ・ 地域の資源や人材を積極的に活用した取組の展開による地域に開かれた学校づくり。
 - ・ 保護者の願いや思いに共感し、生徒に関することは何でも話ができる関係の構築。
 - ・ 教職員自身が「夢が語れる」「魅力ある大人」を目指す不断の努力。
 - ・ 「気づく」「伸ばす」「展望する」「挑戦する」「つながる」力の定期的な自己診断と自己研鑽。
 - ・ 教職員集団の縦横を意識した連携。
 - ・ 人権の尊重と同和教育で培われてきた成果と手法の継承と、障がい特性の理解と生育環境を把握した上での指導ができる特別支援教育を基盤とした学級・学年・学校経営の充実。

5 本年度の研究主題

上記指導の重点を実現するため

- ・ 「個別最適化の学び」と「協働的な学び」の指導方法と評価の確立に向けた研究と実践。
- ・ 開発的生徒指導の視点を重視した今日的教育諸課題に対する実践の創意工夫。

木津川市立木津南中学校



木津南中学校校歌

作詞 長澤 秀明
作曲 森本陽三郎

一
水澄み渡る 木津川の
豊かな流れ 永遠に
古き都に 思いはせ
高き理想を 求めゆく
我らは学ぶ 未来のために
ともに創らん 木津南

二
清風薫る 青い空
白き学舎 堂々と
若人の声 響き合い
明日への希望 わき上がる
我らは紡ぐ たがいの絆
ともに歩まん 木津南

郵便番号 619-0216
所在地 京都府木津川市州見台四丁目26番地
電話 (0774) 71-0850
FAX (0774) 71-0853
E-mail kizu-m-jhs@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/kizu-jhs/>



1. 沿革

平成

23. 4. 1 木津川市立木津中学校から分離、開校（4月5日開校式）
京都府学校図書館機能充実推進事業研究指定（4年間）
4. 8 第1回入学式（入学生134名 全校生徒281名 10学級）
24. 1. 18 校歌発表会
3. 14 第1回卒業証書授与式（卒業生 51名）
4. 10 第2回入学式（入学生163名 全校生徒394名 13学級）
9. 13 木津南中学校区「きずなプロジェクト」開設 第1回挨拶運動実施
25. 3. 14 第2回卒業証書授与式（卒業生 97名）
4. 10 第3回入学式（入学生186名 全校生徒484名 16学級）
26. 3. 14 第3回卒業証書授与式（卒業生 136名）
4. 9 第4回入学式（入学生204名 全校生徒511名 18学級）
27. 3. 13 第4回卒業証書授与式（卒業生 164名）
4. 8 第5回入学式（入学生228名 全校生徒618名 19学級）
28. 3. 14 第5回卒業証書授与式（卒業生 185名）
4. 8 第6回入学式（入学生242名 全校生徒673名 21学級）
29. 3. 14 第6回卒業証書授与式（卒業生 206名）
4. 10 第7回入学式（入学生248名 全校生徒717名 22学級）
7. 30 平成29年度京都府中学校総合体育大会 サッカーの部 優勝
8. 19 第48回全国中学校サッカー大会 出場（熊本県）
30. 3. 14 第7回卒業証書授与式（卒業生 226名）
4. 1 京都式チーム学校推進校実践研究指定－事務共同実施－（3年間）
4. 10 第8回入学式（入学生267名 全校生徒755名 23学級）
7. 31 平成30年度京都府中学校総合体育大会 サッカーの部 優勝
8. 17 第49回全国中学校柔道大会 出場（広島県）
31. 3. 14 第8回卒業証書授与式（卒業生 239名）
4. 10 第9回入学式（入学生261名 全校生徒777名 23学級）

令和

- 元. 7. 30 令和元年度京都府中学校体育大会 サッカーの部優勝
8. 8 令和元年度近畿中学校体育大会 サッカーの部 3位入賞
8. 19 第50回全国中学校サッカー大会（奈良県）2回戦進出
2. 3. 13 第9回卒業証書授与式（卒業生248名）
4. 8 第10回入学式（入学生298名 全校生徒829名 24学級）
3. 3. 12 第10回卒業証書授与式（卒業生266名）
4. 8 第11回入学式（入学生306名 全校生徒869名 25学級）
4. 3. 14 第11回卒業証書授与式（卒業生266名）
4. 8 第12回入学式（入学生241名 全校生徒845名 25学級）
5. 3. 14 第12回卒業証書授与式（卒業生300名）
4. 10 第13回入学式（入学生321名 全校生徒871名 27学級）

1. 教育

(1) 教育目標

主体的に未来を創造し、心豊かでたくましく生きる生徒の育成

(2) 目指す生徒像

- ア 主体的に考え行動する生徒
- イ 強さとしなやかさを持つ生徒
- ウ 目標を持ち、挑戦する生徒
- エ 礼儀と規律を重んじる生徒

(3) 目指す学校像

すべての生徒が「包み込まれているという感覚」を実感できる学校

(4) 学校経営方針

① 学力の充実・向上

- ・「学びのパスポート」の結果分析や各教科の課題解決に向けての研究を行う。
- ・学習指導要領を踏まえ、活気のある授業から生まれる確かな学力を育むとともに、指導と評価の一体化の充実に向け実践に取り組む。
- ・基礎、基本の徹底と、それらを活用して課題解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育み、達成感を含めた学習意欲の向上を図る。
- ・ICT機器の授業及び家庭での積極的な活用方法を研究する。

② 不登校の課題解決と豊かな人間性の育成

- ・生徒指導部を中心に不登校の未然防止と不登校生徒への組織的な対応を行う。
- ・道徳教育・体験活動等を充実させ、主体的な判断ができる自立した生徒の育成を目指す。
- ・人権教育を教育活動全体に位置付け、一人一人を大切にした教育の推進と教職員研修の充実を図る。

③ 信頼できる学校体制の構築

- ・一人一人が安心感と存在感を持てる学級経営を行う。
- ・適切な学校評価を行い、家庭、地域へ発信し説明責任を果たすとともに、期待に応える学校経営を行う。
- ・教科、領域、学校運営に係る研究を重視し、先進的な教育活動の充実を図る。

(5) 本年度の指導の重点

【重点目標1】質の高い学力をはぐくむ

主体的、対話的で深い学びの実現を目標とした授業改善を実施し、質の高い確かな学力を育む。

- ① ICTを活用した主体的、対話的で深い学びの実現を目指した授業の充実
- ② ICTを活用した家庭学習の充実
- ③ 学ぼう Day の効果的实施
- ④ ICTを活用した言語能力の育成

【重点目標2】豊かな心と規範意識をはぐくむ

道徳教育や人権教育を教育活動全体に位置付け、道徳的な心情、判断力を養い、人権問題についての正しい理解を通して、課題解決のために行動できる態度を育てる。

- ① 道徳の授業記録の改善と適切な評価の実施
- ② 発達段階に応じた体験活動を含めた人権学習の実践
- ③ 人権教育に係る教職員研修の実施
- ④ 教育相談の充実によるいじめ、問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応

【重点目標 3】 健やかな身体をはぐくむ

健康で安全な生活を目指し、指導の充実を図る。安心安全な学校づくりに力を入れ、健康・安全・防災に関する取組を進める。

- ① 健康教育・食育の推進と指導内容の充実
- ② 避難訓練を中心とした防災学習の充実
- ③ 生徒の活動を充実し、健康・安全への意識向上を図る。

【重点目標 4】 一人一人の個性を伸ばし、社会の形成者としての資質をはぐくむ

望ましい集団活動や体験的な活動を通して、豊かな学校生活を築くとともに、公共の精神を養う。社会性の育成を図ることで、よりよい人間関係を築く力、社会に参画する態度や自治能力の育成を目指す。

- ① 学級において個々の自己有用感を育てる取組の充実
- ② 生徒会・専門委員会・リーダー会活動によるリーダーの育成
- ③ 不登校の未然防止の為に組織的な対応

【重点目標 5】 社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ

知識基盤社会の時代において、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。

- ① 自己の生き方や進路について考え、その課題を解決していく実践的態度をはぐくむ内容の工夫
- ② 職場体験学習やそれに代わるキャリア教育などを取り入れた多様な学習の実施
- ③ ICT活用能力と情報モラルに関する指導の充実

【重点目標 6】 魅力ある・信頼される学校・園をつくる

家庭や地域との連携、協力を強め、学校への信頼を高め、地域に開かれた学校作りを進める。

- ① 学校公開や授業参観、HPの内容充実
- ② 職員研修等を強化し教職員のコンプライアンス意識を高める。
- ③ 学校評価の結果を効果的に発信する。

【重点目標 7】 地域の力を活かして子どもをはぐくむ

地域コーディネーターとの連携を軸に、地域ぐるみで生徒を育てる。

- ① 地域人材を活用した授業等の実施
- ② きずなプロジェクト（あいさつ運動）の充実

【重点目標 8】 地域を学び、郷土を大切に作る心をはぐくむ

地域を学び、将来の本市を担う生徒を育成する。

- ① 地域の研究機関や企業等とのネットワークづくりを推進する

木津川市立泉川中学校



泉川中学校校歌

作詞 辰己利治
作曲 桜井武雄

一、清き山なみ めぐらせる

恭仁の宮居を まのあたり

おおしくつよく すこやかに

学びにはげむ 若き友

ああ泉川中学に ああ泉川中学に

若き時代の 理想あり

二、山のみどりの かげうつし

泉のながれ たゆるなく

ころを珠と みがきつつ

真理をもとめ つどう友

ああ泉川中学に ああ泉川中学に

とわにかわらぬ 誠あり

三、古くさかえし 三つのさと

あかるき文化 うけつぎて

平和の 基 きづかんと

たがいに睦ぶ 若き日々

ああ泉川中学に ああ泉川中学に

ひかりかがやく 未来あり

郵便番号 6 1 9 - 1 1 4 2
所在地 京都府木津川市加茂町大野烏田 75 番地
電 話 (0 7 7 4) 7 6 - 2 1 0 1
F A X (0 7 7 4) 7 6 - 8 2 3 3
E-mail izumi-jhs@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/izumigawa-jhs/>

1 沿革

昭和	22 年 5 月 3 日	京都府相楽郡組合立泉川中学校と校名変更
	22 年 6 月 12 日	京都府相楽郡加茂町外 2 ヶ村組合立泉川中学校と校名変更
	23 年 5 月 12 日	泉川中学校育友会結成
	23 年 7 月 30 日	木造 2 階建 10 教室・便所竣工、運動場整備
	25 年 5 月 18 日	木造平屋建 5 教室・本館・便所竣工
	26 年 2 月 25 日	泉川中学校同窓会発足
	26 年 4 月 1 日	3 町村合併に伴い加茂町立泉川中学校と改称
	31 年 2 月 18 日	校旗、校歌生徒会歌制定
	31 年 9 月 28 日	特別教室竣工
	34 年 4 月 1 日	屋内運動場竣工
	38 年 6 月 29 日	米国ウィラード中学校と姉妹校関係成立
	39 年 11 月 26 日	国際理解教育研究発表
	40 年 1 月 7 日	沖縄山内中学校と姉妹校関係成立
	41 年 2 月 15 日	国際理解教育研究優秀校として学校教育賞受賞
	41 年 3 月 9 日	国際理解教育碑建設
	42 年 3 月 27 日	姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
	42 年 12 月 4 日	補習学級開設
	43 年 3 月 28 日	姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
	43 年 8 月 8 日	姉妹校沖縄山内中学校生徒本校訪問
	44 年 3 月 31 日	普通 9 教室改築落成
	44 年 3 月 31 日	姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
	44 年 4 月 1 日	障害児学級開設
	44 年 5 月 1 日	普通教室改築竣工
	45 年 3 月 31 日	姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
	45 年 9 月 25 日	補習学級で部落問題学習を始める
	46 年 1 月 18 日	補習学級を別の地域でも開設
	46 年 1 月 28 日	本館（含特別教室）改築竣工
	46 年 3 月 31 日	姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
	46 年 6 月 7 日	2 地域の補習学級を隣保館で合同開設
	46 年 10 月 30 日	文化祭意見発表会の部で生徒が部落問題を訴える
	47 年 11 月 6 日	社会科の中における部落問題認識学習について研究発表
	48 年 4 月 8 日	ユネスコ協同学校に指定される
	50 年 1 月 17 日	ユネスコ協同学校研究発表
	52 年 11 月 11 日	創立 30 周年記念文化祭
	54 年 5 月 7 日	補習学級を児童館で開設
	57 年 1 月 8 日	南加茂台より第 1 回転入生受入れ
	57 年 9 月 1 日	校地移転（大字大野）・校舎竣工普通教室 12 教室・特別教室 7 教室
	58 年 8 月 22 日	水泳プール竣工
	59 年 3 月 19 日	普通教室 7 教室・特別教室、美術、音楽、理科教室 3 教室竣工
	62 年 4 月 6 日	障害児学級を「あすなろ学級」と命名
	62 年 11 月 5 日	第 24 回全国花いっぱいコンクール優秀賞受賞
	63 年 3 月 3 日	普通教室 3 教室・視聴覚室 1 教室竣工
平成	2 年 1 月 31 日	普通教室 6 教室竣工
	2 年 12 月 7 日	京都府教育委員会指定教育実践推進研究発表（国語科）
	5 年 3 月 1 日	泉川中学校育友会を泉川中学校 P T A に改称
	5 年 4 月 1 日	京都府社会福祉協力校の指定を受ける（5 年度～7 年度）
	5 年 9 月 1 日	コンピュータ教室完成
	6 年 11 月 21 日	京都府中学校教育研究会国語部研究大会
	8 年 2 月 1 日	府、さわやか賞（奨励賞）受賞

8 年 11 月 28 日	相楽郡中学校教育研究会指定研究校研究発表（特別活動を通して）
9 年 7 月 1 日	平成9・10年度文部省指定スクールカウンセラー活用調査研究委託事業開始
9 年 11 月 1 日	50周年記念式典挙行
11 年 4 月 1 日	スクールカウンセラー、（町）心の教室相談員の委託事業開始（文部省）
12 年 3 月 24 日	コンピュータ機器入れ替え（教育用）
13 年 4 月 1 日	情緒障害児学級を開設
15 年 10 月 28 日	京都府中学校教育研究会英語部研究発表会（公開授業）
18 年 4 月 1 日	通級指導教室開設
19 年 3 月 12 日	木津川市誕生に伴い、木津川市立泉川中学校と改称
20 年 4 月 1 日	教育目標を「質の高い教育を目指し健やかな体をつくり、心豊かで確かな学力を持った生徒を育成する」と改訂
20 年 10 月 18 日	第55回山城地方中学校駅伝競走大会 男子初優勝（男子41校出場）
21 年 4 月 1 日	京都府教育委員会及び京都府山城教育局、木津川市教育委員会「京の子ども、夢・未来校（『ことばの力』育成プログラム開発協力校）」の研究指定を受ける（平成21・22年度）
21 年 6 月 20 日	第62回山城地方中学校陸上競技大会 男女総合優勝
21 年 10 月 17 日	第56回山城地方中学校駅伝競走大会 男子二連覇（男子41校出場）
22 年 4 月 1 日	平成22年度独立行政法人 科学技術振興機構「SPP科学館連携事業指定校」
22 年 4 月 1 日	テニスコート（2面）、バレーボールコート（1面）及び学校給食配膳室を新設
22 年 4 月 12 日	学校給食開始
22 年 6 月 19 日	第63回山城地方中学校陸上競技大会 男女総合優勝
22 年 12 月 7 日	「ことばの力」育成プログラム開発協力校研究成果発表会開催
23 年 4 月 1 日	京都府教育委員会指定「京の未来創造校」・木津川市教育委員会指定「教育実践推進校」（平成23・24年度）
24 年 12 月 1 日	京都府教育委員会指定「京の未来創造校」・木津川市教育委員会指定「教育実践推進校」研究発表
27 年 4 月 1 日	相楽地方中学校教育研究会の研究指定を受ける（平成27・28年度） 「学びの仲間づくり」を研究テーマとして質の高い学力の育成をめざす
28 年 11 月 30 日	相楽地方中学校教育研究会指定研究校研究発表（テーマ「学びの仲間づくり」）
令和 4 年 9 月 26 日	沖縄県山内中学校に校長訪問（姉妹校再開 姉妹校としての今後の在り方を検討）

2 教育目標

学校教育目標（共通）

生きる力をはぐくみ、幸せな未来を拓く生徒の育成

非認知能力を高める（ア「生きる力」の視点→自ら学び考える生徒、自他を大切にする生徒、身体を鍛える生徒 イ「未来にきらめき、未来につながる生徒」の視点→自分と向き合おうとする生徒、自分を高めようとする生徒、他者とつながろうとする生徒）

（１）「主体的に学び考える力」「多様な人につながる力」「新しい価値を生み出す力」を備え、かけがえのない生命や基本的人権を尊重する人間性豊かな生徒を育成する。

（２）個性の伸長を図り、基礎学力を充実させ、生涯にわたり主体的に逞しく生き抜く生徒を育成する。

3 目指す生徒像

小中一貫した教育

かしこく(知) やさしく(徳) たのめしく(体)

4 目指す学校像

「支え合い、高め合い、乗り越え合える学びの集団」

5 目指す教師像

自らも非認知能力を高める事のできる教師

互いの良さを認め合い、支え合える教師集団

（１）児童一人一人を深く理解し、寄り添った指導ができるよう、小さな変化にも気づくことができる教師

→子ども理解に努め、子どもの思いを汲み取ることができる教師。

（２）豊かな人間性と高い専門性に基づく優れた指導力を有し、児童一人一人が豊かな未来を切り拓いていけるよう、それぞれの個性や能力を最大限に伸ばすことができる教師

→楽しく、わかる授業を目指し、授業で勝負できる教師。

（３）探究心や自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を高めながら、諸課題の解決に向け、挑戦することができる教師

→常に課題を持ち、自らを高める教師。

（４）他の教職員、保護者や地域社会、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担しながら、組織的・協働的に諸課題を解決するため、チームの一員としてつながることができる教師

→多様な集団と関わりながら、課題に向き合える教師。

（５）次代を担う人材に必要な学びを提供できるよう、広い視野で時代や社会、環境の変化を的確につかみ取り、未来を展望することができる教師

→教育の動向を把握し、教育課題に対応しようとする教師。

6 学校経営方針

京都府教育振興プラン・学校教育の重点、木津川市教育振興基本計画・学校教育の重点に則り、基礎基本の徹底、個性や能力を伸ばす教育の充実を図るとともに、変化の激しい社会に主体的に対応できる心豊かな生徒の育成

- (1) 生涯にわたり主体的に学んでいける生徒の育成
- (2) 何事にも一生懸命努力する人間性豊かな生徒の育成
- (3) 地域に開かれ、地域とともに成長する学校の創造
- (4) 豊かな人間性と広い社会性、高い専門性を持った教師集団の育成

7 具体的方針

総合的な学習の時間の充実・人権学習の計画的な実施と充実・ICTの活用

(1) 確かな学力をはぐくむ

- ア これからの時代に求められる資質・能力を身につけさせるために「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を充実する。
- イ 学習指導要領に示された目標、内容に基づいた学習指導を展開する。
- ウ 学ぶ楽しさ、基礎学力の定着を実感させる学習指導の確立を図る。
- エ 学力診断テスト等を活用し、客観的な学力の把握と分析を行い、一人一人の学力状況に応じた学習支援及び授業改善を推進する。

(2) 豊かな心と規範意識をはぐくむ

- ア 「特別の教科 道徳」を要として、組織的・系統的及び計画的に道徳教育を推進する。
- ア) 授業力向上の研修を組織的、計画的に行う。
- イ) 道徳教育の重点目標に迫る実践を行う。
- ウ) 別葉を活用し、教育活動と関連した道徳的価値の理解に努める。
- イ 生徒指導の三機能をふまえ、生徒自身が判断しその場にふさわしい適切な言動ができる規範意識の育成及びその充実を図る。
- ウ いじめ、不登校の未然防止に努め、早期発見・早期対応を徹底するとともに、不登校の未然防止と生徒支援及び家庭支援に努める。
- エ 自然に触れる体験活動や文化に親しむ機会を設定し、豊かな感性や情緒をはぐくむ。
- オ 読書に親しむ機会の充実に努める。

(3) 健やかな身体をはぐくむ

- ア 食育の推進を図り、望ましい食習慣の定着を図る。
- イ 薬物等がもたらす健康被害の理解を促し、薬物等への正しい理解を認識させる。
- ウ 事故、災害等から身を守る安全意識をはぐくむ。

(4) 一人一人の個性を伸ばし、社会の形成者としての資質をはぐくむ

- ア 共生社会の実現を目指した人権教育を推進する。
- ア) 互いの個性や価値観の違いを認め、自分と他者の人権を大切にする教育を推進する。
- イ) 人権問題について正しい理解と認識を深める人権学習を推進する。
- ウ) 人権問題を自分自身の課題として捉え、解決に向けて実践する意識、意欲、態

度の育成に努める。

イ 一人一人の自立や社会参加を目指した特別支援教育を推進する。

ア) 児童個々の課題に応じた支援の充実を図る。

イ) 支援の必要な児童への方策の明確化と改善を図る。

ウ) 支援体制と校内委員会の充実を図る。

ウ 夢を追い求め、将来を展望できるキャリア教育を推進する。

エ 個に応じた適切な進路指導を図る。

(5) 社会の変化に対応し、未来をたしかに生きる力をはぐくむ

ア 確かな学力を身につけさせるために、ＩＣＴ機器等の活用を推進する。

イ 情報モラルの向上を図る指導を推進する。

ウ 環境問題や環境保全についての理解と実践力をはぐくむ。

(6) 魅力ある・信頼される学校をつくる

ア 学校の組織力と教職員の資質向上のための研究・研修に努める。

イ カリキュラム・マネジメントの充実に努める。

ア) 学校教育目標の実現に向けて、すべての教職員が校務分掌に基づいた役割を分担しつつ、相互に連携しながらカリキュラム・マネジメントを行う。

ウ 地域とともにある学校づくりに向けた取組を推進する。

エ 校区内の小学校と連携を図り、連続性を重視した教育活動を推進する。

オ 安全・安心なよりよい教育環境の整備に努める。

ア) 安全管理や危機管理への対策を徹底する。

イ) 危機対応能力を身につけさせるための安全教育を推進する。

(7) 地域の力を活かして子どもをはぐくむ

ア 「木津川市地域で支える学校教育推進事業」等を適切に活用する。

イ 保護者を巻き込んだ教育活動に努める。

(8) 地域を学び、郷土を大切に作る心をはぐくむ

ア 地域に貢献する態度をはぐくむために、地域資源を活用した教育活動を推進し、年間計画に適切に取り入れる。

木津川市立山城中学校



山城中学校校歌

作詞 中谷 志津枝
作曲 中原 都男

一 山城平野ひろがりて
学びの園にしのための
希望の星はまたたけり
仰ぐひとみに青春の
もゆるいのちは輝きぬ
我等が山城中学校

二 遠山なみに雲なびき
朝日夕日の照りはゆる
歴史ににおう我が里よ
輝く伝え生かしつつ
新たな理想めざしゆく
我等が山城中学校

三 泉の川の水きよき
平和の姿たたえつつ
小やむときなく流れゆく
いざや友垣手をとりと
ともに睦ばむとこしえに
我等が山城中学校

郵便番号	619-0205
所在地	京都府木津川市山城町椿井柳田 33 番地
電話	(0774) 86-2001
FAX	(0774) 86-5381
E-mail	yama-jhs@kizu.ed.jp
HP・URL	http://www.kizu.ed.jp/yamashiro-jhs/

1 学校の沿革

昭和22年 5月	上狛町・高麗村・棚倉村組合立上狛中学校として開校
22年 8月	校章制定
22年10月	上狛中学校育友会結成
23年 7月	新校舎移転 2階建10教室竣工
23年 7月	体育後援会の結成
24年12月	上狛中学校同窓会の結成
25年 5月	本館棟並びに平屋建 5 教室竣工
27年 1月	組合立山城中学校と校名を変更
31年 8月	上狛町・高麗村・棚倉村の町村合併により山城町と命名され、それに伴い山城町立山城中学校と校名を変更
32年 2月	校歌制定（作詞中谷志津枝氏・作曲中原都男氏）
34年10月	体育館（鉄筋コンクリート造）竣工（549㎡）
37年 3月	技術科教室完成（147㎡）
38年 2月	文部省指定産業教育研究発表会
42年 4月	完全給食開始
42年 6月	N H K 学校放送指定校となる（テレビ視聴）
45年 3月	鉄筋コンクリート 3 階建 普通教室 (9) の竣工
46年 3月	〃 〃 特別教室 (6) ・準備室 (4) の竣工
47年 3月	〃 〃 管理室・図書室・視聴覚教室・会議室等の竣工
48年 3月	校庭拡張・整備竣工（3,647㎡）
49年 5月	技術科教室新築（198㎡）
51年 3月	格技室の完成（旧技術科室の改修により）
51年 8月	自転車置場の完成 防球ネット完成（南側）
53年 3月	創立30周年記念にクラブボックスの完成（育友会より）
59年 3月	鉄筋コンクリート 2 階建（地下倉庫） 普通教室 (4) の増築竣工
59年 4月	京都府社会福祉協力校指定（3ヵ年）
60年 7月	京都府中学校陸上競技選手権大会 男子総合準優勝 女子総合優勝
61年11月	府・日本体育学校保健センター指定健康安全教育研究実践発表会
63年10月	第43回国民体育大会 京都国体開催 山城町会場（成年女子ソフトボール）
平成元年11月	文部省指定教育実践推進校 道徳教育研究発表会開催
9年10月	創立50周年記念式典開催（記念誌「わかば」発行）
11年 7月	大規模改造工事（Ⅰ期・耐震）
12年 7月	大規模改造工事（Ⅱ期・耐震）
13年 2月	コンピュータ新機種の導入
14年 4月	京都府教育委員会 環境教育推進校「京のエコスクール」（2ヵ年）指定
15年 2月	第3回世界水フォーラム関連イベント「身近な川の生物調査を通じて、水辺環境の保全を考える」シンポジウム発表（於：京都テルサ）
15年 4月	財団法人 省エネルギーセンター「省エネルギー教育推進モデル校」（3ヵ年）指定
15年11月	京都府教育委員会 環境教育推進校「京のエコスクール」研究発表会開催
15年11月	平成15年度優良 P T A 文部科学大臣表彰受賞（於：東京ホテルニューオオタニ）
16年 2月	平成15年度省エネ学習事例発表全国大会発表（於：東京パナソニックセンター）
16年 4月	通学服をブレザー等に変更
16年 6月	財団法人 社会経済生産性本部エネルギー環境教育情報センター「エネルギー教育実践校」（3ヵ年）指定
16年11月	社団法人 食品容器環境美化協会「第5回環境美化教育最優秀賞 文部科学大臣奨励賞」受賞
16年12月	財団法人 省エネルギーセンター「省エネ共和国」建国
17年 2月	サンケイ新聞写真ニュースセンター「第1回学校自慢エコ大賞 中学校部門エコ大賞」受賞
18年10月	体育館竣工式
19年 3月	日本エネルギー環境教育学会「第2回シンポジウム」発表（於：東京パナソニックセンター）
19年 3月	木津川市誕生に伴い、木津川市立山城中学校と改称
20年 4月	文部科学省「公立中学校運動部活動振興事業」に指定
21年 4月	独立行政法人科学技術振興機構「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」事業に採択
21年 4月	相楽地方中学校教育研究会より平成21,22年度研究校に指定
22年 4月	独立行政法人科学技術振興機構「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」事業に採択
22年12月	相楽地方中学校教育研究会指定発表「質の高い学力の育成とその基盤となるコミュニケーション能力の育成」
23年 2月	文部科学省委託「栄養教諭を中核とした食育推進事業」研究発表
23年 4月	独立行政法人科学技術振興機構「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」事業に採択
24年 3月	平成23年度交通安全優良校表彰
26年 4月	独立行政法人科学技術振興機構「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」事業に採択
27年 4月	京都府教育委員会「N I E 実践指定校」に指定
28年10月	創立70周年記念式典開催（高岡寿成氏による記念講演）
29年 4月	中高生の科学研究実践活動推進プログラム(科学技術振興機構)研究指定
31年 4月	木津川市「特色ある学校づくり推進事業」平成31(令和元)年度・令和2年度の2年間の研究指定
令和4年 4月	木津川市「特色ある学校づくり推進事業」令和4年度の研究指定
5年 4月	木津川市「特色ある学校づくり推進事業」令和5年度の研究指定

2 教 育

(1) 学校教育目標

深く考え、明るく強く心豊かな生徒の育成

【めざす生徒像】

ア 自ら学ぶ意欲をもち、深く考える生徒

イ 豊かな心と協調性をもつ生徒

ウ 強い心身とたくましい実践力を備えた生徒

【あいことば】

一生懸命が格好良い。仲間とともに・・・

(2) 学校運営方針

上記の目標を達成するために、「京都府教育振興プラン」や「木津川教育振興基本計画～生きる力をはぐくみ 新しい時代を拓く“きづがわっ子”を目指して～」、また、「学習指導要領」等に即して、地域の実態に合わせた創意ある教育計画を立案し、生徒・教職員が一体となった学校づくり、特色ある教育活動を推進する。そのため、教職員は教育公務員としての使命と責任を自覚し、不断の研鑽と教職員評価の活用などを通して資質能力の向上に努める。

また保護者や地域社会との連携を深め、地域の力を活用することにより開かれた学校教育を推進し、信頼される学校づくりに努める。

ア 確かな学力の育成と個性や能力の伸長を図る教育を推進する。

イ 豊かな人間性の育成と健康や体力の向上を目指した教育を推進する。

ウ 教職員の資質能力の向上を図る研修や取組を充実させる。

エ 日常の点検活動を重視した、安心・安全な教育環境づくりを充実させる。

オ 地域のよさや保護者の願いを取り入れた教育を充実させる。

カ 教職員の働き方改革の実行により、良好な教育環境づくりを充実させる。

(3) 重点目標

① 確かな学力の育成

ア 8年目を迎える、主体的対話的で深い学びの実現による確かな学力の育成と、生徒相互のつながりの教科を目指す学び合い学習「山中カルテット」を更に推進し非認知能力の育成にも視点をあてた改善に取り組む。そのための授業研究・研修を展開する。

イ 4年目を迎える「木津川市特色ある学校づくり推進事業」指定による研究活動や、小中連携等の諸取組の推進を通し、指導方法の工夫改善を推進する。

ウ 学力診断テストの分析結果などを活用し、諸指導計画等の検証改善を推進し、組織的な指導体制のもと、生徒個々の学力向上につなげる。

エ 組織的な個に応じた指導と家庭との連携の推進により、主体的な学習意欲の高揚と、学習習慣の確立を図る。

② 豊かな人間性とたくましく健やかな身体の育成

ア 「特別の教科 道徳」の指導と評価、また、人権学習や情報モラルの学習等、校内の豊かな心の育成に関わる教育活動の改善、指導力向上を進める。また、そのための教職員研修の充実を図る。

イ 「総合的な学習の時間」等を利用したふるさと学習を充実させ、自己肯定感の涵養の一助とし、郷土愛をはぐくみ未来へ継承する教育を推進する。

ウ 朝読書の充実を軸にした、読書活動の積極的な推進を図る。

エ 「一生懸命が格好良い」と胸張れる、意欲的な日々の生活、また、「仲間とともに」学び合い、感動を分かち合う学校生活の構築のための指導をより充実させる。

オ 必要な生徒への支援を組織的に進める特別支援と教育相談の体制の構築を図る。

③ 地域の信頼を高める学校づくり

ア 学校評価等を活用し、積極的な情報提示、学校公開と説明責任の徹底を図る。

イ 文書管理の徹底、及び、守秘義務、服務規律の遵守、また、危機管理意識の高揚により、一層安心安全な学校生活の構築を推進する。

ウ 地域で支える学校教育推進事業の活用を推進する。

エ 教職員の働き方改革の実行により、良好な教育環境づくりを充実させる。

(4) 具体的実践計画

努 力 点	実 践 事 項
1 確かな学力の育成	(1) 8年目を迎える、「山中カルテット」の活用の更なる推進と改善 ① 授業研究を中心とした、学び合いを活かした教職員研修の充実 ② 主体的な学習意欲を促進させる、対話的な授業スタイルの研究の推進 ③ 「共有課題」「ジャンプ課題」の工夫の研究の推進 (2) 授業研究、研修の推進 ① 4年目を迎える「木津川市特色ある学校づくり推進事業」指定による積極的な授業研究の実施と先進校等での研修への参加 ② 小中連携の積極的な活用と、センター出前講座等（指導主事、大学教員等の指導助言など）の活用 (3) 諸テスト等の分析結果等を生かした、諸指導の検証改善による学力向上の取組の推進 (4) 「山城中学校のしおり」の授業マナー・ルールに関わる記述等に基づく、組織的な指導の推進 (5) 個に応じた指導の推進 ① 「マイスタ」(終学活学習)の充実 ② 「学習支援配置事業」「ステップアップ学習」等の活用の促進 ③ 家庭学習の内容や方法を充実させる指導の充実 ④ 家庭と連携した学習習慣確立のための指導の推進
2 豊かな人間性とたくましく健やかな身体の育成	(1) 豊かな人間性を育成する教育実践の充実 ① 人権学習など自他の命と人間の尊厳に関わる学習の充実と、いじめ防止の諸指導の徹底 ② 「特別の教科 道徳」の指導と評価をはじめとした教職員研修の充実 ③ 食育の取組など健康な生活習慣の確立 (2) 「総合的な学習の時間」等を利用したふるさと学習の充実 (3) 朝読書の充実を軸にした読書活動の推進 (4) 必要な生徒への支援を組織的に進める特別支援と教育相談の体制の構築 ① 若竹学級生徒及び、通常学級の支援の必要な生徒への組織的な特別支援教育の推進 ② 個々の生徒理解のための教育相談活動の活性化 ③ 生徒理解と有効な指導のための情報の整備 (5) 「一生懸命が格好良い」と胸張れる、意欲的な生活の構築 ① 「山城中学校のしおり」の徹底 ② 「時間」「掃除」「あいさつ」など基本的行動の徹底 (6) 仲間とともに学び合い、仲間とともに感動を分かち合う学校生活の構築

3 地域の信頼を高める学校づくり	(1) 積極的な情報提示、学校公開と説明責任 ① 保護者の立場に立った教育推進 ② 学期に一回以上の、保護者との直接会話の実行 (2) 文書管理、守秘義務、服務規律の徹底 (3) 危機管理意識の高揚による、安心安全な学校生活の構築 (4) 地域で支える学校教育推進事業の活用 ① 地域人材等の積極的活用 ② 福祉やボランティア活動等による地域貢献 (5) 教職員の働き方改革に沿った良好な教育環境づくりの推進
-------------------------	---

(5) 研究テーマ

「学び合い」を活かした教師力向上の取組

—学びあい学習の理解を深めるとともに

非認知能力について研修を進め授業の工夫改善に努める —

(市「特色ある学校づくり推進事業」R05.4～指定)